J UOEH (産業医科大学雑誌) 29 (3):303 - 388 (2007)

303

〔総 説〕

指定感作性物質の国際比較

村上 朋絵^{1,2}, 小山 倫浩¹, 一瀬 豊日¹, 奈良井 理恵^{1,3}, 金岡 麻希^{1,4}, Thi-Thu-Phuong PHAM¹, 川本 俊弘¹

- 1産業医科大学 医学部 衛生学講座
- 2住友金属工業㈱ 鹿島製鉄所 総務部 安全健康室
- ³マツダ株式会社 健康推進センター
- ⁴九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 看護学分野

要 旨: 職業性アレルギーは、原因不明のアレルギー疾患として治療されていることが多い. しかし原因となる感作性物質を同定し、曝露を受けないようにすることが根本的な治療となる. 従って、産業医学的な対策として、感作性物質の情報を得ることは重要である. 本研究では感作性物質の情報として、日本産業衛生学会、ACGIH、DFG、EU、PRTR法 (特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善に関する法律) および日本職業・環境アレルギー学会特設委員会で評価されている感作性物質についてまとめた. 感作性、刺激性又は経皮吸収のいずれかを有すると評価されている物質は化合物として包括されているものや混合物も含め1389 物質存在した.

キーワード: 感作性物質,アレルギー,産業医学,PRTR,国際比較.

(2007年6月6日 受付, 2007年7月30日 受理)

はじめに

職業性アレルギーは、職場環境内に存在する感作性物質に労働者が繰り返し曝露されることで感作が成立し起こるアレルギー疾患である。アレルギー機序は明確にもかかわらず、患者は原因不明のアレルギー疾患として診断をされていることも多い。他のアレルギー疾患と同様に、職業性アレルギーの根本的な治療は原因の除去である。産業医学的な対策として、職業性アレルギーの原因物質を解明し、

作業環境や作業方法を改善するために,感作性物質の情報を利用することが重要である.

感作性物質の情報として現在,日本産業衛生学会,米国産業衛生専門家会議 American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) ドイツ研究協会 Deutsche Forschungsgemeinschaft (DFG) および欧州連合 European Union (EU) で公表されているものが利用できる。しかし,各機関で感作性物質の評価は異なっており,利用する際には複数の機関の情報を比較しな

くてはならない.従って本研究では,感作性物質について各機関の評価に関する情報をまとめ,一覧表を作成した.なお物質はCAS番号順に並べた.

研究方法

1.日本産業衛生学会の「許容濃度等の勧告」で提示されている感作性物質[1],2.ACGI Hで感作性および刺激性があるとされている物質[2],3.EUの「危険な物質リスト」で感作性に分類されている物質[3,4],4.DFGで感作性に分類されている物質[5],5.特定化学物質の環境への排出量の把握など,

5.特定化学物質の環境への排出量の把握など、および管理の改善に関する法律(Pollutant Release and Transfer Register,以下 PRTR 法)にて気道感作性を有するとされている物質 [6-8],6.日本職業・環境アレルギー学会「職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成」特設委員会によって示された「GHS準拠の感作性化学物質リスト(案)」[9],以上5機関および一法律で公表されている感作性物質のリストを基に、感作性および刺激性についての一覧表を作成した。なお日本産業衛生学会、ACGIHおよびDFGで経皮吸収が示されている物質についても一覧表に含め、物質はCAS番号順に並べた。

結果および考察

- 1. 各機関および法律の感作性物質の定義
- 1)日本産業衛生学会

「許容濃度等の勧告」(2006年)[1]の中に報告記載されている感作性物質を,反応の場としての気道と皮膚に分けて基準を設け,第1群(人間に対して明らかに感作性のある物質),第2群(人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質)に分類している.

気道感作性物質および皮膚感作性物質は以

下のように説明されている.

気道感作性物質

第1群

- 1. 曝露状況, 呼吸器症状, 特異抗体および アレルギー素因との関連性を明確に示した疫 学的研究があるとともに, 2. 呼吸器症状の 有症者としての下記の条件のいずれかを満た す症例研究が, 異なる研究機関から報告され ていること.
- 1)曝露と呼吸器症状との間に関連性があると同時に,同物質に対する特異抗体が検出されるか,皮内試験が陽性反応を示すこと.
- 2) 曝露と呼吸器症状との間に関連性がある と同時に, 特異的吸入誘発試験で陽性反応 を呈すること. ただし, それが非アレルギー 反応でないことを間接的にでも支持する証 拠があること.

第2群

上記に準ずるものであるが,疫学的研究では,必ずしも明確にされていない物質.

皮膚感作性物質

第1群

1. 曝露状況,接触皮膚炎症状およびパッチテスト(皮膚貼付試験)との関連性を明確に示した疫学的研究があり,かつ,2. 皮膚炎症状とパッチテストとの関係を検討した症例研究が異なる研究機関から報告されていること,実施されたパッチテストは対照を設けた適切な方法のものであること.

第2群

上記に準ずるものであるが,疫学的研究では,必ずしも明記されていない物質.

さらにこの勧告では、許容濃度を示す物質の経皮吸収の有無についても評価している. そこで許容濃度等の勧告(2006 年度)で報告されている感作性物質のみならず経皮吸収の報告がある物質も対象とした.

2)米国産業衛生専門家会議(ACGIH)

ACGIHから公表された,2007 年度版 「TLVs® & BEIs® Based on the Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents & Biological Exposure Indices (職業曝露に おける化学物質や物理的因子の許容濃度およ び生物学的曝露指標)」を使用した[2]. TL Vs採用値の表で,付記(Notations)の欄に「S EN」(当該物質は皮膚接触および/または吸 入曝露の結果として,作業者に感作性が確認 されていることを示す)および「Skin」(経皮 吸収あり)の表記のある物質および同Table のTLV Basis-Critical Effect(s)(TLV決定の 基礎となった重要な作用,以下TLVの根拠-臨界作用)の欄に、「sensitization」(感作)。「i rritation」(刺激),「dermatitis」(皮膚炎),「s kin」(皮膚障害),「asthma」(喘息)の表記の ある物質を対象とした.

3) 欧州連合 (EU)

EUから公表された「危険な物質の分類,輸送,表示に関する法律,規制,行政規定の近似化に関する指令67/548/EEC 2004/73/EC (第7版,第29次委員会指令)」の「危険な物質リスト」を使用した[4]. EUでは,感作性物質を以下のように分類している.

R42:吸入すると感作性を引き起こす恐れがある.

R43:皮膚と接触すると感作を引き起こす恐れがある.

R42/43:吸入するおよび皮膚と接触すると感作を引き起こす恐れがある.

「R42」,「R43」および「R42/43」の表記のある感作性物質を対象とした.

4)ドイツ研究協会(DFG) DFGから公表された2004 年度版 List of MAK and BAT Values (MAK:Maximale Arbeitsplatz-Konzentrationen, BAT:Biologischer Arbeitsstoff-Toleranz-Werte,作業現場環境衛生のための曝露許容濃度勧告値および生物学的曝露指標)を使用した[5]. DFGでは,感作性物質を以下の5つに分類している.

- H :danger of percutaneous absorption (経皮吸収)
- Sa :danger of sensitization of the airways (気道感作性)
- Sh:danger of sensitization of the skin (皮膚感作性)
- Sah:danger of sensitization of the airways and the skin (気道および皮膚感作性)
- SP:danger of photocontact sensitization (光過敏性)

これら「H」、「Sa」、「Sh」、「Sah」および「SP」の表記のある感作性物質を対象とした.

5) PRTR法(特定化学物質の環境への排出 量の把握等および管理の改善の促進に関 する法律)

PRTR法では、感作性物質について「感作性は気管などを刺激しアレルギー様症状を起こす性質のことであり、その定性情報を分類に利用することが適当である. なお、感作性には気道感作性と皮膚感作性があるが、皮膚感作性については実際の環境濃度では問題になり得ないため、PRTR法では気道感作性のみを対象としている.」と説明している.

PRTR法では上記の定義を基に、日本産業衛生学会やACGIH、EUに基づき、気道感作性を有するとされているものを「クラス1」と分類している. 感作性物質として「クラス1」に分類されている物質を対象とした.

6)日本職業・環境アレルギー学会特設委員 会(案)

「職業性アレルギー疾患の予防のガイドラ イン作成」特設委員会(委員長日下幸則福井 大学教授)の中間報告を使用した[9].この 委員会では、GHS (The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)の文書は勿論のこ ととして、米国のACGIH・AAAI (American Association for Artificial Intelligence) • ドイツのMAKや接触抗原リスト・EUがあ げている感作性物質・日本産業衛生学会など が勧告している感作性物質,日本接触皮膚炎 学会のアレルゲン解説書,中村晋による職業 性喘息の原因物質 [10], 佐藤一博, 日下幸則 による職業性アレルギーの感作性化学物質に あげられる感作性化学物質 [11] をすべて検 討した結果,感作性化学物質リスト(案)を作 成している.

GHSでは、呼吸器および皮膚に関する感作性物質を以下のように定義している.

呼吸器感作性物質とは,物質の吸入の後で 気道過敏症を誘発する物質であり,人に対 し当該物質が特異的な呼吸器過敏症を誘発 しうる証拠がある場合,または適切な動物 実験より陽性結果が得られている場合とい う判定基準に従って分類している.同様に, 皮膚感作性物質とは,物質との皮膚接触の 後,アレルギー反応を誘発する物質であり, 物質が相当な数の人に皮膚接触により過敏 症を誘発しうる証拠がある場合,または適 切な動物試験により陽性結果が得られてい る場合という判定基準に従って分類してい る。

2. 感作性物質一覧表

各機関の評価と本研究により作成した感作性物質一覧表の表記への対応をTable 1 に示す. 感作性物質項目の一覧表はTable 2 に示

す. なお、Table 2 中の空欄は感作性(-)の評価結果を意味するものではない.

前述した5 機関および一法律で評価されている物質のうち感作性,刺激性または経皮吸収のいずれかを有すると言われている物質は化合物として包括されているものや混合物も含め,1389 物質存在した.

日本産業衛生学会, PRTR法で感作性を有 するとされている物質の中には,その化合物 を含む物質もある(例えば,ニッケル,白金な どの10物質). また機関によって,感作性を 評価している化合物の種類が異なる. 例えば, ニッケルは、日本産業衛生学会では、ニッケル 自体ないしその化合物, PRTR法ではニッケ ルは金属および無機化合物, DFGでは, 金属, 酢酸ニッケル,炭酸ニッケルなど11物質が, それぞれ感作性を有する物質として評価され ている.よって、Table 2で日本産業衛生学 会およびPRTR法,該当する物質およびその 化合物に感作性ありと表記したが,上記理由 により,他機関で評価されている化合物が数 種類ある場合でも個数には数えなかった.以 下機関ごとに,感作性または経皮吸収を有す ると評価されている物質の個数を示す.

日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告 (2006 年度)で,感作性物質として分類されているものは36 物質で,このうち気道感作性物質は18 物質 (第1群11物質,第2群7物質),皮膚感作性物質は30物質 (第1群12物質,第2群18物質)であり,気道および皮膚感作性をいずれも有しているものは12物質あった.なお経皮吸収を有するものは72物質あった.

ACGIH(2007 年度)において,感作性物質 として分類されているのは25 物質,経皮吸収 は192 物質,TLVの根拠-臨界作用での感作 は26 物質,刺激は400 物質,皮膚炎は33 物質, 皮膚障害は5 物質,喘息は7 物質であった.

DFG(2004 年度)では,皮膚感作性物質と

して分類されているのは145 物質,気道感作性物質は13 物質,皮膚および気道感作性物質は39 物質,光過敏性物質は4物質,経皮吸収は239 物質であった.

EUの「危険な物質リスト」で気道感作性物質に分類されているものは26 物質,皮膚感作性は642 物質,気道および皮膚感作性は51 物質であった.

PRTR法対象物質で気道感作性を有するものは16物質であった.

日本職業環境アレルギー学会(案)で示された感作性物質は59物質であった.

結 論

日本産業衛生学会, ACGIH, EU, DFG, PRTR法および日本職業・環境アレルギー学会(案)が, 感作性, 刺激性を有すると評価している物質の一覧表を作成した.

Table 1. 各機関の評価とTable 2 に用いた表記方法

Iai	ole I. 各機関	図の評価とTabl	22に用いた表記方法
機 関 名(法律名)	機関の評	平 価	Table 2 の項目 Table 2 の表 記*6
日本産業衛生学会	気道感作性物	対質第1群	気 道 感 作 性 あ り ○(1)
許容濃度等の勧告(2006 年)) 気道感作性物	河質第2群	気 道 感 作 性 あ り ○(2)
	皮膚感作性物	ற質第1群	皮膚感作性あり 〇(1)
	皮膚感作性物	河質第2群	皮 膚 感 作 性 あ り ○(2)
	経皮呼吸		経皮呼吸あり
ACGIH(2007年)*1	Notations	SEN	感作性あり 〇
		Skin	経皮呼吸あり
	TLVs	Sensitization	感作
	Basis-	Irritation	刺激
	Critical	Dermatitis	TLVの根拠 - 臨界作用 皮膚炎
	Effects(s)	Skin	皮膚障害
		Asthma	喘息
DFG(2004年)* ²	Н		経皮呼吸あり
	Sa		気道感作性あり
	Sh		皮膚感作性あり
	Sah		気道及び皮膚感作性あり 〇
	SP	*	光過敏性あり
EU(2004年)* ³	R42		気道感作性あり
	R43		皮膚感作性あり
	R42/43		気道及び皮膚感作性あり 〇
PRTR法* ⁴	感作性クラス	X 1	感作性あり 〇
日本職業・環境アレルギー	気道感作のみ	報告のあるもの	気道感作性あり 〇
学会(案)(2004年)*5	皮膚感作のみ	報告のあるもの	皮膚感作性あり
	上記以外のも	のの	感作性あり 〇

^{* 1:} ACGIH; (米国産業衛生専門家会議 American Conference of Governmental Industrial Hygienists)

^{* 2:}DFG;ドイツ研究協会 Deutsche Forschungsgemeinschaft

^{* 3:} EU欧州連合; European Union

^{* 4:}PRTR法;特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律(Pollutant Release and Transfer Register)

^{*5:「}職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成」特設委員会によるGHS準拠の感作性化学物質リスト(案)

^{*6:}空欄(表記がないこと)が感作性(-)の評価結果を意味するものではない

## 6.6 # 6.6				日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	A(ACGIH (2007)	(2)	-	EU (2004)			DF	DFG (2004)		PRTR	口木職業 华尔(案)	日本職業・環境アレルギー 学会(案) (2004)
##54 A 7 4 7 4 7 4 1 4 2 4 1 2 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	CAS番号			雑図を対して	気 作 を か の の の の の の の の の の の の の	皮膚 を あり			TLVの 根拠ー臨 界作用	裕	425	上数り	皮収り	检查		±4.4%1 €	感作性 クラス1	一般 あり 在	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
1. 1. 1. 1. 1. 1. 2. 1. 2. 1. 2. 1. 2. 2	20-0-0	ホルムアルデヒド	Formaldehyde		0(2)	0(1)			刺激		0						0	0	
Benno(a)pyrente Chlorycomazine Chl	50-29-3	1,1,1-トリクロロ-2,2- ビス(4クロロフェニ ル)エタン [別名 DDT]											0						
19 ロルプロマジン (Chorpromazine 14 たり ロルプロマジン (Chorpromazine 14 たり ストリス (17 を) 2 を 4 を 下が (14 を) 2 が (1	50-32-8		Benzo[a]pyrene								0								
2.4.6.トリス (1.ファ 2.4.6.Trictl carricingly be tria 12.4.6.トリス (1.ファ 2.4.6.Trictl carricingly be tria 12.2.2.1) 1.3.5.トリ are [1916 Tretamina]	50-53-3	クロルプロマジン	Chlorpromazine													0			
### Carbon teacher	51-18-3	2,4,6-トリス (1'-アジ リジニル) -1,3,5-トリ アジン																0	
Carbamic acid ethyl ester Carbamic acid ethyl ester 2プロモ2ニトロ-1.3	51-75-2	ビス (2ークロロエチ ル) メチルアミン											0		0			•	
2.プロモルール3 2.Bromo.2.Mitro-1.3- Propagatediol	51-79-6		Carbamic acid ethyl ester										0						
Day 1 = 2.2.2 + b y Day 2.2.2 + b y Day 2.2.2.2 + b y Day 2.2.2 + b	52-51-7	2-ブロモ-2-ニトロ-1,3- プロパンジオール	2-Bromo-2-Nitro-1,3- Propanediol										0		0				
ニュチン Nicotine ○ チメロサール [9]名 Thincerosal:Ethylmercuri- エチル水鏡チオサリチ thiosalicylic acid sodium salt ルギカンボームシャン・イングール・イング	52-68-6	ジメチル=2,2.5-トリク ロロ-1-ヒドロキシエチ ルホスホナート【別名 トリクロルホンスはD EP】									0								
$+ \times \Box \forall \neg \cup \cup$	54-11-5	ニコチン	Nicotine				0						0						
$F \neq U \supset \Re(OO \sim \chi \neq Z)$ O,O.Dimethyl-O.(4) O(3. $4 \neq U$, $4 \neq M$ methylthio-m-tolyl) phosphorothioate; Fenthion $A \supset T \cup f \neq T \supset U$ [別名 所幹] $A \supset T \cup f \neq T \supset U$ [別名 所幹] $A \supset T \cup f \neq U$ [別名 所幹] $A \supset T \cup f \neq U$ [別名 所幹] $A \supset T \cup f \neq U$ [別名 所幹] phono littlate; Bis(4 bydroxy $D \supset T \cup f \cup U$] $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Nitroglycerin (NG) $A \supset T \cup f \cup U$ Appropylemetriamine carbon tetrachloride (Tetra-Oillowethane) [別名 Methodology M	54-64-8	チメロサール【別名 エチル水銀チオサリチ ル酸ナトリウム塩】	Thimerosal;Ethylmercurithiosalicylic acid sodium salt												0				
p+1)ン酸0.0シメチ 0.0-Dimethyl-0.(4-	55-18-5		$N ext{-Nitrosodiethylamine}$										0						
メトール [別名 硫酸 Metol.p-(Methylamino) モノメチルパラアミノ pheno sulfateに記述付かばなメフェノール] ニトログリセリン Nitroglycerin (NG) ○ 3.3・イミノビス(プロピ 3.3・Iminodi(propylamine); ルアミン) ロ塩化炭素 Carbon tetrachloride (Tetra- Ohlormethane) [別名 Metol.]	55-38-9	チオリン酸ののシメチル-0-(8. メチル-4.メチル-0-(8. メチル-4.メチルチオテカフェニル) [別名 フェンチオン] [別名 MPP]	O,O-Dimethyl-O-(4- methylthio-m-tolyl) phosphorothioate,Fenthion	0			0						0						
またログリセリン Nitroglycerin (NG) 〇 〇 3.3・イミノヒス(プロピ 3.3・Iminodi(propylamine). ルアミン (Carbon tetrachloride (Tetrachloride (Tetrachloride (Fetrachloride (Fetrachloride (Fetrachloride (Fetrachloride (Fetrachloride (Fetrachloride (Fetrachloride))) (別名 Methanol.)	55-55-0	メトール [別名 硫酸 モノメチルパラアミノ フェノール]									0								
3.3-イミノビス(プロピ 3.3:Iminodi(propylamine); ルアミン) dipropylanetriamine 回塩化炭素 Carbon tetrachloride (Tetra- ○ choromethane) [別名 Methane, tetrachloro-1]	55-63-0	ニトログリセリン	Nitroglycerin (NG)	0			0						0						
四塩化炭素 Carbon tetrachloride (Tetra- 〇 〇 chloromethane) [第]名 Methane, tetrachloro-1	56-18-8	3,3'-イミノビス(プロピ ルアミン)									0								
	56-23-5	四塩化炭素	Carbon tetrachloride (Tetra- chloromethane) [别名 Meth- ane, tetrachloro-]				0						0						

CAS番号 56-38-2 ジュ				1	ì									(学会(案)(2004)	
	在	棋	発の必要を必要を	友 気道感 又 作性 う あり	皮膚 を存め あり	雑吸を改り	数作性 3あり す	TLVの 根拠ー臨 作 界作用 さ	気道感 B 作性 イカカラ あり ま	皮膚酸 4年仕 C	気道およ 経 び皮膚感 吸作性あり あ	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	数を破りを存むの	感 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり		1 .	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
7-7	ジエチル-パラ-ニトロ フェニルチオホスフェ イト [別名 パラチオン]	O,O-Diethyl-O-(4-nitrophenyl) phosphorothioate,Parathion	on (lwin			0					-	0						Tables :
56-81-5	グリセリンミスト	Glycerin mist					-	刺激										
57-14-7 別名 ラミ	ジメチルヒドラジン [別名 1,1-ジメチルヒド ラジン]	1,1-Dimethylhydrazine [Bl & N,N-dimethylhydrazine]	[Bi]			0		刺激			-	0	0					
57-57-8 β-	8-プロピオラクトン	β -Propiolactone						刺激			J	0						
57-74-9 1,2 7 / / / / / - / -	1,2,4,5,6,7,8,8-オクタ クロロ-2,3,3a,4,7,7a- ヘキザヒドロ-4,7.メタ ノ-1H-インデン [別名 クロルデン]	Chlordane [別속 chlordane , pur]				0					-							
58-89-9 1,2 口 :	1,2,3,4,5,6.ヘキサクロロシクロヘキサン [別名 リンデン]	γ -1,2,3,4,5,6-Hexachlorocyclohexane; Lindane	ocyc-			0					-	0						
59-50-7		Chlorocresol;4-chloro-m- cresol;4-chloro-3- methylphenol		e e						0								
59-88-1		Phenylhydrazinium chloride	ride							0								
59-89-2		N-Nitrosomorpholine)	0						
60-29-7	エチルエーテル	Ethyl ether						刺激										
60-34-4	メチルヒドラジン	Methyl hydrazine				0		刺激			J	0	0					
60-54-8 テト	テトラサイクリン	Tetracycline															0	
60-57-1 1,2 4a. 4a. 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	1,2,3,4,10,10-ヘキサクロロ-6,7-エポキシ-1,4,4a,5,6,7,8,8a-オクタヒドローキャー・1,4,1,1,2,2,4,2,4,2,4,2,4,2,4,2,4,2,4,3,4,4,2,4,4,4,4	1,2,3,4,10,10-Hexachloro-6,7- poxy-1,4,4,5,6,7,8,8a- octabydro-endo-1,4-exo-5,8- imethanonaphthalene; Dieldrin	6,7-			0					<u> </u>	0						
(1-24-5 4-7	セファロスポリンC	Cephalosporin C															0	
61-33-6 ペご	メニッコ ン	Penicilin(G)															0	
62-53-3 7	アニリン	Aniline	0			0				0)	0						
62-56-6 F7	于才尿素	Thiourea											0	0				
2.2.2.4 2.2.2.4 2.2.2.4 2.3.2.4 2.3.2.4 6.3.4 6.3.4 6.3.4 6.3.4 7.4 7.4 7.4 7.4 7.4 7.4 7.4 7.4 7.4 7	ジメチル-2.2-ジクロロ ビニルホスフェイト [別名 リン酸ジメチル- 2.2-ジクロロビニル] [別名 DDVP] [別名	2,2-Dichlorovinyl dimethyl phosphate; Phosphoric acid, 2,2-dichloroethenyl dimethyl ester-Dichlorvos	thyl acid, thyl			0	0			0		0						

62-75-8 和 名	気道 存在 あっ あっ あっ あっ あっ あっ あっ あっ の	第 次 数 2 年 117 V 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	務 存事級 労働計 保存 なび 受動 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	が通過 攻撃級 気温およ 光過 存在 ひ攻撃隊 女子 ひ攻撃隊 女子 かり かり 一件性あり あり	感作性
ンルオロ酢酸ナトリウ Sodium fluoroacetate たい プラシン オチルニトロン M-Mitrosodimethylamine アミシ オチルニトロン M-Mitrosodimethylamine Jily名 dimethylinitroso amine] 1-ナフチル・M・メチル 1-Naphthalenol M・メチルカルバミン酸 nethylearbamate 1・ナフチル 1 「別名 Methylearbamate 1・ナフチル 1 「別名 Methylearbamate 1・ナフチル 1 「別名 Acetic acid Acetic Acetic acid Acetic acid Acetic Ac			0 0 0		
$N.N.=> x + D. = D. D.$ $N.N.$ trosodimethylamine $P \geq >$					
1-ナブチル・N・メチル 1-Naphthalenol カルペメート [劉名 methylcarbamate ルメチルカルバミン機 1-ナンチル] [劉名 MAC] エタノール Ethanol ギ酸 Acetic acid Acetic acid オタノール Methanol ブロヒルアルコール Isopropanol [別名 2-Propa パイプロピルアルコール Isopropanol [別名 2-Propa ル) Acetone クロロボルム Chloroform ジメチルスルホキシド Dimethylsuifoxide; DMSO ヘキサクロロエタン Hexachloroethane メルガフト酢酸 Thioglycolic acid MAKジメチルホルムア Dimethylformamide ミド [別名 DMF] プロビルアルコール n-Propanol (n-Propyl alco-ル) カーン (1-ブタノー n-Butanol ル) カーフロエタン (1-1-ド・リクロロエタン) カーン (1-アクノー n-Butanol ル) カーフロエタン (1-1-ド・リクロロエタン) (1-1-۲-ド・リクロエタン) (1-1-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲-۲					
#整 Formic acid			0		
#酸 Acetic acid Acetic acid メタノール Methanol プロピルアルコール Isopropanol [別名 2-Propa (イソプロピルアルコー nol)			0		
Acetic acid *** Acetic acid *** Acetic acid *** *** Acetic acid *** *** *** *** Acetone *** *** *** *** *** *** *** *** *** *			0		
メタノール Methanol プロピルブルコール Isopropanol [別名 2-Propa (T) プロピルブルコール Isopropanol [別名 2-Propa (T) プロピルブルコー nol] アセトン Acetone クロロホルム Chloroform ジメチルスルホキシト Dinethylsulfoxide; DMSO ヘキサクロロエタン Hexachloroethane メルガフト酢酸 Thioglycolic acid N.N・ジメチルホルムア Dinethylformamide \mathbb{R} ド [別名 DMF] \mathbb{R} Dinethylformamide \mathbb{R} ド \mathbb{R} DMF] \mathbb{R} Dinethylformamide \mathbb{R} ド \mathbb{R} DMP \mathbb{R} Dinethylformamide \mathbb{R} ド \mathbb{R} DMP \mathbb{R} Dinethylformamide \mathbb{R} No \mathbb{R} Dinethylformamide \mathbb{R} Dinethylformamide \mathbb{R} DMF \mathbb{R} Dinethylformamide $$			0		
ブロビルアルコール Isopropanol [別者 2-Propa $(\gamma, \gamma \mathcal{I} \square \mathcal{L}, \mathcal{V}, \mathcal{V}, \mathcal{I})$ nol) hol) Acetone クロロホルム Acetone シメチルスルホキシド Dimethylsulfoxide; DMSO へキサクロロエタン Hexachloroethane メルガブト酢酸 Thioglycolic acid $NN \sim 3.5 + 3.0 + 3$		※ ※			
Acetone カロロホルム Chloroform シメチルスルホキシド Dimethylsulfoxide; DMSO ヘキサクロロエタン Hexachloroethane メルガント酢酸 Thioglycolic acid N.N・シメチルホルムフ Dimethylformamide ミド [別名 DMF]	pa .				
クロロホルム Chloroform ジメチルスルホキシド Dimethylsulfoxide; DMSO ヘキサクロロエタン Hexachloroethane メルガブト酢酸 Thioglycolic acid N.N・ジメチルホルムア Dimethylformamide ミド [別名 DMF] プロピルアルコール n-Propanol (n-Propyl alco- (n-プロピルアルコー hol) ル) ブタノール (1・ブタノー n-Butanol ル) ベンゼン Benzene トリクロロエタン (1, 1,1,1-Trichloroethane 1,1・トリクロロエタン)		刺激			
シメチルスルホキシド Dimethylsulfoxide; DMSO			0		
へキサクロエタン Hexachloroethane メルガント酢酸 Thioglycolic acid N.N.シメチルホルムア Dimethylformamide ミド [別名 DMF]			0		
メルカナト酢酸 Thioglycolic acid N.N・シメチルホルムア Dimethylformamide ミド (別名 DMF) カール n-Propanol (n-Propyl alco-(n-プロピルアルコール hol) カーラ によった (n-プロピルアルコー hol) カーシール (1-ブタノール (1-ブタノー n-Butanol ル) カール (1-ブタノー n-Dutanol ル) カーエタン (1, 1,1,1-アichloroethane 1,1-トリクロロエタン (1, 1,1,1-アichloroethane 1,1-トリクロロエタン)		国際			
$N.N.シメチルホルムア$ Dimethylformamide $\exists F [\emptyset] 45 DMF]$ $\gamma \Box E ルテルコール n$ -Propanol $(n$ -Propyl alco- $(n$ - $\gamma \Box E ルテルコール hol)$ $\gamma > - \nu (1 - \gamma F) - \nu (1 - \gamma F) - n$ -Butanol $\nu > \nu > - \nu (1 - \gamma F) - n$ -Butanol $\nu > - \nu > - $		刺激			
ブロビルアルコール n -Propanol $(n$ -Propyl alco- $(n$ - \mathcal{I} ロビルアルコー $hol)$ \mathcal{I}		0	0		
$7\beta/-)\nu$ (1- $7\beta/-$ n-Butanol ν) A> ℓ > $ A>\ell$ > Benzene $ > 1/2 D D T T > 2/2 $ (1, 11.1- Γ 1richloroethane 1,1- Γ 1,2 D D D T T 2)	6	養屋			
	0	刺激			
トリクロロエタン (1, 1,1-トリクロロエタン)		0	0		
			0		
72-20-8 1,2,3,4,10,10-ヘキサク Endrin ローら7-エポキシー1,4, ロローら7-エポキシー1,4, セス トロパース ドロ・エンド ドロ・エンド 1,4,エント ドン8-ジメタノナフタ レン [別名 エンドリン]		0	0		

			# 	日本産業衛生学	会 (2006)	AC	ACGIH (2007)		E	EU (2004)			DF	DFG (2004)	PRTR		日本職業・環境アレルギー	,
CAS番号	吞	萩	経吸る 皮収り	気作る適性の	及 衛 を あり	雑数をあるのである。	感作性 TL あり 機	TLVの 気が根拠ー臨 作界作用 あ	気が高います。	友職感 タークター クラック かり かり かり	気道およ 終 び友庸感 明 作性あり 3	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	台	皮膚感 気道およ 光過作性 び皮膚感 敏性 あり 作性あり あり		1	気道感作 皮報告のみ 報告のみ 報めるもの み	内
74-31-7	N,N'ジフェニル-p-フェ ニレンジアミン	N,N'-diphenyl-p- phenylenediamine; N,N'- diphenyl-1,4-benzenediamine								0	!							
74-83-9	臭化メチル [別名 ブ ロモメタン]	Methyl bromide	0			0	壓	刺激				0						
74-87-3	クロロメタン [別名 塩化メチル]	Methyl chloride				0						0						
74-88-4	沃化メチル	Methyl iodide				0	霰	刺激										
74-89-5	メチルアミン	Methylamine					軽	刺激										
74-90-8	シアン化水素	Hydrogen cyanide	0			0	죝	刺激				0						
74-96-4	臭化エチル	Ethyl bromide				0												
74-97-5	ブロモクロロメタン 【別名 クロロブロモ メタン】	Bromochloromethane; Chlorobromomethane										0						
75-00-3	クロロエタン【別名 塩化エチル】	Ethyl chloride				0						0						
75-04-7	エチルアミン	Ethylamine				0	展	製廠										
75-05-8	アセトニトリル	Acetonitrile				0						0						
75-07-0	アセトアルデヒド	Acetaldehyde					礟	刺激										
75-08-1	エチルメルカプタン (エタンチオール)	Ethyl mercaptan					承	刺激 (粘膜)										
75-09-2	ジクロロメタン [別名 二塩化メチレン] [別名 塩化メチレン]	Dichloromethane (methylene chloride) 【别名 Methane, dichloro-]	O O															
75-12-7	ホルムアミド	Formamide				0	展	刺激				0						
75-15-0	二硫化炭素	Carbon disulfide	0			0						0						
75-18-3	ジメチルスルフィド	Dimethyl sulfide					E.	刺激										
75-21-8	エチレンオキシド	Ethylene oxide			0(2)							0						0
75-25-2	トリブロモエタン [別 名 ブロモホルム]	Tribromomethane; Bromoform				0	₩	刺激										
75-26-3	2-ブロモプロパン	2-Bromopropane	0															
75-31-0	イソプロピルアミン	Isopropylamine					₩.	刺激										
75-34-3	ジクロロエタン (1,1- ジクロロエタン) [別 名 塩化ビニリデン]	1,1-Dichloroethane					##	刺激										
75-44-5	ホスゲン	Phosgene					₩.	刺激										
75-50-3	トリメチルアミン	Trimethylamine					₩.	刺激										

			日本産	日本産業衛生学会 (2006)	(2006)	A	ACGIH (2007)		[E	EU (2004)			DFG	DFG (2004)	PRTR	日本職	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	各	承	経吸め皮収り	気道感を存在しまった。	皮 を を あり	経校 別級 は かん はん かん	感作性 TL あり 機関	TLVの 根拠一臨 作 界作用 改	気道感 皮膚 作性 作性 あり あり	緇	気道およりな成職感に作性あり	経皮 気道感吸収 作性 め切 おり あり	吸水を多って	感 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
75-52-5	ニトロメタン	Nitromethane						i				0					
75-55-8	プロピレンイミン	Propylene imine [別[名 2-Methylaziridine (Propylenei mine)]	0			0	刺激	额				0					
75-56-9	酸化プロピレン 【別名 1,2-エボキシプ ロバン】	Propylene oxide					○ ※	***				0					
75-61-6	ジブロモジフルオロメ タン	Difluorodibromomethane					刺激	簽									
75-64-9	tertーブチルアミン	tert-Butylamine										0					
75-65-0	ブタノール (セブチル アルコール)	tert-Butanol					型機	额									
75-74-1	四アルキル鉛 (四メチ ル鉛)	Tetramethyl lead, as Pb 【别名 Lead, organo】				0,						0					
75-86-5	アセトンシアノヒドリン	Acetone cyanohydrin, as CN				0											
75-99-0	2,2-ジクロロプロピオ ン酸	2,2-Dichloropropionic acid					刺激	簽									
76-03-9	トリクロロ酢酸	Trichloroacetic acid					型後	**									
76-06-2	クロロピクリン 【別名 トリクロロニ トロメタン】	Chloropicrin					整	**									
76-22-2	棒腦	Camphor, synthetic					刺激	and a									
76-44-8	1,4,5,6,7-ペンタクロル 3a,4,7,7a-テトラヒド ロ-4,7-(8,8,シクロルメ タノ)インデン [別名 ヘプタクロル]	1,4,5,6,7-Pentachloro-3a,4,7, 7a-tetrahydro-4,7-(8,8- dichloromethano)indene: Heptachlor				0						0					
77-47-4	ヘキサクロロシクロペ ンタジエン	Hexachlorocyclo-pentadiene					刺激	**				0					
77-73-6	ジシクロペンタジエン	Dicyclopentadiene					刺激	***									
77-78-1	硫酸ジメチル	Dimethyl sulfate	0			0	刺激	***		0		0					
78-00-2	四アルキル鉛(四エチ ル鉛) (テトラエチル 鉛)	Tetraethyl lead, as Pb [別名 Lead, organo]	0			0						0					
78-10-4	テトラエトキシシラン	Ethyl silicate					刺激	star≺									
78-30-8	リン酸トリ (0トリル)	Triorthocresyl phosphate				0											
78-34-2	1,4ジオキサン-2,3・ジ イルジチオビス (チオ ホスホン酸) 0,0,0,0 テトラエチル [別名 ジオキャチン]	S,S'-(1,4-Dioxane-2,3-diyl) O,O,O',O':tetraethyl-bis- (phosphorodithioate)				0											

			*	日本産業衛生学	会 (2006)	AC	ACGIH (2007)		EL	EU (2004)			DFG (2004))4)	PRTR	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	アレルギー
CAS番号	A 各	揪	発験を及びら	友 気道酸 双 作性 り あり	皮膚 作性 あり	発及なりのある。	感作性 TJ あり 根	TLVの 気、 根拠 - 臨 作 界作用 あ	気道感 皮脂 作性 作性 あり あり	及る を存む あり でが を	気道およ 経皮 び皮膚感 吸収 作性あり あり	及 気 で が の の の の の の の の の の の の の	政権を受ける。	気道およ 光過 び友膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1		数作 皮膚感作 りみ 報告のみ ちの あるもの
78-59-1	インホロン	Isophorone					₩.	刺激									
78-78-4	インペンタン	Isopentane					124	刺激									
78-81-9	イソブチルアミン	Isobutylamine									<u> </u>	0					
78-83-1	ブタノール (イソブチ ルアルコール)	Isobutanol					IE.	刺激									
78-87-5	1,2-ジクロロブロパン	Propylene dichloride [別各 1, 2-Dichloropropane]	· 1,		0(2)		胀	刺激									0
7-88-87	2- <i>5</i> ロロ-1-プロパノー ル	2-Chloro-1-propanol				0											
78-92-2	ブタノー)V (2-ブタノー)V)	sec-Butanol					#	刺激									
78-93-3	メチルエチルケトン	Methyl ethyl ketone (MEK)	(EK)				IIX	刺激)	0					
78-94-4	メチルビニルケトン	Methyl vinyl ketone				0	₽	刺激			~	0	0				
78-95-5	クロロアセトン	Chloroacetone				0	₩.	刺激									
79-00-5	トリクロロエタン (1,1,2-トリクロロエタ ン)	1,1,2-Trichloroethane	0	0		0					<u> </u>	0					
79-04-9	クロロアセチル クロ リド	Chloroacetyl chloride				0	115	刺激			~	0					
79-06-1	アクリルアミド	Acrylamide				0	Ð	皮膚炎		0	-	0					
79-09-4	プロビオン酸	Propionic acid					164	刺激									
79-10-7	アクリル酸	Acrylic acid				0	125	刺激									
79-20-9	酢酸メチル	Methyl acetate					TEX.	刺激									
79-24-3	ニトロエタン	Nitroethane					TEST:	刺激									
79-27-6	1,1,2,2-テトラブロモ エタン	Acetylene tetrabromide	0				EX.	刺激									
79-34-5	1,1,2,2-テトラクロロ エタン [別名 四塩化 アセチレン]	1,1,2,2-Tetrachloroethane	O	0		0						0					
79-41-4	メタクリル酸	Methacrylic acid					1500	刺激									
79-44-7	ジメチルカルバモイル クロリド	Dimethyl carbamoyl chloride	nloride									0	0				
80-05-7	ピスフェノールA [別 名 4, 4-イソプロピリ デンジフェノール]	Bisphenol A								0				0			0
80-51-3	4.4.オキシビスベンゼンスルホニルヒドラジト	4,4'- Oxybis (benzenesulfonyl- hydrazide)	lfonyl-				(MeX)	刺激									

10				i !	日本産	日本産業衛生学会	(3006)	Ā	ACGIH (2007)	(200		EU (2004)		l	DFG (2004)	2004)	PRTR		日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
9年 大大子 チンド Tyrecting following and any confidence of a first and a first an	CAS番号	基	棋		İ	気 作性 あり	政権を存むの			1	1	j		気作る。	輸	気道およ び皮膚感 作性あり	感作性 クラス1	聚作性めの	気道感作 及報告のみ 報告のもの あるもの み
A	80-56-8	チレ		54-2] and searpenes[α-						凝聚									
18 + 7 + 9 + 18 + 18 + 40 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10	80-62-6	メタクリル酸メチル	Methyl methacry. Methacrylic acid : ester	late, methyl		0(2)	0(2)			刺激, 成學炎		0			0		0	0	
(2.2.2 PLU	81-84-5	1,8-ナフタル酸無水物	1,8-Naphthalic an	hydride											0				
2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2	83-68-8	ペンタクロロニトロベー ゼン [別名 キントゼ ン] [別各 PCNB]		benzene [Bi]								0							
17	83-26-1	2-トリメチルアセチル- 1,3-インダンジオン [別名 ピンドン]		ne						皮膚炎									
1.7 m m m m m m m m m m m m m m m m m m m	83-79-4	ロテノン	Rotenone (comme.	rcial)						刺激			J	0					
1.1 エテンス2.4 1.1 Entricon 2.2 4	84-66-2	フタル酸ジエチル	Diethyl phthalate							刺激									
1/1-5 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 +	84-74-2	フタル酸ジブチル	Dibutyl phthalate	_			0(2)			刺激									0
上		1.1.エチレン-2.2.ピピ リジニウムジブロミド [別名 ジクアット] [図名 ジクアット] プロミド]	1,1'-Ethylene-2,2'- bipyridinium dit	oromide .				0		刺激		0							
## 12.36 tetrahydrophthalic anti-puritie a	85-42-7	ヘキサヒドロ無水フタ ル酸(全異性体)	Hexahydrophthali dride,All isomers							藝			0	0					
##ヤフタル酸 Phthalic anhydride O(1) の 刺激 O つ つ から (オーナンナンをのひと) A Phashorodithiote acid O ク シテオリン酸のひとう Phosphorodithiote acid O ク ク から (オーナンナンよ dimethyl S(4cov.112.3 - 4cov.112.3 - 4cov.112.	85-43-8	テトラヒドロ無水フタ ル酸	1,2,3,6-tetrahydro anhydride	phthalic									0						
シテオリン酸ののシャス Phosphorodithioic acid 0.0 ウンド・リスシン34 Benzotrianal (4ft) yil S4(4-5x0-11.23.4 Benzotrianal (4ft) yil) Benzotrianal (4ft) yil Benzotrianal (4f	85-44-9	無水フタル酸	Phthalic anhydrid	٩	J	0(1)				刺激			0	0			0		0
1-ナフチルチオ尿素 1-Naphtylthiourea; a -Naph- 「別名 a・ナフチルチ tylthiourea; ANTU オ 展表 1 キシリジン (2.3 キシ 2,3-Xylidine リジン) [別名 2,3-ジ 2,3-Xylidine リジン) [別名 2,3-ジ 2,3-Xylidine ナナリジン (2.6 キシ 2,6-Xylidine [別名 Amiline, セン キシリジン (2.6 キシ 2,6-Xylidine [別名 Amiline, リジン) [別名 2,6-ジ 2,6-Xylidine [別名 Amiline, リジン) [別名 2,6-ジ 2,6-dimethyl-; 2,6-D		ジチオリン酸の,0-ジメ チル-S[(4オキソ-1,2,3- ペンゲ・リアジン-3(4 H) -イル)メチル [別名 アゾンホスメチル]	Phosphorodithioic dimethyl S-((4. benzotriazin-3-(4.H methyl) ester; methyl	: acid O,O- -oxo-11,2,3- [j-yl] Azinphos-				0	0			0	-	0					
キシリジン (2,3 キシ 2,3-Xylidine リジン) [別名 2,3-ジ メチルアニリン] 1,23-トリクロロベン 1,2,3-Trichlorobenzene センシン (2,6 キシ 2,6-Xylidine [別名 Aniline, リジン) [別名 2,6-ジ 2,6-dimethyl-: 2,6-Dimethyl-	86-88-4	1-ナフチルチオ尿素 【別名 α-ナフチルチ オ尿素 】	1-Naphtylthioures tylthiourea; ANT	ı; α -Naph- U					1=3	刺激							ı		
1.2.3-トリクロロベン 1.2.3-Trichlorobenzene ゼン キシリジン (2.6-キシ 2.6-Xylidine [別名 Aniline, リジン) [別名 2.6-ジ 2.6-dimethyl: 2.6-Dimethyl- メチルアニリン] aniline]		キシリジン(2,3キシリジン)[別名 2,3・ジメチルアニリン]											J	0					
キシリジン (2.6.キシ 2.6-Xylidine [別名 Aniline, リジン) [別名 2.6-ジ 2.6-dimethyl-; 2.6-Dimethyl- メチルアニリン] aniline]	87-61-6	1,2,3-トリクロロベン ゼン	1,2,3-Trichloroben	zene									Ü	0					
	87-62-7	キシリジン (2,6-キシリジン) [別名 2,6-ジメチルアニリン]	2,6-Xylidine [別名 2,6-dimethyl-; 2,6 aniline]	Aniline, -Dimethyl-									~	0					

				日本産	日本産業衛生学会	£会 (2006)	A,	ACGIH (2007)	(2)	图	EU (2004)) O	DFG (2004)		PRTR	田 大 ((((((((((((((((((日本職業・環境アレルギー ※会(家)(2004)
CAS番号	在	棌	始	発しない。	気 を あ の あ の	友 を あり	雑皮を受ります。	感作性 7あり を	TLVの 気根拠ー臨 作界作用 あ	気道感 皮 作性 作めり あり	及 動 数 分 作性 ひ	気道およ 終 び皮膚感 明 作性あり 3	数数 必め の 金の から かん	変通感 存 を仕 かっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかん	を破りている。	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり			気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
87-68-3	六塩化ブタジエン [別 名ペルクロロ (ブター 1,3-ジエン)]	Hexachlorobutadiene	ane sine				0		刺激				0						
87-86-5	ペンタクロロフェノー ル【別名 PCP】およ びそのナトリウム塩	Pentachlorophenol	_	0			0						0						
88-04-0		4-chloro-3,5-dimethylphenol	hylphenol								0								
88-12-0	N-ビニル-2-ピロリド ン	N-Vinyl-2-pyrrolidone	lone										0						
88-72-2	ニトロトルエン (0-1) トロトルエン) [別名 2-ニトロトルエン]	o-Nitrotoluene [別名 2- Nitrotoluene; Nitrotoluene]	别名 2- otoluene】				0						0						
88-73-3	ゥクロロニトロベンゼ ン	o-Chloronitrobenzene	ene										0						
0-88-88	塩化ピクリル	Picryl chloride													0				
88-89-1	ピクリン酸	Picric acid							刺激, 皮膏淡, 烫作				0		0				
89-32-7	無木ピロメリット概	Benzene-1,2:4,5- tetracarboxylic dianhydride; benzene-1,2:4,5- tetracarboxylic dianhydride; pyromellitic dianhydride	ianhydride; ianhydride; iydride									0							
89-72-5	o-sec-ブチルフェノー ル	· o-sec-Butylphenol					0		刺激										
90-04-0	0-アニシジン	o-Anisidine		0			0						0						
90-30-2	N-フェニル-1-ナフチ ルアミン	· N-Phenyl-1-naphthylamine	hylamine												0				
91-08-7	トルエンジイソシアネート(2,6-トルエンジイソ ンアネート)	- Toluene-2,6- diisocyanate(TDI)			0(1)	0(2)		0	聚作			0		0					0
91-20-3	ナフタレン	Naphthalene					0		刺激				0						
91-29-2		4-Nitro-4'-aminodi- phenylamine-2-sulfonic	i- Ifonic												0				
91-59-8	2-ナフチルアミン	eta -Naphthylamine	ø.										0						
91-94-1	3,3-ジクロロベンジジ ンおよびその塩	3,3'-Dichlorobenzidine	dine				0		刺激, 皮膚炎		0		0						
92-52-4	ピフェニル	Biphenyl											0						
92-67-1	4-アミノジフェニル	4-Aminodiphenyl					0						0						
92-84-2	フェノチアジン	Phenothiazine					0		極極										
92-87-5	スンジジン	Benzidine					0						0				ļ		

~	1	-

92-93-3 4-エトロピフェニル 4-1 93-76-5 24,5-トリクロロフェ 2,4 5-トリクロロフェ 2,4 5-トリクロロフェ 2,4 5-トリクロロフェ 2,4 5-トリクロロフェ 2,4 5-トリクロロフェ 2,4 5-トリクロロフェ 2,4 5-13-6 インデン 2,4 5-トカ 2,4 5-13-6 インデン 2,4 5-13-6 インデン 2,4 5-13-6 インデン 2,4 5-13-6 インデン 2,5 5-13-6 インデン 2,5 5-13-6 インデン 2,5 5-13-6 インデン 2,5 5-13-6 クロロトルエン 0,5 5-13-6 クロロトルエン 0,5 5-13-6 クロロトルエン 0,5 5-13-6 クロコトルエン 0,5 5-13-6 クロ	类名 4-Nitrodiphenyl 2,4,5-Trichlorophenol Dibenzoyl peroxide:Benzoyl	1													
4二トロピフェニル 2,4,5-トリクロロフェ ノール ジペンソイルペルオキ シド [別名 遺離化ヴ ペングイル] (別名 2,4-ア) インデン N・シクロロフェノキ シ群隊 [別名 2,4-D] アエンデミド [別名 N・シクロヘキシル・2 フェンデミド [別名 N・シクロヘキシル・2 フェンデミド [別名 N・シクロヘキシル・2 フェンデミド [別名 N・シクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン シクロロベンゼン シクロロベンゼン シフェンシフミド [フェンシフミド]	4-Nitrodiphenyl 2,4,5-Trichlorophenol Dibenzoyl peroxide:Benzoyl	森及 吸収 おひ 存件 めの	感 皮膚酸 作性 めっち	経及の役役の	感作性 TLVの あり 根拠-臨 界作用	る を存む をかっ	安全を存るの	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	政権を	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	機をある	気道感作 皮膚報告のみ 報告 あるもの ある	皮膚感作 報告のみ あるもの
24.5トリクロロフェ / ルル ジスン/イルメルオキ ジド [別名 過酸化ジ ペン/イル/ (別名 24-PA] (別名 24-PA] (27-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-12-	2,4,5-Trichlorophenol Dibenzoyl peroxide:Benzovl			0					0						
3.4シケーレベルオキンケイル [別名 過酸 化 ジャド [別名 過酸 化 ジャンケイル] [別名 2,4・PA] [別名 2,	Dibenzoyl peroxide;Benzoyl				刺激				0						
2.4-シケロロフェノキ シ酢酸 [別名 2,4-D] (図名 2,4-D] インデン ハンケファメールスル フェンチデド [別名 ハンケワマデド [別名 ハンケワマデド [別名 ハンケロンテアド [別名 ハナアツル-3-スルフェ ンテアジル-3-スルフェ ンテアジル-3-スルフェ マテンレン ・ジケロロトルエン ・ジケロロトルエン ・ジケロロトルエン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケコニレンジアミン (・フェニレンジアミン ソフェニレンジアミン (・フェニレンジアミン	peroxide		0(2)		刺激		0								0
24シケロロフェノキ シ酢酸 [到名 24-D] (別名 24-PA] インデン ハンケロマステン・ルスル フェンケラド [別名 バンケアファド [別名 バンケアントールスル フェンケラド [別名 バンケロンマラド [別名 バナアツル-2-スルフェ ンテアット・2-スルフェ ンテアット・2-スルフェ シテレン・0 ウケロロトルエン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケロロインゼン ・ジケコエトンジアミン (・フェニレンジアミン (・フェニレンジアミン (・フェニレンジアミン	Bis(piperidinothiocarbonyl) disulphide						0								
インデン N・シャロヘキシル・3・イングラートキンレーと、イングラント ドリスル フェンテェド [型体 N・シャロ・キシルベンテェト] ロ・キシレン ロ・カレソール ロ・クロロトルエン ロ・グロロインゼン アリイジン(ロ・ハンジアミン)	2,4-D-(ISO) 2,4-Dichlorophenoxyacetic acid				型機		0		0						
インデン ハンクロヘキシル-2 イングチアンールスル フェンケミド [別名 ルシケロトマミド [別名 バチアジル-2 スルフェ ンデミド] のキシレン のウロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロインゼン のクロロインゼン のフェニレンジアミン フェニレンジアミン (0-フェニレンジアミン (0-フェニレンジアミン (0-フェニレンジアミン	Esters of 2,4-D						0								
N・シケロへキシル・3・ ベングチアノールスル カ・ナケア・ド [図名 N・ケクロ・ス・ア・ド [図名 バ・チアジル・3・スルフェ シアミド] のキシレン のクロロトルエン のクロロトルエン のクロロインゼン トルイジン(のトルイジ ンエニレンジアミン フェニレンジアミン ンフェニレンジアミン (の・フェニレンジアミン ンフェニレンジアミン	Solts of 2,4-D						0								
N.シウロヘキシル・3・ ベングチン・ルスル フェンデミド [別名 N.シウロヘキシルベン ンデミド] ロキシレン ロキンレール ロクロトルエン ログロロベンゼン トルイジン(ロトルエン フェニレンジアミン フェニレンジアミン フェニレンジアミン (ロフェニレンジアミン (ロフェニレンジアミン (ロフェニレンジアミン	Indene				刺激										
のキシレン のクレゾール のクロロトルエン のジクロロベンゼン トルイジン(0・トルイジ ン) フェニレンジアミン (0・フェニレンジアミン ン)	N-Cyclohexyl-2- benzothiazolesulfenamide; CM; CZ						0								
のクロトルエン のグロロトルエン のジクロロベンゼン トルイジン(0・トルイジ ン) フェニレンジアミン (0・フェニレンジアミン	o-Xylene				刺激				0						
●クロロトルエン ●ジウロロベンゼン トルイジン(●トルイジ ン) フェニレンジアミン (●フェニレンジアミン ン)	o-Cresol	0		0	刺激, 皮膚炎				0						
○・ジケロロベンゼン ト)レイジン(0・ト)レイジ >) フェニレンジアミン (0・フェニレンジアミン >)	o-Chlorotoluene				刺激										
トルイジン(0・トルイジン) ン) フェニレンジアミン (0・フェニレンジアミン	o-Dichlorobenzene				刺激				0						
トルイジン(o・トルイジン) ン) フェニレンジアミン (o-フェニレンジアミン	o-Chloroaniline								0						
フェニレンジアミン (0-フェニレンジアミン)	o-Toluidine	0		0			0		0						
	o-Phenylenediamine		0(1)		型機		0			0					. 0
95-64-7 キシリジン (34-キシ 3.4 リジン) [9]名 3.4ジ メチルアニリン]	3,4-Xylidine								0						
95-68-1 2,4ージメチルアニリ 2,4 ン	2,4-Xylidine								0						
95-69-2 4-クロロ-2-メチルアニ 4-C リンおよびその塩酸塩 and	4-Chloro-2-methylaniline and its hydrochloride								0						
95-70-5 2,5-ジアミノトルエン Tol	Toluene-2,5-diamine						0			0					
95-76-1 3,4	3,4-Dichloroaniline						0								

				日本産業衛生		学会 (2006)	*	ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)			Ī	DFG (2004)		PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	デール
CAS番号	各	揪	ാ	雑酸を を ない ない	気作を運性の	友 歯 感 作性 あり	発を受けるのである。	感作性 あり	TLVの 根拠-臨 界作用	気温感をむめの	友権を存むの	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気) 吸収 作 あり あり	気道感 皮作性 作性 かり あり あり	及 を を を の の の の	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性 あり	気道感作 別報告のみ 報告のみ 報告のもの みるもの み	攻 動感作 あるもの あるもの
95-78-3	2,5ージメチルアニリン	2,5-Xylidine											0	İ						
95-80-7	2,4-ジアミノトルエン [別名 2,4トルエンジ アミン]	2,4-Diaminotoluene [別名 / 4-Toluenediamine]	uene [別各 2, ine]								0				0					
96-12-8	1,2-ジブロモ-3-クロロ ブロパン	1,2-Dibromo-3-chloro- propane[別名 Dibromochloro- propane]	chloro- Dibromochloro-										0							
96-18-4	1,2,3-トリクロロプロ パン	п 1,2,3-Trichloropropane	propane				0													
96-22-0	ジエチルケトン	Diethyl ketone							刺激											
96-23-1		1,3-Dichloro-2-propanol	propanol										0							
96-29-7	ブタノン=オキシム	Butanone oxime	эс								0		0		0					
96-33-3	アクリル酸メチル	Methyl acrylate,Acrylic acid methyl ester	te,Acrylic acid			0(2)	0	0	刺激		0				0					0
96-34-4	クロロ酢酸メチル	Chloroacetic ester	acid methyl										0		0					
97-0-7	1-クロロ-2-4-ジニトロ ベンゼン [別名 2, 4 ジニトロクロロベンゼ ン]	」 1-Chloro-2,4-dinitro-benzene 4- ビ	nitro-benzene												0					0
97-18-7	ビチオノール	Bithionol														0				
97-53-0	oーメトキシーpープロペニルフェノール	⊐ Eugenol													0					
97-54-1	イソオイゲノール	Isoeugenol, 2-Methoxy-4- propenylphenol, 4- Propenylguaiacol,	fethoxy-4- 1,4- col,												0					
97-56-3	2-メチル-4- (2-トリル アゾ) アニリン	ル 2-Methyl-4- (2-tolylazo)aniline [別名 o-Aminoazotoluene]	ine oazotoluene]								0		0		0					
97-63-2	メタクリル酸エチル	Methacrylic acid ethyl ester	id ethyl ester								0				0					
97-74-5	テトラメチルチウラム モノスルフィド	لا Tetramethylthiuram monosulphide	iuram								0									
97-77-8	テトラエチルチウラム ジスルフィド [別名 ジスルフィラム]	ム Tetraethylthiuramdisulfide 各 ;Disulfiram	ıramdisulfide								0				0					
6-98-16	メタクリル酸 L-ブチル	V Isobutyl methacrylate	acrylate								0									
97-88-1	nーブチルメタクリラー ト [別名 メタクリル 酸n-ブチル]	- n-Butyl methacrylate; // n-Butyl-a-methylacrylate	crylate; thylacrylate								0				0					
97-90-5	エチレングリコールジ メタクリラート	Ethylene crylate	Glycol Dimetha-								0				0					
ì																				

1			日本産業衛生学会		(3006)	ACGIH (2007)	(2007)		EU (2004)	4)			DFG (2004)	(1	PRTR	日本年 华会(38	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	在	救 名	強吸る及びり	気道感 皮脂件 作性 をひめり あり	な存在である	経皮 感作性 吸収 あり あり	TLVの 根拠ー簡 界作用	気作を適性の	友 衛 あ あ む	気道およ び皮膚感 作性あり	発験を改める	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
0-00-86	フルフリルアルコール	Furfuryl alcohol				0	刺激				0						
98-01-1	フルフラール	Furfural	0			0	刺激				0						
2-20-86		Benzyl trichloride									0						
98-07-7	ベンゾトリクロリド 【別名 ベンジリジントリクロリド	Benzotrichloride				0	刺激										
98-29-3	p-tert-ブチルカテコー ル	p-tert-Butylcatechol											0				
98-51-1	p-tert-ブチルトルエン	p-tert-Butyl toluene					刺激										
98-54-4	p-tert-ブチルフェノー ル	p-tert-Butyl phenol									0		0				
98-73-7	4-tert-ブチル安息香酸	4-tert-Butylbenzoic acid									0						
98-82-8	クメン	Cumene					刺激				0						
98-83-9	α-メチルスチレン	lpha-Methyl styrene					刺数, 皮 动 淡										
98-86-2	アセトフェイン	Acetophenone					刺激										
98-87-3		Benzyl dichloride									0						
98-88-4	塩化ベンゾイル	Benzoyl chloride					型機				0						
98-95-3	ニトロベンゼン	Nitrobenzene	0			0					0						
99-08-1	ニトロトルエン (m・ニ トロトルエン)	m-Nitrotoluene [別名 Toluene, 3-nitro-; Nitrotoluene]				0					0						
99-65-0	1,3-ジニトロベンゼン	1,3-Dinitrobenzene	0			0					0						
0-66-66	ニトロトルエン (p-ニ トロトルエン) [別名 4-ニトロトルエン]	p-Nitrotoluene [別各 4- Nitrotoluene, Nitrotoluene]				0					0						
100-00-5	Pニトロクロロベンゼ ン	p-Nitrochlorobenzene	0			0					0						
100-01-6	アニトロアニリン	p-Nitroaniline [別各 4- Nitroaniline]	0			0					0						
100-25-4	1,4-ジニトロベンゼン	1,4-Dinitrobenzene	0			0					0						
100-37-8	2- (ジエチルアミノ) エタノール	2-Diethylaminoethanol				0	型機				0						
100-40-3	4-ビニルシクロヘキセ ン	4-Vinyl cyclohexene					刺激										
100-41-4	エチルベンゼン	Ethyl benzene					刺激				0						
100-42-5	スチレン	Styrene, monomer	0				養										(

				日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	Ā	ACGIH (2007)	6	EU	EU (2004)			DFG (2004)	2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	在	楸	袙	経吸あ皮収り	巡 を か の	友膚 作性 あり	移及なののである。	感作性 口め	TLVの 気: 根拠・臨 作列 界作用 あり	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり		気道およ 経 び皮膚酸 吸 作性あり あ	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	数体を配置を存在します。	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	-	気道感作 皮膚感作報告のみ報告のみ 報告のみあるもの あるもの
100-44-7	塩化ベンジル [別名 ベンジルクロリド]	Benzyl chloride						<u>₩</u>	凝凝				0				
100-61-8	N-メチルアニリン	N-Methyl aniline	Ф				0						0				
100-63-0	フェニルヒドラジン	Phenylhydrazine	•				0	及	皮膚炎	0	^		0	0			
100-74-3	N-エチルモルホリン	N-Ethylmorpholine	ine				0	承	刺激								
100-75-4		$N ext{-}Nitrosopiperidine$	line									0	0				
100-97-0	ヘキサメチレンテトラミン	Hexamethylenetetramine	etramine								J	0		0			
101-14-4	3,3-ジクロロ-4,4-ジア ミノジフェニルメタン	4,4'- Methylene bis	sic	0			0					J	0				
101-27-9		Barban (ISO)								0	_						
101-68-8	メチレンビス (4,4-フェニレン) ジイソシアネート [別名 MDI]	Methylene bisphenyl isocyan ate(MDI) [B]4; Diphenylmethane diisocyanate (4,4·MDI)]	enyl isocyan e '-MDI)]		0(1)			平 逾	刺激,感作,			0			0	0	0
101-72-4	N-フェニル-N-イソプ ロピル-p-フェニレン	N-Isopropyl-N-phenyl-p-phenylen-p-phenylenediamine	henyl- <i>p</i> -							0	0						
101-77-9	4,4-メチレンジアニリ ン	4,4'-Methylene dianiline	ianiline	0			0			0	0	U	0	0			
101-80-4	4,4-ジアミノジフェニ ルエーテル	4,4'-Diaminodiphenyl ether 【别名 4,4'-Oxybisbenzen- amine】	ienyl ether xybisbenzen-											0			
101-83-7	ジシクロヘキシルアミ ン	Dicyclohexylamine	ne									0	<u> </u>				
101-84-8	ジフェニルエーテル	Diphenyl ether;Phenyl ether, vapor	henyl ether,					承	刺激								
101-90-6	1,3 ビス[(2,3 エボキシ ブロビル) オキシ]ベン ゼン	1,3-Bis(2,3- epoxypropoxy)benzene	nzene							0	0			0			
102-71-6	トリエタノールアミン	Triethanolamine						承	刺激					0			
102-77-2	N-オキシジエチレン-2- ベングチアゾリルスル フェンアミド	2-(Morpholinothio) benzothiazole	io)							0	0						
102-81-8	2. (ジ-ノルマル-ブチ ルアミノ) エタノール	2-N-Dibutylaminoethanol	oethanol				0	承	刺激								
103-11-7	アクリル酸 2 ーエチル ヘキシル	Acrylic acid, 2-ethylhexyl Ester [gl & 2-Ethylhexyl acrylate; 2-Propenoic acid, 2- ethylhexyl ester; 1-Hexanol, 2-ethylacrylate; 2- Ethylhexylpropenoate; Octyl acrylate]	2-ethylhexyl 5-Ethylhexyl noic acid, 2- ; 1-Hexanol, 2- noate, Octyl							0				0			

				日本産業衛生学会	i生学会 (20	(2006)	ACG	ACGIH (2007)		EU (2004)	004)			DFG (2004)	34)	PRTR	日本職 学会(吳	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	レルギー
CAS番号	西	敕	雄 数 数 数 数 数 数 数 数 数	経及 気が吸り をり あり あり	気道感 皮膚 作性 作性 あり あり	を存るのである。	経皮 感作性 吸収 あり あり	性 TLVの 根拠一臨 界作用	の 気道感 作件 あっち	数 佐 存 あ め の	気道および皮膚感	経吸る皮収り	気 を を の の の の の の の の の の の の の の の の の	皮を存成します。	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性めり	気道感作報告のみ あるもの	E 皮膚感作 報告のみ あるもの
103-16-2		Monobenzone								0									
103-71-9	イソシアン酸フェニル	Phenyl isocyanate													0				
104-54-1		Cinnamyle alcohol, Cinnamic alcohol, 3-Phenyl-2-propen- 1-ol	nnamic ropen-											0					
104-55-2	シンナムアルデヒド	Cinnamaldehyde												0					
104-78-9	3-(ジエチルアミノ)プ ロピルアミン	3 -aminopropyldiethylamine; N_iN -diethyl-1,3-diaminopropane	ımine ;							0									
104-94-9	P-アニシジン	p-Anisidine	Ū	0			0					0							
105-16-8	メタクリル酸2-(ジエチルアミノ)エチル [別 ルアミノ)エチル [別 名 メタクリル酸ジエ チルアミノエチル]	2-(Diethylamino)ethyl methacrylate;DEMA								0									
105-46-4	酢酸ブチル (酢酸sec- ブチル)	sec-Butyl acetate						刺激											
105-60-2	ε-カプロラクタム(蒸 気および粉じん曝露)	Caprolactam (vapor dust)	and					刺激											
106-24-1	ゲラニオール	Geraniol												0					
106-35-4	ノルマル-ブチルエチ ルケトン	Ethyl butyl ketone						刺激											
106-42-3	アキシレン	$p ext{-Xylene}$						刺激				0							
106-44-5	P-ケンゲール	p-Cresol		0			0	刺激, 皮膚炎	**			0							
106-46-7	P-ジクロロベンゼン	$p ext{-} ext{Dichlorobenzene}$						刺激				0							
106-47-8	トクロロアニリン	p-Chloroaniline [别各 Aniline, 4-chloro-]	ro-]							0		0							
106-49-0	トルイジン(P-トルイジン)	<i>p</i> -Toluidine					0			0		0		0					
106-50-3	フェニレンジアミン (P-フェニレンジアミン)	p-Phenylenediamine			Ō	0(1)		感作, 皮膚障害	御	0		0		0					0
106-51-4	アインゾキノン	p-Benzoquinone;Quinone	one					型機						0					
106-63-8	アクリル酸イソブチル	Isobutyl acrylate								0									
106-87-6	4オキシラニル-1,2-エポキシシクロヘキサン	Vinyl cyclohexene dioxide [別名 4-Vinylcyclohexene di- epoxide]	xide kene di-				0	刺激, 皮膚炎	. **			0							
106-88-7	1,2-酸化ブチレン 【別名 1,2-エポキンブ タン】	1,2-Butylene oxide										0							
	PROPERTY OF THE PROPERTY OF TH																		

			日本月	日本産業衛生学	学会 (2006)	 	ACGIH (2007)	7)	E	EU (2004)			DFG (2004)	004)		PRTR	日本聯業	ま・頭 海アンルボー
1 0						i				`							学会(案)	学会(案)(2004)
CAS番号	和名	救	縫吸め 皮収り	気作あ 道性り 感	友 ଜ 感 作件 あり	経 る め め め め め	感作性 丁あり 番り 番	TLVの 気 根拠ー臨 作 界作用 あ	気道感 皮 作性 作 あり あ	友膚感 気道 作性 び枝 あり 作性	気道およ 総 び友膚感 場 作性あり み	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	皮 を あ め り	気道およ び皮膚酸 作性あり	光敏を過せる	感作性 クラス1	優も 合っ 在	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
106-89-8	エピクロロとドリン	Epichlorohydrin				0	1156	刺激		0		0	0					
106-90-1		2,3-Epoxypropyl acrylate ; glycidyl acrylate								0								
106-91-2	メタクリル酸2,3-エポキンプロピル【別名 サンプロピル【別名 グリシジルメタクリレート】	2,3-Epoxypropyl methacrylate;Glycidyl methacrylate								0								
106-92-3	アリルグリシジルエー テル【別名 1-アリルオ キシ-2,3-エポキシブロ パン】	Allyl glycidyl ether (AGE); 1-Allyloxy-2,3-epoxypropane					東方是	刺激, 皮膚炎, 感作	-	0	-	0	0					
106-93-4	1,2-ジブロモエタン [別名 EDB]	Ethylene dibromide				0	₩.	刺激			-	0						
107-02-8	アクロレイン	Acrolein				0	#	刺激										
107-05-1	塩化アリル【別名 3-ク ロロプロペン】	Allyl chloride									_	0						
107-06-2	1,2-ジクロロエタン	1,2-Dichloroethane									Ŭ	0						
107-07-3	エチレンクロロヒドリ ン	Ethylene chlorohydrin				0	1154	刺激			_	0						
107-13-1	アクリロニトリル	Acrylonitrile	0			0			Ü	0	Ŭ	0	0					
107-15-3	エチレンジアミン	Ethylenediamine	0	0 (2)	0 (1)	0	₩ e	刺激, 喘息, 感作		J	0			0		0	0	
107-18-6	アリルアルコール	Allyl alcohol	0			0	100	刺激			~	0						
107-19-7	2-プロピン-1-オール	Propargyl alcohol				0	平	刺激)	0						
107-20-0	クロロアセトアルデヒ ド	Chloroacetaldehyde					IIX	刺激			<u> </u>	0						
107-21-1	エチレングリコール	Ethylene glycol					€	刺激				0						
107-22-2	グリオキサール	Glyoxal						刺激)	0	<i>\</i>	0	0					
107-30-2	クロロメチルメチルエー テル	Chloromethyl methyl ether					₩.	刺激										
107-31-3	ギ酸メチル	Methyl formate					軽	刺激				0						
107-41-5	2メチル-2,4ペンタン ジオール [別名 ヘキ シレンダリコール]	Hexylene glycol					₩.	刺激										
107-49-3	テトラエチルピロホス フェイト [別名 TEPP]	Tetraethyl pyrophosphate (TEPP)				0					O	0						
107-66-4	リン酸ジ-ノルマル-ブ チル	Dibutyl phosphate					展	刺激										
107-75-5	ヒドロキシントロネラー ル	Hydroxycitronellal											0					

				日本産	日本産業衛生学会 (2006)	(2006)	AC	ACGIH (2007)		EU	EU (2004)			DFG (2004)	004)	PRTR	l	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	各	軟	处	雑略をひめ	気道感 かんちん	皮膚感 作性 あり	森及めるあっちの	感作性 TL あり 根押	TLVの 気道感 根拠ー臨 作性 界作用 あり	直感 皮膚感 在 作性) あり	感 気道およ び皮膚感 作性あり	着表 経皮 あり あり	友 気道感 収 作性 り あり	本 を を を を の	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性 あり	気道磁作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
107-83-5	ヘキサン,他の異性体 (2-メデルベンタン) (3- メデルベンタン) (3- ジメチルブタン)	Hexane, other isomers	mers					凝区	凝									
107-87-9	メチルプロピルケトン	Methyl propyl ketone	fone					刺激	獭									
107-98-2	プロピレングリコール モノメチルエーテル	1-Methoxy-2-propanol (PGME)	anol					整	鰲									
108-03-2	1-ニトロプロバン	1-Nitropropane						刺激	獭									
108-05-4	酢酸ビニル	Vinyl acetate						刺激	簽									
108-10-1	メチルイソブチルケト ン	Methyl isobutyl (MIBK)	'l ketone					型機	極			0	0					
108-11-2	4-メチル-2-ベンタノー ル	· Methyl isobutyl carbinol	arbinol				0	刺激	差									
108-18-9	ジイソプロピルアミン	Diisopropylamine					0	刺激	***									
108-20-3	イソプロピルエーテル	Isopropyl ether						刺激	獭									
108-21-4	酢酸プロピル (酢酸イソプロピル)	Isopropyl acetate						刺激	差									
108-24-7	無水酢酸	Acetic anhydride						車	刺激									
108-31-6	無木マレイン酸	Maleic anhydride			0(2) (0(2)		○ 型型 影響	凝心		0	0			0	0	0	
108-38-3	m-キシレン	m-Xylene						展	刺激			U	0					
108-39-4	m-クレゾール	m-Cresol		0			0	献成	刺激, 皮 動 炎			J	0					
108-42-9	m-クロロアニリン [別 名 3-クロロアニリン]] m-Chloroaniline										J	0	0				
108-44-1	トルイジン(m-トルイジン)	m-Toluidine					0											
108-45-2	フェニレンジアミン (m-フェニレンジアミン)	(<i>m</i> -Phenylenediamine	ine			0(1)		展	刺激	0	0)	0					0
108-46-3	バーノジルシノール	Resorcinol 【別名 1,3-Benzenediol】	diol]		-	0(2)		刺皮	刺激, 皮膚炎					0				0
108-69-0	3,5-ジメチルアニリン	3,5-Xylidine										J	0					
108-70-3	1,3,5-トリクロロベン ゼン	/ 1,3,5-Trichlorobenzene	ızene									J	0					
108-77-0	塩化シアヌル	2,4,6-Trichloro-1,3,5-triazine	3,5-triazine							0	0							
108-83-8	ジイソブチルケトン	Diisobutyl ketone	6					樫	刺激									
108-84-9	酢酸 s-ヘキシル 【別名 酢酸1,3-ジメチルブチル】	sec-Hexyl acetate; 1,3-	; 1,3- etate					展	刺激									

			西本日	日本産業衛生学会 (2006)	(2006)	ACGIE	ACGIH (2007)		EU (2004)	G		DFG	DFG (2004)	H.	PRTR ;	日本職業	日本職業・環境アレルギー 学会(象)(2004)
CAS番号	各名	救 名	経吸め皮収り	気 を を め の	皮膚 作性 あり	経皮 感作性 吸収 あり あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気性をできる。	政権を受ける	気道およ び皮膚酸 作性あり	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	酸体性酸	気道および び皮膚感 作性あり	光過を存むの例	感作性 クラス1	験作性あり	気道感作 皮膚感作報告のみ報告のみあるもの あるもの
108-87-2	メチルシクロヘキサン	Methylcyclohexane					刺激										
108-88-3	トルエン	Toluene	0			0					0						
108-91-8	シクロヘキシルアミン	Cyclohexylamine					刺激										
108-93-0	シクロヘキサノール	Cyclohexanol				0	型機				0						
108-94-1	シクロヘキサノン	Cyclohexanone				0	刺激				0						
108-95-2	フェノール	Phenol	0			0	刺激				0						
108-98-5	チオフェノール	Phenyl mercaptan				0	刺激 (眼,皮膚)										
109-16-0	ジメタクリル酸トリエ チレングリコール	Triethylene glycol dimethacrylate										0					
109-17-1	ジメタクリル酸テトラ エチレングリコール	Tetraethyleneglycol dimethacrylate										0					
109-55-7	3-(ジメチルアミノ)プ ロピルアミン	3-aminopropyldimethyl-amine; N,N-dimethyl-1,3-diaminopropane							0								
109-59-1	エチレングリコールモ ノイソプロピルエーデ ル	2-Isopropoxyethanol									0						
109-60-4	酢酸プロピル (酢酸n- プロピル)	n-Propyl acetate					刺激										
109-66-0	ペンタン (ノルマルペ ンタン)	Pentane, all isomers					刺激										
109-73-9	ノルマル-ブチルアミ ン	$n ext{-Butylamine}$	0			0	刺激				0						
109-79-5	1-ブタンチオール	n-Butyl mercaptan					刺激										
109-86-4	エチレングリコールモ ノメチルエーテル 【別名 メチルセロソル ブ】	2-Methoxyethanol (EGME)	0			0					0						
109-87-5	メチラール	Methylal					刺激										
109-89-7	ジエチルアミン	Diethylamine				0	刺激										
109-94-4	ギ酸エチル	Ethyl formate					刺機				0						
109-99-9	テトラヒドロフラン	Tetrahydrofuran					刺激				0						
110-12-3	5-メチル-2-ヘキサノン	Methyl isoamyl ketone					刺激										
110-19-0	酢酸ブチル (酢酸イソ ブチル)	Isobutyl acetate					刺激										
110-43-0	メチル-ノルマル-ペン チルケトン [別名 2-ヘ プタノン]	Methyl n-amyl ketone					凝極										

			日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	1	ACGIH (2007)	007)		EU (2004)				DFG (2004)		PRTR	日本職等	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	各	拟	経吸あ及収り	対争をである。	友 を あり あり	雑吸も皮収り	優布 あっ 在	TLVの 根拠ー臨 界作用	後世紀の	皮 を め の の	気道およ び皮膚感 作性あり	発験を改せる	気 を か め り	友権をあって	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	顕作性 めつ	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
110-49-6	エチレングリコールモ ノメチルエーテルアセ テート [別名 酢酸2-メ トキシエチル]	2-Methoxyethyl acetate (EGMEA)	0			0						0						
110-54-3	ヘキサン(ノルマルヘ キサン)	n-Hexane	0			0		刺激										
110-62-3	1-ペンタナール [別名 n-バレルアルデヒド]	$n ext{-}V$ aleraldehyde						刺激										
110-65-6		Butynediol								0				0				
110-80-5	エチレングリコールモ ノエチルエーテル [別 名 セロソルブ]	2-Ethoxyethanol (EGEE)	0			0						0						
110-83-8	シクロヘキセン	Cyclohexene						刺激										
110-85-0	ピペラジン [別名 ヘ キサヒドロピペラジン] [別名 ジエチレン ジアミン]	Piperazine ; Hexahydropyra zine,Diethylene-diamine		0(2)							0				0	0	0	
110-86-1	ピリジン	Pyridine						刺激										
110-91-8	モルホリン	Morpholine				0		刺激										
111-15-9	エチレングリコールモ ノエチルエーテルアセ テート(セロソルブア セテート) [別名 酢酸 2-エトキシエチル]	2- Ethoxyethyl acetate (EGEEA)	0			0						0						
111-30-8	グルタルアルデヒド	Glutaraldehyde, astivated and inactivated		0(1)	0(1)		0	刺激, 感作			0				0	0	0	
111-40-0	ジエチレントリアミン [別名 N- (2-アミノエ チル) -1,2-エタンジア ミン]	Diethylene triamine				0		刺激 存状		0				0				
111-40-0	ジエチレントリアミン	2,2'- I minodiethylamine ; diethylenetriamine								0								
111-42-2	ジエタノールアミン	Diethanolamine				0						0		0				
111-44-4	ビス(8-クロロエチル) エテール [別名 2,2-ジ クロロジエチルエーテル]	Dichloroethyl ether [別名Bis (2-chloroethyl)ether]	0			0		刺激				0						
111-65-9	オクタン (全異性体)	Octane, all isomers						刺激										
111-69-3	アジポニトリル	Adiponitrile				0												
111-76-2	エチレングリコールモ ノ-ノルマル-ブチルエー テル【別名 ブチルセ ロソルブ】	2-Butoxyethanol (EGBE)						刺激				0				i		

			日本産業衛生学	生学会 (2006)		ACGIH (2007)	1007)		EU (2004)			DFG	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS部号	各	衹	経皮 気道 あら から から から	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり	雑の名を	感作性 あり	TLVの 根拠ー幅 作 界作用 あ	気道感 を作性 イ	を 本本の なった かった かった かった かった かった かった かんりん	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	道感 灰膚感性 作性 かめ	感 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
111-84-2	ノナン	Nonane, all isomers					刺激, 皮膚障害								
111-96-6	ジエチレングリコール ジメチルエーテル	Diethylene glycol dimethyl ether									0				
112-07-2	エチレングリコールモ ノブチルエーテルアセ テート 【別名 酢酸 2- ブトキシエチル】	2-Butoxyethyl acetate (EGBEA)					刺激				0				
112-24-3	トリエチレンデトラミン	Triethylenetetramine							0			0			
112-55-0	1-ドデカンチオール	1-Dodecanethiol; Dodecyl mercaptan				0	刺激								
112-57-2	テトラエチレンペンタ ミン	3,6,9-Triazaundecamethy- lenediamine							0						
115-29-7	ヘキサクロつヘキサヒ ドロメタノベンゾジオ キサチエピンオキサイ ド [別名 ベンゾエピ ン】 [別名 コンドス ルファン]	Endosulfan	÷		0										
115-32-2	ケルセン	Kelthane, dicofol (ISO)							0						
115-77-5	ペンタエリトリトール	Pentaerythritol					刺激								
115-86-6	リン酸トリフェニル	Triphenyl phosphate					型微, 及 强 炎								
117-08-8		Tetrachlorophthalic anhydride								0					
117-18-0		Tecnazene (ISO)							0						
117-81-7	フタル酸ビス(2-エチル ヘキシル) [別名 DEHP]	Di (2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)					刺激								
118-48-9		$N ext{-}\mathrm{Carboxyanthranilic}$ anhydride							0			0			
118-52-5	1,3-ジクロロ-5,5-ジメ チルイミダゾリン-2,4- ジオン	1,3-Dichloro-5,5-dimethyl hydantoin					刺激								
118-74-1	ヘキサクロロベンゼン	Hexachlorobenzene			0						0				
118-96-7	トリニトロトルエン 【別名 2,4,6-トリニト ロトルエン】(全異性 体)	2.4.6-Trinitrotoluene (TNT)(and all isomers)	0		0		刺激				0				
119-12-0	チオリン酸の,のジエチル-0.(6.オキン・1.フェニル・16.シヒドロ・3-ビリダジニル) [別名 ピリダジニル) [別名 ピリダブニル)	O.O.Diethyl O-(6-oxo-1- phenyl-1,6-dihydro-3- pyridazinyl) phosphorothioate [別名 Pyridaphenthion]	0												

18 2 2 2 2 2 2 2 2 2				田本月	日本産業衛生学	会 (2006)		ACGIH (2007)	(200		EU (2004)		DFG (2004)	PRTR	日本職(条件)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	1 #/
2.5 10 + 7.5 / 7.2 2 Nitre-d-antinophenol	CAS番号			発験を改める	気道 を あり あり	友 膚 感 を作 あり		感作性 あり	TLVの 根拠-臨 界作用	輸	₩3			感作性 クラス1	製作性あり	気道感作 報告のみ あるもの	女 関 報 告 の も る も も の も
Part 17-2-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-	119-34-6	177	l									0					
9.9.2.4.7.9.19.2 Michael bit and 3-3.1	119-93-7	oトリジンおよびその 塩 [図名 3,3-ジメチル ベンジジン]					0										
### 1	120-78-5	ジベンゾチアジルジス ルフィド	Di(benzothiazol-2-yl) disulphide								0						
13.4 + 1 9 D D D C	120-80-9						0		刺激								
15g	120-82-1	1,2,4-トリクロロベン ゼン							刺激			0					
### 1.0	121-33-5	バニリン [別名4-ヒドロキシ-3- メトキシベンズアルデ ヒド] [別名 バニリッ クアルデヒド]													•	0	
### Drough Plus plus plus plus plus plus plus plus p	121-44-8	トリエチルアミン	Triethylamine				0		刺激								
A. Dirac by A. Dirac by A. Dirac by A. Dirac by Annilic a cicli. 4 A. Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Annilic a cicli. 4 Dirac by Back でききまた には からい は は ない ない は は ない ない は は ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	121-45-9	亜りん酸トリメチル	Trimethyl phosphite						刺激			0					
2.4 — シアミノケロコ	121-57-3	スルファニル酸	Sulphanilic acid; 4- aminobenzenesulphonic acid								0						
2.4 - ジケミノケロロ m-Chloronitrobenzene	121-69-7	11	Dimethylaniline (N,N-Dimethylaniline)	0			0					0					
### 1.2 を	121-73-3		m-Chloronitrobenzene									0					
没食子酸プロビル Propyl 3.4.5- tribydroxybenzoate ○ ヘキサビドロ-1.3.5-ト Hoxahydro-1.3.5-trinitro-1.3, ○ 刺激 リニトロ-1.3.5-トリア ラーはazine(Cyclonite シートロ-1.3.5-トリア ラーはazine(Cyclonite ○ イト] チオリン酸のルシメチ O.D Dimethyl O.(3-methyl) O.(3-methyl) O.(3-methyl) ロフェニル [別名フェ phosphorothioate [別名 Entirophenyl) ロフェニル [別名フェ phosphorothioate [別名 Entirophenyl] ロフェニル [別名フェートロテオン] [別名 Fenitrothion] MBP] αーアミルシンナムア α-Amylcinnamaldehyde ○ 小学ビド 2.3-エボキシブロビル Phenyl glycidyl ether (PGE) ○ 刺激 ○ フェニルエーテル フェニルエーテル ○ 刺激 ○ ○	121-75-5	ジチオリン酸の0-ジメ チル-S-1,2-ピス (エトキンカルボニル) エチル [別名 マラチ オン]		0			0										
$\lambda + \pm k \ \Gamma D - 1.3.5 + k$ Hexahydro-1.3.5-trinitro-1.3, $\beta + \beta - \beta - \beta + \beta - \beta - \beta - \beta - \beta - \beta - $	121-79-9	没食子酸プロピル	Propyl 3,4,5- trihydroxybenzoate								0						
$j \neq j$ ン機ののシメチ O.O Dimethyl O.(3-methyl O.(3-methyl O.(3-methyl O.(3-methyl O.(3-methyl O.(3-methyl) O.(3-methyl) O.(3-methyl O.(3-methyl) O.(3-	121-82-4	ヘキサヒドロ-1,3,5-ト リニトロ-1,3,5-トリア ジン【別名 シクロナイト】					0		刺激								
αーアミルシンナムア α-Amylcinnamaldehyde ルデヒド 2.8-エポキシプロビル Phenyl glycidyl ether (PGE) ○ 刺激, ○ ○ 対像, ○ ○ 対応	122-14-5	チオリン酸ののジメチル-0(3・メチル-4ニトロフェニル) (別名フェニトロチオン) (別名フェニトロチオン) (別名MBP)	O,O-Dimethyl 4-nitrophenyl) phosphorothioa Fenitrothion														
2,3-エポキシブロビル Phenyl glycidyl ether (PGE) 〇 刺激、 〇 スェニルエーテル 皮膚炎	122-40-7	αーアミルシンナムア ルデヒド											0				
	122-60-1	2,3-エポキシプロピル フェニルエーテル	Phenyl glycidyl ether (PGE)				0		刺激, 皮 凾 炎		0	0	0				

			m	日本産業衛生学	学会 (2006))A	ACGIH (2007)	()(百	EU (2004)			DF	DFG (2004)		PRTR	1	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
CAS番号	各	英	数のなりので	友 気道感 収 作性 り あり	皮膚 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	雑数を改り合う	感作性あり	TLVの 根拠ー臨 作 界作用 あ	気道感 皮作性 作を あり あり	を存成をある。	気道およ 経び皮膚感 場件性あり み	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	1	皮膚感 気が作性 びり	気道およ 光過び皮膚酸 敏性作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作 報告のみ あるもの	皮膚 感作 報告のみ あるもの
122-99-6	エチレングリコールモ ノフェニルエーテル	2-Phenoxyethanol										0							
123-19-3	ジ-ノルマル-プロピル ケトン	Dipropyl ketone					****	刺激											
123-30-8	p-アミノフェノール	ho -Aminophenol												0					
123-31-9	ヒドロキノン	Hydroquinone			0(2)		-	皮膚炎		0		0							0
123-38-6	プロピオンアルデヒド	Propionaldehyde						刺激											
123-42-2	ジアセトンアルコール	Diacetone alcohol					. •	刺激				0							
123-51-3	イソペンチルアルコール 【別名イソアミルアルコール】	Isoamyl alcohol						数数											
123-75-1		Pyrrolidine										0							
123-77-3	アジゾカルボンアミド	C, C-Azodi (formamide)							0										
123-86-4	酢酸ブチル (酢酸ルブ チル)	n-Butyl acetate						刺激											
123-91-1	1,4ジオキサン	1,4-Dioxane	J	0		0		刺激				0							
123-92-2	酢酸イソベンチル (酢酸イソアミル) (イソアミル) (イソアミル)	Isopentyl acetate(Isoamyl acetate)	oamyl					刺激											
	酢酸ペンチル【別名 酢酸アミル】 (全異性 体)	Pentyl acetate [別各 Amly acetate], all isomers	mly					刺激											
124-04-9	アジピン酸	Adipic acid						刺激											
124-09-4	ヘキサメチレンジアミン [別名 1,6-ヘキサンジアミン]	Hexamethylenediamine; 1,6- Hexanediamine	3; 1,6-					凝											
124-40-3	ジメチルアミン	Dimethylamine						型機											
126-71-6		Triisobutyl phosphate												0					
126-73-8	リン酸トリ-ノルマル- ブチル	Tributyl phosphate						遊遊				0							
126-98-7	メタクリロニトリル	Methylacrylonitrile				0		刺激		0									
126-99-8	2-クロロ-1,3-ブタジエ ン	β -Chloroprene				0		刺激				0							
127-00-4	1-クロロ-2-プロパノー ル	. 1-Chloro-2-propanol				0													
127-18-4	テトラクロロエチレン 【別名パーククロロエ チレン】	Tetrachloroethylene; Perchloroethylene		0				刺激				0							

18 18 18 18 18 18 18 18				日本産	日本産業衛生学会 (2006)	\$ (2006)	A	ACGIH (2007)	(7)	M	EU (2004)			DFG (2004)	104)	PRTR		日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
# N ** *** *** *** *** *** *** *** *** *	CAS番号			発路を改める	気道感 作性 あり	安全を存める			1					政争を		感作性 クラス1	製作性めの	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
P + P + P + P + P + P P + P + P + P + P + P P + P + P + P + P + P + P + P P + P + P + P + P + P + P + P P + P + P + P + P + P + P P + P + P + P + P + P P + P + P + P + P P + P + P + P + P P + P + P + P + P P + P + P P + P P + P + P P	127-19-5	N.N-ジメチルアセトア ミド	l	0			0						0						
### 1	127-65-1	Pトルエンスルホンク ロロアミドナトリウム 三水和物								0									
19 19 19 19 19 19 19 19	127-68-4										0								
2.5.5.2.7.5 pb.4.7 b. Bitshlead bytcoyclothene	127-91-3	8-ビネン(モノテレビ ン類の一種)							秦										
Micromino Salb-incontents are 2.3	128-37-0	2,6-ジモブチル-4-クレ ゾール						IX	₩ <u>i</u>										
8.3 (Nationabean Scane 2.3	129-16-8		Merbromine											0					
1.2 Ab x 2 A	129-64-6		8,9,10-trinorborn-5-ene-2,3- dicarboxylic anhydride									0							
A	131-11-3	フタル酸ジメチル	Dimethylphthalate					展	巍										
Polpet (ISO)	133-06-2	N- (トリクロロメチル チオ) -1,2,3,6-テトラ ヒドロフタルイミド [別名 キャプタン]	Captan [Bl/& 1,2,3,6-tetrahydro-N-(trichloromethylthio)						凝		0								
N-フェニル-2+フチ N-Phensyl B-naphthylamine Nm	133-07-3		Folpet (ISO)								0								
*シブチルシラオカルバ Zinc	135-88-6	N-フェニル-2-ナフチ ルアミン						展	%		0								
2.4シクロロフェノキ Sesone	136-23-2	ジブチルジチオカルバ ミン酸亜鉛									0								
2-シアノアクリル酸メ Methyl 2-cyanoacrylate 皮膚炎 テルラメテルチウラム Futramethylthiuramdisul- ジスルフィド* 「別名 テウム」 「別名 テウム」 「別名 デウム」 「別名 上端化テトラメ witide ○ ○ 「別名 上端化テトラメ テルシオラム] ラメテルシオオカルバ Ziram (ISO) ミン核亜鉛 カーバムナトリウム塩 Metam-sodium (ISO) ○ ○ 野酸ノルマル・ブチル n-Butyl lactate ● ● 乳酸ノルマル・ブチル n-Butyl lactate ● ●	136-78-7	2,4 ジクロロフェノキ シエチル硫酸ナトリウ ム						展	差										
シスルライド・サラム Trimethylamiline ご4.5-Trimethylamiline の シスルフィド・サラム Tetramethylthivamdisul・ ide: Thirm: TMTD: Bis [MA 5 サラム] (dimethylthiocarbamoyl)di- [MA 5 ボルンテオカル) (dimethylthiocarbamoyl)di- Bis (dime	137-05-3	2-シアノアクリル酸メ チル						献 安	豪 炎,								0		
テトラメチルチウラム Tetramethylthiurandisult. 前後: Thiran: TMTD; Bis (dimethylthiocarbamoyl)di- (dimethylthiocarbamoyl)di- (julk チウラム) (dimethylthiocarbamoyl)di- (julk チウム) (dimethylthiocarbamoyl)di- (julk チウム) sulfide (julk カム) ボルジチオルバ Ziram (ISO) ミン検亜鉛 カーバムナトリウム塩 Metam-sodium (ISO) 現後ノルマル・ブチル n-Butyl lactate 刺激 () 刺激 () 刺激 ()	137-17-7		2,4,5-Trimethylaniline									J	0						
シメチルジチオカルバ Ziram (ISO) ミン酸亜鉛 カーバムナトリウム塩 Metam-sodium (ISO) 乳酸ノルマル-ブチル n-Butyl lactate	137-26-8	4 ×						€	邂		0			0				0	
カーバムナトリウム塩 Metam-sodium (ISO) 乳酸ノルマル-ブチル n-Butyl lactate	137-30-4	ジメチルジチオカルバ ミン酸亜鉛								•	0								
乳酸ノルマル-ブチル n-Butyl lactate	137-42-8	カーバムナトリウム塩	Metam-sodium (ISO)							-	0								
	138-22-7	乳酸ノルマル-ブチル	n-Butyl lactate					車	凝										

			日本産業衛生学	学会 (2006)	AC	ACGIH (2007)		EU (2004)	()		DFG (2004)	14)	PRTR	四 本職業	日本職業・環境アレルギー ※ (904)
CAS番号	本	救 名	経皮 吸収 を付 あり あり	数 皮	経皮 吸収 あり あり	感作性 TLVの あり 根拠-臨 界作用	気をできるの	女作権機	気道およ び皮膚酸 9 作性あり d	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	及るでは一般である。	気道およ 光過び皮膚感 敏性 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性あり	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
138-86-3	リモネン	d,l-Limonene [別名 1- Methyl-4-(l-methylethenyl) cyclohexene				:		0			0				
140-11-4	酢酸スソジル	Benzyl acetate				刺激									
140-31-8	1-(2-アミノエチル)ピ ペラジン	2-Piperazin-1-ylethylamine						0							
140-88-5	アクリル酸エチル	Ethyl acrylate, Acrylic acid ethyl ester				製 制 新 新		0			0				
141-32-2	アクリル酸ブチル	n-Butyl acrylate, Acrylic acid n-butyl ester		0(2)		を対象		0			0				0
141-43-5	2-7=1191-11	Ethanolamine				刺激					0				
141-66-2	リン酸 (D)-2-ジメチル カルバモイル-1-メチル ビニル ジメチル [別 名ジクロトホス]	(E)-2-Dimethylcarbamoyl-1- methylvinyl dimethyl phos- phate; Dicrotophos			0										
141-78-6	酢酸エチル	Ethyl acetate				刺激									
141-79-7	酸化メシチル	Mesityl oxide				刺激									
142-59-6		Nabam(ISO); disodium ethylenebis (<i>N,N</i> -dithiocarbamate)						0							
142-64-3	アペラジン二塩酸塩	Piperazine dihydrochloride				刺激,喘息, 感作	疆 小								
142-82-5	ヘプタン (ノルマルヘ プタン)	Heptane (n-Heptane)				刺激									
143-33-9	シアン化ナトリウム	Sodium cyanide	0		0	刺激				0					
144-62-7	シュウ酸	Oxalic acid				刺激									
148-01-6	2- メチル-3,5-ジニトロ ペンズアミド [別名 ジニトルド]	Dinitolamide				刺激									
148-18-5	N,N-ジエチルジチオカ ルバミン酸ナトリウム	Sodium diethyldithiocarbamate									0				
149-30-4	2-メルカプトベンゾチ アゾール	2-Mercaptobenzothiazole						0			0				
150-76-5	P・メトキシフェノール ((4・メトキシフェノー ル)	4-Methoxyphenol						0							0
151-50-8	シアン化カリウム	Potassium cyanide	0		0	刺激				0					
151-56-4	エチレンイミン	Ethylenimine [別各 Aziridine]	0		0	刺激, 気管支炎	₩			0					
156-43-4	P-フェネチジン -	4-ethoxyaniline; p-phenetidine						0							

າ	7	Λ
э	э	U

			日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	4	ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)			1	DFG (2004)		PRTR	日本職業	日本職業・環境アレルギ・ 学会(宏)(2004)	1. オー
CAS番号	本	揪	雑吸を改成で	気 を存 めの	皮を存むの	雑吸る女似り	感作性あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気道感 を あっ あっ	皮膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	破破めるのであった。	気道感 た 作性 かっちつ	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	機作性もの	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
156-62-7	カルシウムシアナミド	Calcium cyanamide						刺激, 皮膚炎				0							
218-01-9	クリセン [別名 1-ペ ンゾフェナントレン]	Chrysene						皮膚障害											
271-89-6	ベンゾフラン	Benzofuran			0(2)														С
287-92-3	シクロペンタン	Cyclopentane						刺激)
298-00-0	ジメチル・ロトロフェ ニルチオホスフェイト [別名 メチルバラチオン]	p-Nitrophenylthionophos- phate; Methyl parathion				0													
298-02-2	ジチオリン酸の,0-ジエ チル-5-エチルチオメ チル[別名 ホレート]	O,O-Diethyl-S- (ethylthio)methyl phosphorodithioate; Phorate				0													
298-04-4	ジチオリン酸の,0・ジエ チル・S(2・エチルチオ エチル) [別名 ジスル ホトン] [別名 エチ ルチオメトン]	O,O-Diethyl S.(2-ethylmer captoethyl) dithiophosphate; Disulfoton				0													
300-76-5	リン酸1,2・ジプロモ-2, 2・ジクロロエチルジエ チル【別名 ナレド】 【別名 ナレド】	1,2.Dibromo-2,2. dichloroethyl dimethyl phos- phate; Naled				0	0	皮膚炎											
302-01-2	ヒドラジン	Hydrazine	0		O(2)	0	.~	刺激		0		0		0					0
		Salts of hydrazine								0									
		Hydrazine trinitromethane								0									
		2-Methyl-5-(1,1,3,3-tetramethylbutyl) hydroquinone								0									
309-00-2	12.3.4.10.10・ヘキサケ ロロ-1,4.4a.5.8.8a・ヘ キサヒドロ・エキゾー4 エンド-5.8・ジメをフナ フタレン【別名 アル ドリン】	1,2,3,4,10,10-Hexachloro-1,4, 4a,5,8,8a-hexahydro-exo-1,4- endo-5,8- dimethenonaphthalene; Aldrin				0						0							
314-40-9	5-プロモ-3-セカンダリ- ブチル-6-メチル-1.2,3, 4,-テトラヒドロピリミ ジン-2,4-ジオン【別名 プロマシル】	5-Bromo-6-methyl-3-(1. methylpropyl)-2,4(1H,3H)- pyrimidinedione						凝											
319-84-6	α-ヘキサクロロシクロヘキサン	α-Hexachlorocyclohexane; α-1,2,3,4,5,6-Hexachloro- cyclohexane; α-HCH										0							
																			İ

			}	日本産	日本産業衛生学会 (2006)	; (2006)	⁴	ACGIH (2007)	7)	H	EU (2004)			DF(DFG (2004)		PRTR	日本職業学会(案)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	杏	救		雑酸を改成り	気道 作性 あり	皮膚感 作性 あり	雑吸あ皮収り	級作性 T もり	TLVの 気 根拠ー臨 作 界作用 あ	気道感 を存 あり あり	友庸感 9年 化性 7年 かり 4年 かり 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年 4年	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	機体を開発を存在する	「一般」 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。	5よ 光過 8級 数件 50 あり	感作性 クラス1	酸作性 あり	気道感作 皮膚感作報告のみ報告のみ 報告のみあるもの あるもの
330-54-1	3-(3,4·ジクロロフェニ ル) -1,1-ジメチル尿素 [別名 ジウロン] [別名 DCMU]	Diuron							刺激										
333-41-5	チオリン酸 0.0-ジエチル-0.(2-イソプロピ)レ-6.メチル-4-ピリミジニル) [別名 ダイアジノン]	O,O-Diethyl-O-(2-isopropyl- 6-methylpyrimidin-4- yl)phosphorothioate; Diazinon	propyl- t.	0			0						0						
334-88-3	ジアゾメタン	Diazomethane						TOR	刺激										0
353-50-4	弗化カルボニル	Carbonyl fluoride						100	刺激										
373-2-4	酢酸ニッケル(ニッケ ルおよびニッケル化合 物)	Nickel acetate			O(2)	0(1)									0				
382-21-8	1,1,3,3,3,ペンタフルオロ-2-(トリフルオロメ ロ-2-(トリフルオロメ チル) -1-プロペン [別名 PPIB] [別名 ペルフルオロイソブチレン]	1,1,3,3,Pentafluoro-2. trifluoromethyl-1-propene; Perfluoroisobutylene	opene; e					TEX	刺激										
399-95-1		4-Amino-3-fluorophenol	enol								0								
420-04-2	シアナミド	Cyanamide						TEX	刺激		0		0		0				
460-19-5	ジシアン	Cyanogen						TEX	刺激				0						
461-96-1		1-Bromo-3,5-difluorobenzene	openzene								0								
463-51-4	ケテン	Ketene							肺刺激										
463-82-1	ネオペンタン	tert-Pentane							刺激										
471-34-1	炭酸カルシウム	Calcium carbonate						na.	刺激										
479-45-8	テトリル	Tetryl							皮 醣 炎, 感作				0	•	0				
492-80-8		Auramine											0						
505-60-2	ビス(2-クロロエチル) スルフィド [別名 マ スタードガス]	Bis(2-chloroethyl) sulfide [gi]各 Mustard gas]	ılfide										0						
506-77-4	塩化シアン	Cyanogen chloride							刺激										
509-14-8	テトラニトロメタン	Tetranitromethane							刺激										
512-56-1	リン酸トリメチル	Trimethyl phosphate	9										0						
513-79-1	炭酸コバルト	Cobalt(II) carbonate	ø.												0				
514-10-3	アビエチン酸	Abietic acid													0				
525-94-0	セファロスポリンN	Cephalosporin N																	0

			日本産業衛生学	\$衛生学会	会 (2006)	⁴	ACGIH (2007)	(2)		EU (2004)				DFG (2004)	4)	PRTR	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS聯号	本	英名	数の数の数である。	が存みるのである。	皮 を あり あり	雑次 吸収 あり さ	感作性 Tage	TLVの 根拠ー臨 界作用	気道感 作性 あり	友膚感 作性 あり	気道およ び友膚感 作性あり	数数なのである。	気 を あり あり	友 衛 あり あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
528-29-0	1,2-ジニトロベンゼン	1,2-Dinitrobenzene	0			0						0					
532-27-4	2-7007セトフェノ ン	2-Chloroacetophenone					医线	刺激, 感作									
534-52-1	4,6-ジニトロ-0-クレゾー ル【別名 2-メチル-4,6- ジニトロフェノール】	Dinitro-o-cresol				0				0		0					
538-75-0	ジンクロヘキシルカル ボシイミド (別名 DCC) (別名 MCX) ドラリルビスシクロヘ キサンアミン]	Dicyclohexylcarbodiimide (DCC); N,N ² Methanetetra- lylbiscyclohexanamine								0				0			
540-23-8		Toluidinium chloride								0							
540-25-0		Toluidine sulphate (1:1)								0							
540-73-8	1,2-ジメチルヒドラジン (ヒドラジン化合物)	1,2-Dimethylhydrazine										0		0			
540-88-5	酢酸ブチル (酢酸tert- ブチル)	tert-Butyl acetate					TER	刺激									
541-69-5	塩酸m-フェニレンジア ミン	m-phenylenediamine dihydrochloride								0							
541-85-5	エチルアミルケトン	Ethyl amyl ketone					+124	刺激									
542-75-6	1,3-ジクロロプロペン [別名 D-D]	1,3-Dichloropropene [別名 1,3-Dichloropropene (techni- cal-grade)]				0	124	刺激		0		0		0			
542-92-7	ンクロペンタジエン	Cyclopentadiene					#24	刺激									
546-93-0	炭酸マグネシウム	Magnesite					**	刺激									
552-30-7	1,2,4ペンゼントリカ ルボン酸1,2-無水物 [別名 無水トリメリッ ト酸]	Trimellitic acid 1,2- anhydride; Trimellitic anhy- dride;TMA		0(1)			ugg	感作			0		0			0	0
556-52-5	2,3-エポキシ-1-プロパ ノール	Glycidol					#	刺激				0					
556-61-6	メチル=イソチオシア ネート [別名 イソチ オシアン酸メチル]	Methyl isothiocyanate; Isothiocyanato methane								0							
558-13-4	テトラブロモメタン	Carbon tetrabromide					1 0€	刺激									
563-12-2	ピス (ジチオリン酸) S.S. メチレン-0,0,0', O'テトラエチル [別 名 エチオン]	Ethion				0											
563-47-3	メタリルクロライド	Methallyl chloride;3-chloro- 2-methylpropene								0							

			日本産	日本産業衛生学会 (2006)	₹ (2006)	Ā	ACGIH (2007)	(7)	BU	EU (2004)			DF	DFG (2004)		PRTR	田本職業	日本職業・環境アレルギー	ルギー
CAS番号	各	揪	雑吸め 枚収り	気作作をある	皮膚感作性をあり	発及をある。	感作性 Tasto もち	TLVの 気機 - 臨 作 界作用 あ	気道感 友膚感 作性 作性 あり あり		気道およ 総付金融級 場合性あり み	発しるのである。	気道感 皮(作性 を)	及職務 (4) 化性 (2) をめって (4) かった (4)	気道およ 光過 び友膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1)(Z004) 気道感作 報告のみ あるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
563-80-4	イソプロピルメチルケ トン	Methyl isopropyl ketone					TEX	刺激											
583-60-8	メチルシクロヘキサノン (2-メチルシクロヘキサノン) キサノン)	o-Methylcyclohexanone	0			0	neX.	刺激											
584-84-9	トルエンジインシアネート(2,4-トルエンジインシアネーンシアネート)	Toluene-2,4-diisocyanate (TDI)		0(1)	O(2)		O	聚布			0		0					0	
591-78-6	メチル-ノルマル-ブチ ルケトン	Methyl n-butyl ketone	0			0						0							
592-01-8	シアン化カルシウム	Calcium cyanide	0			0	TEX.	刺激											
594-42-3	トリクロロメチルスル フェニルクロリド	Perchloromethyl mercaptan						刺激											
594-72-9	1,1-ジクロロ-1-ニトロ エタン	1,1-Dichloro-1-nitroethane					100	刺激											
598-78-7	2-クロロプロピオン酸	2-Chloropropionic acid				0		刺激											
600-25-9	1-クロロ-1-ニトロプロ バン	1-Chloro-1-nitropropane					-	刺激											
603-34-9	トリフェニルアミン	Triphenyl amine						刺激											
612-83-9	8,3'-ジクロロ-4,4'-ジア ミノビフェニル	Salts of 3.3-dichlorobenzidine; salts of 3.3-dichlorobiphenyl-4,4'-ylenediamine	.1						<u> </u>	0									
615-05-4		2,4-Diaminoanisole																	
615-28-1		o-Phenylenediamine dihydrochloride							J	0									
615-50-9	2,5-ジアミノトルエン 硫酸塩	2-Methyl-p- phenylenediamine sulphate							J	0									
620-11-1	酢酸3-ペンチル	3-Pentyl acetate					.=.	刺激											
624-18-0		Benzene-1,4-diamine dihydrochloride, p- phenylenediamine dihydrochloride							_	0									
624-41-9	酢酸イソペンチル	2-Methylbutyl acetate						刺激											
624-83-9	イソシアン酸メチル	Methyl isocyanate				0		刺激, 感作			0			0					
624-86-2		O-ethylhydroxylamine)	0									
625-16-1	tert-アミルアセティト	1,1-Dimethylpropyl acetate (tert-Amyl acetate)					. •	刺激											
626-17-5	m-ジシアノベンゼン	m-Phthalodinitrile						刺激											

職職 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)					日本産業	日本産業衛生学会	(2006)	ACC	ACGIH (2007)	7)		EU (2004)	_		DFG (2004)	4)	PRTR	日本職3 学会(案	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	・ルギー
### 2 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	CAS番号	母		- 	l		及 を を か の		1	1	気 を を あり あり	海和で	気道およ び皮膚感 作性あり		輸		感作性 クラス1		気道感作 報告のみ あるもの	安整老
### Comparison of the control of the	6-38-0			ıyl ace-					184	凝										
2.5 トロゲリコール (Activation Report districted) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	8-63-7	酢酸ペンチル(酢酸n-アミル)		lyı					184	凝										
### 1	9-96-8	ニトログリコール	Ethylene glycol dinita (EGDN)	rate	0			0						0						
1	7-92-3	2-エトキシ-2,2-ジメチ ルエタン							长	凝										
4 + 4 + 5 + 4 + 5 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 +	8-21-1	フェニルホスフィン	Phenylphosphine						嵌板	·豫. · 扇 炎										
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	0-31-9	ヘキサメチルホスホリッ クトリアミド		amide				0						0						
$\frac{2 \cdot 2 + \frac{1}{2} + \frac{1}$	4-16-2	ヘキサフルオロアセト ン						0												
2.2 ettylinatulylithianolidine 2.3.5 F V $X \neq V$ $V \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge Y \wedge $	13-21-0	ジエチレングリコール ジニトラート		rate										0						
2.3.5.トリメチルハイ 2.3.5-trimethylhydroquinone	14-64-4		2,2-ethylmethylthiazoli	idine								0								
TolyIlhuanid (ISO)	0-13-0	2,3,5-トリメチルハイ ドロキノン		uinone								0								
14 ***シャーロ・3.**・ A. Misapropylanilities	1-27-1		Tolylfluanid (ISO)									0								
Nインプロピルア=	4-41-0	1,4ジクロロ-2-ブテン	1,4-Dichloro-2-butene					0	€	虁				0						
フラリル能 2 E ドロキ Acrylic acid 2 Lydroxyethyl	8-52-5	Nイソプロピルアニリ ン						0												
ヘキサメチレン=37 Hexamethylene 〇(1) 刺激 〇	8-61-1	アクリル酸-2-ヒドロキ シエチル (別名 2-ヒド ロキシエチルアクリレー ト)	Acrylic acid 2-hydroxy, ester [Big Ethylene g acrylate; Bthylone gly, arrylate; Ethylene gly, monoacytlate; HEA; 2. Propenoic acid 2. hydroxyethyl ester; (Acrylopioxyethanoi; 2. Propenoic acid; 2. hydroxyethyl ester; Propenoic acid; 2. hydroxyethyl ester]	yethyl glycol, nyl 'col								0			0					
AMethyl-m-phenylenediamine 無本エンドメチレンテ 1,2,3,6-Tetrahydro-3,6-トラヒドロブタル酸 methanophthalic anhydride 4,4・シフェニルメタン (4,4・Methylenebis/2-methyl-benzenamine)]	2-06-0	ヘキサメチレン=ジイ ソシアネート [別名 ヘキサン-1,6-ジイソシ アネート]			O)(1)			承 國	养			0			0	0		0	
無水エンドメチレンテ 1,2,3,6-Tetrahydro-3,6-トラヒドロフタル酸 methanophthalic anhydride 4,4・シフェノ・3,3・シメ 4,4・Diamino-3,3・テルジフェニルメタン (4・Methylenebis/2-methyl-benzenamine)]	3-40-5		2-Methyl- <i>m</i> - phenylenediamine									0								
$4,4': \forall 7 \ge 7 - 3,3': \forall x 4,4'$ -Diamino-3,3'. $7 \not \vdash \nu \not > 7 \pm \bot \nu \times 7 \times 7 \Rightarrow (4'-\text{Methyylene})$ $= \{ (4,4'.\text{Methyylene}) \times (4,4'.$	9-62-0	無水エンドメチレンテ トラヒドロフタル酸		dride									0							
	8-88-0	4,4-ジアミノ-3,3-ジメ チルジフェニルメタン	4,4'-Diamino-3,3'-dimethyldiphenylmetha [(4,4'-Methylenebis(2-n benzenamine)]	ane nethyl-								0		0						

			日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	¥	ACGIH (2007)	07)		EU (2004)			DF	DFG (2004)	PRTR	1	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	香	承	雑数を改める	気 存 を あ り	皮 神 み め り	経及めるの	感作性 あり	TLVの 根拠一臨 界作用	気 作件 あり	皮 香 あ め	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり		皮膚感 気道およ 光過 作性 び及膚感 敏性 あり 作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
842-07-9		C.I. Solvent Yellow 14								0							
868-77-9	メタクリル酸2-ヒドロ キシエチル [別名 2-ヒ ドロキシエチルメタク リレート]	Hydroxyethyl methacrylate; 2-HEMA									0		Ü	0			0
872-50-4	N.メチル-2-ピロリド シ	N-Methyl-2-pyrrolidone	0									0					
919-86-8	メチル-S-ジメトン	Demeton-S-methyl				0	0										
923-26-2	メタクリル酸2-ヒドロ キシプロピル	Methacrylic acid 2- hydroxypropyl ester								0				0			
924-99-2		$Ethyl\ trans-3-dimethyl-aminoacrylate$								0							
930-55-2		N-Nitrosopyrrolidine										0					
935-79-5		cis-1,2,3,6- Tetrahydrophthalic anhy- dride									0						
944-22-9	O-エチル-S-フェニル エチルホスホノチオロ チオナート [別名ホノ ホス]	Fonofos; O-Ethyl S- henylethylphospho- nodithioate				0											
999-61-1	アクリル酸ヒドロキシ プロピル	2-Hydroxypropyl acrylate				0	0	刺激		0							
1024-57-3	1,4,5,6,7,8,8、ヘブタク ロロ-2,3・エボキシ-3a, 4,7,8・テントとドロ-4, 7、メタ・1.H・インデン 【別名ヘブタクロルエ ボキサイド】	1,4,5,6,7,8,8-Heptachloro-2,3- epoxy-3a,4,7,7a-tetrahydro- 4,7-methanoindan; Heptachlor epoxide				0											
1034-01-1		Octyl 3,4,5- trihydroxybenzoate								0							
1070-70-8	1,4-ブタンジオールジ アクリレート	1,4-Butanediol diacrylate								0				0			
1085-98-9	プリベントール	Dichlofluanid (ISO); N. Dichlorofluoromethylthio- N',N'-dimethyl-N- phenylsulphamide								0							
1116-54-7		N-Nitrosodiethanolamine										0					
1120-71-4	1,3-プロバンスルトン	Propane sultone [別名 1,3- Propane sultone]										0					
1134-94-7		2-Phenylthioaniline								0							
1166-52-5	没食子酸ウラリル	Lauryl gallate; dodecyl 3,4,5- trihydroxybenzoate								0							
1189-85-1	クロム酸セブチル	tert-Butyl chromate, as Cr03				0	100	刺激									

			m	日本産業衛生学会	E学会 (2006)	(9)	ACGE	ACGIH (2007)		EU (2004)	2004)			DFG (2004)	04)	u i i		ロ44歳米・坂児ノアルナド 学会(案)(3004)
CAS番号	西		発函を改成の	安 気 が が が が が が が が が が が が が	感 皮膚感 存住 あめり	1	経皮 感作性 吸収 あり あり	生 TLVの 根拠ー臨 界作用	る。	破及作件体	感 気道およ び皮膚感 作性あり	さた 動物 砂砂 あり めり	だ 気道感 双 作性 り あり	皮膚をなっている。	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性 あり	E 気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
1300-73-8	キシリジン	Xylidine (mixed isomers)	(S)				0		1		:							
1302-74-5	エメリー	Emery						型機										
1303-86-2	三酸化二ホウ素	Boron oxide						刺激										
1303-96-4	ホウ酸ナトリウム (十 水和物)	Borates, tetra, sodium salts, Decahydrate	salts,					刺激										
1304-56-9		Beryllium oxide								0								
1304-82-1	テルルおよびその化合 物 (テルル化ビスマス: Undope)	Bismuth telluride, Undoped, as Bi2Te3	loped,					刺激										
1304-82-1	テルルおよびその化合 物 (テルル化ビスマス: Se-doped)	Bismuth telluride, Se-doped, as Bi2Te3	doped,					刺激										
1305-62-0	水酸化カルシウム	Calcium hydroxide						刺激										
1305-78-8	酸化カルシウム	Calcium oxide						刺激										
1306-19-0	酸化カドミウム	Cadmium oxide										0						
1306-23-6	硫化カドミウム	Cadmium sulfide										0	0					
1307-96-6	酸化コバルト (Ⅱ)	Cobalt(II) oxide								0					0			
1308-06-1	四酸化三コパルト	Cobalt(II, II) oxide													0			
1309-48-4	酸化マグネシウム (ヒューム)	Magnesium oxide (fume)	(e)					型機										
1310-58-3	水酸化カリウム	Potassium hydroxide						刺激										
1310-73-2	水酸化ナトリウム	Sodium hydroxide						刺激										
1313-99-1	一酸化ニッケル (ニッケル (コッケルおよびニッケル化合物)	Nickel monoxide		0(2)	2) O(1)	1				0					0			
1314-06-3	ニッケル三二酸化物 (ニッケルおよびニッケル化合物)	Nickel sesquioxide		0(2)	2) O(1)	1)				0					0			
1314-13-2	酸化亜鉛	Zinc oxide, Fume																
1314-13-2	酸化亜鉛	Zinc oxide, Dust																
1314-61-0	酸化物タンクル	Tantalum oxide, dusts, as Ta	as Ta					刺激										
1314-62-1	五酸化パナジウム	Vanadium pentoxide, as V_2O_6 , Respirable dust or fume	as					刺激										
1314-80-3	痛化リン (五硫化リン)	Phosphorus pentasulfide	de					型機										
1317-42-6	廃化コバルト	Cobalt(II) sulfide								0					0			
1319-77-3	クレゾール (全異性体)	Cresol, all isomers		0			0	刺激,				С	_					

			日本屋	日本産業衛生学会	会 (2006)	A	ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)				DFG (2004)	(6)	PRTR	田本職 44余(発	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
CAS番号	杏	承	発 め め む り	気道 を めっ の	友 衛 を あ り	発のなりのない。	感作性 70 もり も	TLVの 根拠ー臨 界作用	が を を か の の	友 衛 あ あ り	気道およ び皮膚感 作性あり	磁吸吸吸 登込 ひん ひん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	が 単一の のの のの のの の の の の の の の の	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作報告のみ あるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
1321-23-9		Chloroxylenol								0									
1321-64-8	ペンタクロロナフタレ ン	Pentachloronaphthalene				0													
1321-65-9	トリクロロナフタレン	$\operatorname{Trichloronaphthalene}$				0													
1321-74-0	ジビニルベンゼン	Divinyl benzene					TEX.	刺激											
1330-20-7	キシレン (o-, m-, p-異 性体)	Xylene					1124	刺激				0							
1330-43-4	ホウ酸ナトリウム (無水物) 【別名 ホウ砂】	Borates, tetra, sodium salts, anhydrous					TEAC	刺後											
1333-82-0	クロム (IV) 三酸化物	Chromium(IV) trioxide									0								
1335-87-1	ヘキサクロロナフタレ ン	Hexachloronaphthalene				0													
1336-36-3	塩素化ビフェニル [別 名PCBs] 【 ボリ塩化 ビフェニル】	Polychlorinated biphenyls (PCBs)	0																
1338-23-4	エチルメチルケトンペ ルオキシド	Ethyl methyl ketone peroxide					₩.	型機											
1344-28-1	酸化アルミニウム	Aluminum oxide					##	刺激											
1344-95-2	ケイ酸カルシウム (合成)	Calcium silicate (synthetic)					松	刺激											
1395-21-7	サチライシン(ブチリ シン, 蛋白分解酵素)	Subtilisins, as crystalline active enzyme BPN,					# 感	刺激, 感作					0						
1477-55-0	n-キシリレンジアミン 【別名 m-キシレン・α, a'-ジアミン】	m-Xylene $lpha$, $lpha$ '-diamine				0	本	刺激											
1484-13-5		Vinylcarbazol								0				0					
1565-94-2	ビスフェノールAジグ リシジルメタクリラー ト	Bisphenol A diglycidyl methacrylate												0					
1582-09-8	トリフルラリン	Trifluralin (ISO)								0									
1589-47-5		Propylene glycol 2-methyl ether										0							
1638-05-7		2,7,11-trimethyl-13-(2,6,6-trimethylcyclohex-1-en-1-yl)tridecahexaen-2,4,6,8,10,12-al								0									
1663-39-4	アクリル酸 セブチル	tert-Butyl acrylate								0									
1675-54-3	ビスフェノールA ジ グリシジルエーテル	Bisphenol A diglycidyl ether 【別名 2,2-bis(4-(2,3-epoxy- propoxy)phenyl)propane】								0		0		0					

				日本産業衛生学会	学会 (2006)		ACGIH (2007)	(200.		EU (2004)			DFG	DFG (2004)	PRTR		日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ーギー
CAS番号	西	楸	雑吸も皮収り	友 気道感 切 存性 り あり	表 友膚感 存住 かっ	雑酸を放ける	級作権 あり	TLVの 根拠 - 臨 界作用	後を存成して	皮 を を の の の	気道およ び攻魔感 作性あり	経皮 気道 吸収 作性 あり あり	直 感 友膚感 生 作性 り あり	感 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	<u>感作性</u> クラス1	感作性あり	気道感作報告のみ あるもの	皮 を を ある も の も の も
1680-21-3	トリエチレンダリコー ルジアクリラート	Triethylene glycol diacrylate, TEGDA								0			0					
1689-84-5		Bromoxynil (ISO) and its salts	its							0								
1689-99-2		Bromoxynil octanoate (ISO)	(ISO)							0								
1698-60-8		Chloridazon (ISO)								0								
1746-01-6	2,3,7,8-テトラクロロ ジベンゾ-1,4-ジオキシ ン	2.3,7,8-Tetrachlorodibenzo- [1,4]-dioxin	-0ZU									0						
1817-47-6		p-Nitrocumene											0					
1854-23-5		4,4'-(2-Ethyl-2-nitro-1,3-propanediyl)bis-morpholine	t. oline										0					
1854-26-8		Dimethylol dihydroxy ethylene	ethy-										0					
1897-41-2		1,4-Dicyano-2,3,5,6-tetra- chloro-benzene	-a-							0								
1897-45-6	クロロタロニル	Chlorothaloni (TPN)								0			0					
1910-42-5	1,1・ジメチル・4,4・ピピリジニウムジクロリド。 (別名 パラコート) (別名 パラコート) (別名 パラコートジクロリド)	1.1.Dimethyl-4.4-bipyridinium dichloride [各 Paraquat] [別各 Paraquat dichloride]	e [3i]									0						
1912-24-9	2-クロロ-4-エチルアミ ノ-6-イソプロビルアミ ノ-1,3,5-トリアジン [別名 アトラジン]	Atrazine						極緩		0								
1918-16-7		Propachlor (ISO)								0								
1943-82-4		2-Phenylethylisocyanate	ę.								0							
1979-07-2		2-Chloracetamide								0								
2051-79-8		N5,N5-Diethyltoluene-2,5- diamine monohydrochloride; 4-diethylamino-2- methylaniline monohydrochloride	2,5- loride;							0								
2082-81-7		1,4-Butanediol demethacrylate											<u> </u>	0				
2094-99-7		2-(3-(Prop-1-en-2-yl)phenyl)prop-2-yl isocyanate									0							
		Control of the Contro																

			iii	日本産業衛生	E学会 (2006)		ACGIH (2007)	2007)		EU (2004)	_			DFG (2004)	6	PRTR	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)	レルギー
CAS番号	各	莱	務の役役の	坂 気道感受 存存 かめ	殿 皮 を を あ も も	を収める	製作性 あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気 を を の の の の	友 階 感 布件 あり	気道およ び皮腫酸 作性あり	雑吸も及収りの作品	気道感 作性 あり	友 を あ め り	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
2104-64-5	エチル・パラ・ニトロフェニルチオノベンゼンホスホネイト [別名のエチ)/O4エトロフェニルフェニルフェナフィートフェナフェニルホスホンチオアート] [別名 B] FN]	EPN; O-Ethyl O-4- nitrophenyl phenyl phosphonothioate				0						0						
2109-22-0		2-Cyclohexylpropanal								0								
2179-59-1	アリルプロピルジスル フィド	Allyl propyl disulfide					0	刺激										
2186-24-5		[(p-tolyloxy) Methyl] oxirane	rane							0								
2186-25-6		$[(m\hbox{-} {\rm tolyloxy}) {\rm Methyl}] {\rm oxirane}$	irane							0								
2210-79-9		2,3-Epoxypropyl o-tolyl ether								0								
2212-67-1	モリネート	Molinate (ISO)								0								
2223-82-7	ネオペンチルグリコー ルジアクリレート	2,2-Dimethyltrimethylene diacrylate; neopentyl glycol diacrylate	hycol							0								
2224-44-4		4-(2-Nitrobutyl) morpholine	line											0				
2234-13-1	オクタクロロナフタレ ン	Octachloronaphthalene				0		友 膚 炎										
2238-7-5	ピス(2,3-エポキシプロ ピル) エーテル [別名 ジグリシジルエー テル]	Bis(2,3-Epoxypropyl)ether	er					刺激				0						
2243-62-1	1,5ージアミノナフタリン	1,5-Naphthalenediamine 1,5- Diaminonaphthalene	1,5-									0		0				
2303-17-5		Tri-allate (ISO)								0								
2358-84-1		Diethylene glycol dimethacrylate												0				
2380-86-1		6-Hydroxyindole								0								
2425-06-1	N-(1,1,2,5-テトラクロロエチルチオト,2,3,6- テトラヒドロフタルイミド [別名 カプタホール]	N-(1,1,2,2- Tetrachloroethylthio) cyclohex4-ene-1,2- dicarboximide; Captafol				0		皮膚炎, 感作		0								
2425-79-8		1,4-Bis(2,3 epoxypropoxy)butane; butanedioldiglycidyl ether	er							0								
2426-02-0		3,4,5,6-Tetrahydrophthalic anhydride	llic								0							

285-08-6					日本産業	日本産業衛生学会	(2006))A	ACGIH (2007)	(71	EU (2004)			DFC	DFG (2004)	PRTR		日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
### シンプロピルエー 19.00	S番号		棋				友 彦 を住 あり			1	nai		経皮 気道 吸収 作性 あり あり	首感 皮膚感 作性 り あり	域 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性あり	E 気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
2.3.4-Trichlord-J-buttene (5.5.5)をデチア (5.6.5.2)をデナア (5.6.5.5.2)をデナア (5.6.5.2.2)をデナン (5.6.5.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.		ルマル-ブチル-2,3- ドキシプロピルエー b		ether					स्वर ध्यूर	阿激,	0		0	0				
(4.5 キリン・3.7 年 6.4 4 1 3.4 年 6.4 4 1 3.4 年 6.4 4 1 3.4 年 6.4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1-50-7		2,3,4-Trichlorl-1-l	outene									0					
1.3.5 トリス(2.3.五点 1.3.5.Triglycidy)4-4-5-5-4 (All 1.3.5.Triglycidy)4-4-5-5-4 (All 1.3.5.Triglycidy)4-4-5-5-4 (All 1.3.5.Triglycidy)4-4-5-5-4 (All 1.3.5.Triglycidy)4-4-5-5-4 (All 1.3.5.Triglycidy)4-5-5-4 (All 1.3.5.Triglycidy)4-5-4 (All 1.3.5.Tri		メチル-1,3-ジチオロ 5-b]キノキサリン-2- ン【別名 キノメチ ネートまたはチノメ †ナット】		iolo[4,5- le;							0							
メタケリル酸チャラヒ Tetrahydrofurfuryl methanor k		,5-トリス(2,3-エポ シプロピル) -1,3,5- リアジン-2,4,6(1H, 5H)-トリオン		ģ					many stages	友膚炎, 惑作	0							
Auramine hydrochloride 14.7.8-テトラテミノ 14.7.8- アントラキノン [3]名 Tetraammonathraquione ジスパースプルー11 [3]名 Disperse Blue 1] Hoxyl acrylate 2.2. Dithiobis(N-methylbenzamide) リン酸シールマント		9 クリル酸テトラヒ 1フルフリル	Tetrahydrofurfu crylate ; THFMA	ryl metha-										0				
1.4.7.8-テトラアミノ 1.4.7.8 フントラキノン [9]名 Tetraaminoanthraquinone シスパースプルー1] [5]名 Disperse Blue 1] Hexyl acrylate 2.2.ン3 S. Tetraminoanthraquinone コンピンテオピス	5-27-2		Auramine hydro	hloride									0					
2.2.シテオピス 2.2.Dithiobis(N-methylbenzamide) リン像シールマルー		7,8-テトラアミノ ントラキノン [別名 スパースプルー1]	1,4,7,8- Tetraaminoanthr [別各 Disperse Bl	aquinone ue 1]							0							
2.2 - シチオピス	9-92-8		Hexyl acrylate								0							
1)ン酸ジンルマルーン Dibutyl phenyl phosphate		-シチオビス	2,2'-Dithiobis(N- methylbenzamide	_)	0			
2.2-methylenediphenyl disocyanate; diphenyl misocyanate; diphenylmethane-2.2- disocyanate disocyanate somers) somers) somers) styrene-4-sulfonyl chloride somers) styrene-4-sulfonyl chloride somers) styrene-4-sulfonyl chloride h.2-ペンノインチアンー 1.2-Benzisothiazol-3(2H)-one h.3(2H)-オン 2. A = h.2.3-インチア 2. Methyl-2.3- ゾリン・3-オン dihydroisothiazol-3-one 1Dodesyl-2-pyrrolidone ロン酸ニトリル malononitrile m		ン酸ジ-ノルマル-ブ レフェニル		hosphate				0	1=7	阿姆								
トリメチルペンゼン Trimethyl benzene (mixed isomers) Styrene-4-sulfonyl chloride 1,2ペンンイソチアゾー 1,2-Benzisothiazol-3(ZH)-one ル-3(ZH)-オン 2-メチル-2,3-インチア 2-Methyl-2,3- ゾリン-3-オン dihydroisothiazol-3-one 1Dodecyl-2-pyrrolidone の塩化ペンシリデンマ o-Chlorobenzylidene ロン酸ニトリル malononitrile 無素およびその水溶性 Sulfuryl fluoride 出来およびその水溶性 Sulfuryl fluoride 出来は、イン・化ス コーストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・	6-05-2		2,2'-methylenedig diisocyanate; diphenylmethane diisocyanate	henyl -2,2'-								0						
Styrene-4-sulfonyl chloride 1,2-ベンノイソチアゾー 1,2-Benzisothiazol-3(2H)-one ル-3(2H)-オン 2-メチル-2,3-インチア 2-Methyl-2,3- ゾリン-3-オン dihydroisothiazol-3-one 1Dodecyl-2-pyrrolidone っ塩化ベンジリデンマ o-Chlorobenzylidene ロン酸ニトリル malononitrile 非素およびその水溶性 Sulfuryl fluoride 出来およびその水溶性 Sulfuryl fluoride コンドル・ストルス		リメチルベンゼン	Trimethyl benzer isomers)	ıe (mixed					100	刺激								
1.2 ペン/インチアノー 1.2-Benzisothiazol-3(2H)-one ル-3(2H)-オン 2.メチル-2.3-インチア 2-Methyl-2.3- dihydroisothiazol-3-one 1Dodecyl-2-pyrrolidone -塩化ベンジリデンマ o-Chlorobenzylidene ロン酸ニトリル malononitrile 無業およびその水溶性 Sulfuryl fluoride #数およびその水溶性 Sulfuryl fluoride 11.11.13	3-67-2		Styrene-4-sulfon;	/l chloride							0							
2-メチル-2,3-インチア 2-Methyl-2,3- ゾリン-3-オン dihydroisothiazol-3-one 1Dodecyl-2-pyrrolidone o-塩化ベンジリデンマ o-Chlorobenzylidene ロン酸ニトリル malononitrile 無業およびその水溶性 Sulfuryl fluoride 1-21112		-ベンゾインチアゾー 3(2H)-オン	1,2-Benzisothiazo	.l-3(2H)-one							0			<u> </u>	0			
IDodecyl-2-pyrrolidone ◦-塩化ベンジリデンマ o-Chlorobenzylidene ロン酸ニトリル malononitrile 排業およびその水溶性 Sulfuryl fluoride ルスココン		メチル-2,3-イソチア リン-3-オン	2-Methyl-2,3- dihydroisothiazol	-3-one										<u> </u>	0			
●塩化ペンジリデンマ o-Chlorobenzylidene ロン酸ニトリル malononitrile 用素およびその水溶性 Sulfuryl fluoride Hakt合物 (フッ化ス	6-96-2		1Dodecyl-2-pyrrc	lidone							0							
弗素およびその水溶性 Sulfuryl fluoride 無格化合物(フッ化ス i.srl u.srl		塩化ベンジリデンマン酸コトリル	o-Chlorobenzylid malononitrile	ene				0	-	刺激								
INC A		素およびその水溶性 幾化合物 (フッ化ス フリル)							1000	刺激								

CASS# Part				₩	日本産業衛生学	会 (2006)	A.	ACGIH (2007)		EU	EU (2004)			DFG (2004)	14)	PRTR	日本職業	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ーキー
	CAS番号			雑吸あ	1				1				1	安全を存めった。	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	酸作性 クラス1	製作性めの	気道感作報告のみあるもの	皮膚酸作報告のみ あるもの
4 クラリル酸 3 と	2746-19-2		(1 α ,2 α ,3 β ,6 β)-1,2,7 Tetrahydro-3,6-methanophthalic anhydric	3,6-							0								
# Ebbylamino-3-sitrobenzoic		24_	Methacrylic acid 3- hydroxypropyl ester							0									
4-Bthylamino-3-nitrobenzoic	2764-72-9	ジカアット	Diquat				0	壓	凝										
Chlorowatering whethylolate glycol mono-n-propy) eller Chlorowatering whethylolate glycol mono-n-propy) eller Chlorowatering whethylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylolate glycolathylola	2788-74-1		4-Ethylamino-3-nitrobenz acid	oic						0									
Chloroacetamide-N-methylol C.I. Disperse Yellow 3 インボロンジアミン 3-Aminomethyl-3.55 trimethylo-dependance ***********************************	2807-30-9		Ethylene glycol mono-n- propyl ether									0							
(1. Disperse Yellow 3 インオロンジアミン 3-Aminomethyl-3.55 オンテンリル権名(ジメチ 2-(Dimethyl-3.55) メラシリル権名(ジメチ 2-(Dimethylaminolethyl acryptoryl acrylate	2832-19-1		Chloroacetamide-N-methy	rlol										0					
A	2832-40-8		C.I. Disperse Yellow 3							0									
ルテミンエチル [3] methacrylate: DMMA		イソホロンジアミン	3-Aminomethyl-3,5,5- trimethyl-cyclohexylamin (Isophorone diamine)	ψ						0				0					
フラリル酸ヒドロキシ 1-Hydroxypropyl acrylate		メタクリル酸2-(ジメチ ルアミノ)エチル [別 名 メタクリル酸ジメ チルアミノエチル]								0									
# 1		アクリル酸ヒドロキシ プロピル	1-Hydroxypropyl acrylate	*						0									
3.5.シクロロ・2.6.シメ Clopidol # 1.4.4 ピリジ/ール # 1.5.7 ケール # 2.2.7 ケンピスーピール # 2.2.7 ケンピール # 3.2.7 ケンピール # 3.3.7 ケンピール # 3.2.7 ケンピール # 3		チオリン数ののジエチ ルーの(8,5,6-トリクロロー 2-ビリジル) [別名 クロルピリホス]	O.O.Diethyl-O-(3,5,6-trichloro-2-pyridyl) phosphorothioate; Chlorpyrifos				0												
2.2.テンピス (2.7 元 2.7 a 2.2. Azobisí 2. a 2.4 Azobisí 2. a 2.4 Azobisí 2. a 2.4 Azobisí 2. a 2.4 Azobisí 2. a 2.4 Azobisí 2. a methylpropionantidnel dihydrochloride ピス (2・ジメチル) = Bis (2-dimethylaminoethyl)		3.5-シクロロ-2.6-ジメ チル4ピリジノール [別名 クロピドール]						壓	艇										
E ス (2-ジメチルア		2,2-アゾビス-(2-アミジノプロパン)二塩酸塩								0									
Glycidyl trimethyl- ammonium chloride ナフタレン-1.5-ジイソ 1.5-Naphthalene シアナート ヴアナート 対象ニッケルによく酸 Tetramethyl succinonitrile ニトリル 収験ニッケルにッケ Nickel carbonate しおまれニッケルにッケ Nickel carbonate しおまれニッケルにカ		ビス (2-ジメチルアミ ノエチル)エーテル	Bis (2-dimethylaminoetl. ether (DMAEE)	nyl)			0	展	擬										
ナフタレン・1.5-ジイソ 1.5-Naphthalene シアナート ヴァナート テトラメチルこはく酸 Tetramethyl succinonitrile ニトリル 収酸ニッケル(ニッケ Nickel carbonate O(2) O(1)	3033-77-0		Glycidyl trimethyl- ammonium chloride									0		0					
テトラメチルこは<酸 Tetramethyl succinonitrile ニトリル 炭酸ニッケル(ニッケ Nickel carbonate O(2) O(1)		ナフタレン-1,5-ジイソ シアナート	1,5-Naphthalene diisocyanate						O				0					0	
炭酸ニッケル(ニッケ Nickel carbonate O(2) O(1) ルおすバニッケル化台 ルおすびニッケル化台		テトラメチルこはく酸 ニトリル		Φ.			0					0							
	i	炭酸ニッケル(ニッケルにッケルおおびニッケル化合物)			0(2)	0(1)				0					0	-			

			日本庭	日本産業衛生学会 (2006)	₹ (2006)	\ ∀	ACGIH (2007)	(2)		EU (2004)				DFG (2004)	(:	PRTR	日本職業	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	在	救	雑吸め 及以の	気 を あり あり	皮 作性 めむ	総なるのである。	感作性 Tastapa をあり 権	TLVの 根拠-臨 界作用	気道感を	安全をある。	気道およ び皮膚感 作性あり	経及 後の かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	気道感 5年代 4年 4 かめり オ	皮膚 を あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
3353-51-3		1-(p-Methoxyphenyl)acetal-dehyde oxime								0								:
3524-68-3	ペンタエリスリトール トリアクリレート	Pentaerythritol triacrylate								0				0				
3689-24-5	オキシピス(チオホス ホン酸) 0,0,0',0',テ トラエチル [別名 ス ルホテップ]	Sulfotep;TEDP				0						0						
3766-81-2	N-メチルカルバミン酸 2-sec-ブチルフェニル 【別名 フェノブカル ブ】【別名 BPMC】	2-sec-Butylphenyl N- methylcarbamate 【别名 Fe- nobucarb】【别名 BPMC 】	0															
3775-90-4		2-tert-Butylaminoethyl methacrylate								0								
3811-73-2	ナトリウムピリチオン	Sodium pyrithione										0						
3825-26-1	ペルフルオロオクタン 酸アンモニウム塩 [別名 ペンタデカフル オロタン酸アンモニウム ム]	Ammonium perfluorooctanoate				0												
3847-58-3		3-Chloro-2,4- difluoronitrobenzene								0								
3861-47-0	3,5-ジョード・4・オクタ ノイルオキシベンゾニ トリル [別名 アイオ キシニル]	3,5-Diiodo-4-octanoyl oxybenzonitrile; Ioxyniloctanoate								0								
4016-14-2	1,2-エポキシ-3-イソプ ロポキシプロパン	Isopropyl glycidyl ether (IGE)					1124	刺激										
4032-26-2		Diquat dichloride								0								
4067-16-7	ペンタエチレンヘキサ ミン	3,6,9,12-tetra-Azatetradeca- methylenediamine								0								
4074-88-8		Diethylene glycol diacrylate								0				0				
4083-64-1	アトルエンスルホニル イソシアネート	4-Isocyanatosulphonylto- luene; tosyl isocyanate							0									
4098-71-9	3-インシアナトメチル- 3.5.5.トリメチルシク ロヘキシルインシアキー ト I 別名 インホロンジイ ソシアキート]	3-Isocyanatomethyl-3,5,5- Otrimethylcyclohexyliso- cyanate, PDI; Isophorone diisocyanate					以 階 聚	及画 %、 哪是, 然 作			0				0			0
4170-30-3	クロトンアルデヒド [別名 2-ブテナール]	Crotonaldehyde [別名 2-Butenal]				0	114	刺激				0						
4229-69-0		(3 \(\theta\), 5 \(\alpha\), 6 \(\theta\))-3-(Acetyloxy)-5-bromo-6-hydroxy-androst an-17-one								0								

				+ + + + +	(3006) AND		ACCIH (9002)	(2007)		ETT (2004)	6			DFG (2004)		PRTR	日本職業	薬・環境アレルギー
			-	日本産業衛生予訳	王子芸 (2000)		Acdin	(2001)		007	·						李公子(秦)	李会(案) (2004)
CAS番号	香 名	棋	始	維皮 気温 吸収 作性 あり あり	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり	整役を分の	女	TLVの 根拠-臨 界作用	気道感 作性 あり	及 存 を あ の	気道およ び皮膚感 作性あり	経 め め り	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感め かの 弁	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
4685-14-7	パラコート (トータル ダスト)	Paraquat						刺激										
4719-04-4	とドロキシエチルトリ アジン	Hydroxyethyl triagine [β] A N,N,N -Tris(β -hydroxyethyl)-hexahydro-1,3,5-triazine]	riazine [β J] β -hydroxy- β -1,3,5-tria-							0				0				
4986-89-4		Pentaerythritol tetraacrylate								0								
5117-12-4	アクリロイルモルホリ ン	4-(1-Oxo-2-propenyl)- morpholine	nyl)-							0								
5124-30-1	メチレンピス (4.1-シ クロヘキシレン)ジイ ソシアネート	Methylene bis (4- cyclohexylisocyanate)	4- .nate)					想 孫 布			0							
5131-24-8		O, O-Odiethyl phthal imidophosphonothioate; ditalimfos	thal thioate ;							0								
5216-25-1	P-クロロベンズトリク ロライド	$p ext{-} ext{Chlorobenzotrichloride}$	ichloride									0						
5307-14-2	2-ニトロ-p-フェニレン ジアミン	2-Nitro-p-phenylenediamine 【别名,1,4-Diamino-2-nitro-benzene】	lenediamine nino-2-nitro-									0		0				
5392-40-5	シトラール	Citral								0								
5428-02-4		2-Nitro-2-phenyl-1,3- propanediol	-1,3-							0								
5470-11-1	塩酸ヒドロキシルアミ ン	Hydroxylammonium chloride	nium chlo-							0								
5470-82-6		8-Amino-7-methylquinoline	ylquinoline							0								
5598-13-0	クロルピロホスメチル	Chlorpyrifos-methyl	thyl							0								
5714-22-7	五フッ化硫黄	Sulfur pentafluoride	vride					刺激										
5788-17-0		Methyl-3-methoxyacrylate	xyacrylate							0								
5873-54-1		o-(p- Isocyanatobenzyl)phenyl isocyanate;diphenylmethane- 2,4'-diisocyanate	rl)phenyl mylmethane-								0							
5912-86-7	シス-イソオイゲノー ル	cis-Isoeugenol												0				
5932-68-3	トランス-イソオイゲ ノール	trans-Isoeugenol												0				
6317-18-6		Methylene dithiocyanate	ocyanate							0								
6358-64-1		2,5-Dimethoxy-4- chloroaniline	4									0	i					

(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)				日本産業衛生学会		(2006)	AC	ACGIH (2007)		E	EII (2004)		DRG (2004)	104)	PRMP	* a	新・師本として、
1999 1998	1						•			í	(±00±)		5 5 7	6.00	LUIU	小小孩(被	ロ4 轅来・張児ノレルナー 学会(案)(2004)
2 3.7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	CAS番号					I	ĺ		1			気作る			感作性 クラス1	製作性めり	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6385-62-2	ジクアット	Diquat				0	華	緩								
13 9 2 4 7 1 4 5 5 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	6423-43-4	二硝酸プロピレン	Propylene glycol dinitrate				0					0					
1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	6440-58-0	1,3-ジメチロール-5,5- ジメチルヒダントイン											0				
4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6613-44-1		3,5-Dimethylbenzoyl chloride							~	0						
1	6923-22-4	リン酸シメチル (B.1- メチル-3、メチルアミノ- 3.オキソ-1プロベニル (図名 モノクロトボス) (別名 リン酸シメ チル (B)エメチル・2 (メチルカルバモイル) ビニル]					0										
2.シアノアリリル能工 2.0	7027-11-4		3-Cyano-3,5,5- trimethylcyclohexanone							Č	\circ						
1	7085-85-0	2-シアノアクリル酸エ チル	Ethyl cyanoacrylate					承	凝								
#報告 A minimum and compounds.	7429-90-5	アルミニウム (金属粉 じん)	Aluminum and compounds, as A1, metal dust					展	巍								
1		アルミニウム(水溶性 塩類)	Aluminum and compounds, as A1, soluble salts					樫	艇								
6		アルミニウム(アルキル化合物(NOS))	Aluminum and compounds, as A1, alkyls(NOS)					霳	樂								
1	7439-97-6	水銀およびその無機化 合物	Mercury elemenntal and inorganic compounds, as Hg		U)(1)	0						0				0
1 = シッケルおよびその化 合物(コが性無機化合 の助ounds, as Ni (NOS) も物 (可溶性無機化合 の助ounds as Ni (NOS) も物 (不溶性無機化合 のかいのunds as Ni (NOS) も物 (不溶性無機化合 のかいのunds as Ni (NOS) も物 (不溶性無機化合 のいのunds コッケル合金	7439-98-7	モリブデンおよびその 化合物 (可溶性化合物)	Molybdenum soluble compounds, as Mo					霰	簽								
ニッケルおよびその化 動の (可溶性無機化合 動) (不溶性無機化合物) Nickel, insoluble inorganic compounds, as Ni (NOS) (C(2) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	7440-02-0	ニッケルおよびその化 合物 (ニッケル)	Nickel, elemental,as Ni	Ŏ)(1)		政	國	<u> </u>	0			0	0	0	
ニッケルおよびその化 Nickel, insoluble inoganic O(2) O(1) 刺激. 皮膚炎. 合物 (不溶性無機化合物) Swickel and itss Compounds(organic compounds(organic compounds) compounds(organic compounds) O(2) O(1) O(1) O(2) O(1)		ニッケルおよびその化 合物 (可溶性無機化合 物)	Nickel, soluble inorganic compounds, as Ni (NOS)	ŏ)(1)		屋皮	發輕 ※※						0		
ニッケルおよびその化 合物 (有機化合物) Nickel and itss compounds/organic com pounds) O(2) O(1) O(1) O(2) O(1) O(1)<		ニッケルおよびその化 合物 (不溶性無機化合 物)	Nickel, insoluble inoganic compounds, as Ni (NOS)	Ŏ)(1)		重权	發瘧 ※ ※								
3 バラジウム Nickel alloys ○		ニッケルおよびその化 合物 (有機化合物)	Nickel and its compounds(organic com pounds)	ŏ)(1)											
3 バラジウム Palladium O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) 回数 O		ニッケル合金	Nickel alloys											0	0		
4 自金化合物 Platinum compounds O(1) O(1	7440-05-3	パラジウム	Palladium													0	
自金 (金属白金) Platinum, Metal ○(1) ○(1) 刺激	7440-06-4	白金化合物	Platinum compounds	Ŏ		(1)								0			
	440-6-4	白金(金属白金)	Platinum, Metal	Ŏ		(1)		截	%					0		0	

			日本産業衛生学	生学会 (2006)	J6)	ACGIE	ACGIH (2007)		EU (2004)			DF	DFG (2004)		PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	1 #1
CAS番号	杏	兼名	総及 吸収 を の の の の の の の の の の の の の	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり	警察 経及 医 吸収 あり	皮 破 め あり り	E TLVの 根拠ー臨 界作用	気温度を存むの	友 神 を め の	気道およ び皮膚感 作性あり	経及めるのである。	気道感 友作性 作性 あり あり	友膚感 作性 あり 作	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	級令 あっ 在	気道感作 B 報告のみ 幸をももの 3	及 破 を あ め め も の も の も の も の も の も の も の も の も の
7440-06-4	白金 (可溶性塩)	Platinum, soluble salts, as Pt	0(1)	1) O(1)	1)		刺激, 帰恩, 感作							0	0			
7440-16-6	ロジウムおよびその化 合物 (ロジウム金属お よび不溶性化合物)	Rhodium, metal and insoluble compouds, as Rh					刺激										0	
7440-25-7	タンクル	Tantalum					刺激											
7440-28-0	タリウムおよびその水 溶性化合物	Thallium, and soluble compounds, as Tl			0	0	刺激											
7440-31-5	すずおよびその化合物 (有機化合物)				0	0	刺激				0							
7440-33-7	タングステン難溶性化 合物						刺激											
7440-36-0	アンチモンおよびその 化合物	Antimony & compounds, as Sb					製											
7440-39-3	バリウムおよびその水 溶性化合物	Barium and soluble compounds, as Ba					刺激											-
7440-41-7	ベリリウムおよびその 化合物	Beryllium and compounds, as Be	0(1)	1) O(2)	2)				0					0	0	0		
7440-43-9	カドミウムおよびその その無機化合物	Cadmium and its inorganic compounds									0							
7440-47-3	クロムおよびその化合物(金属クロムおよび カロム(II)化合物)	Chromium and inorganic compounds, as Cr, metal and Cr(II) compounds		0(2) 0(1)	1)		刺激, 皮膚炎								0	0		
	クロムおよびその化合 物(クロム (VI) 水溶性 化合物)	Chromium and inorganic compounds, as Cr, water-soluble Cr(VI)compounds		0(2) 0(1)	1)				0				0		0			
	クロムおよびその化合 物 (クロム (VI) 難容 性化合物)	Chromium and inorganic compounds, as Cr, insoluble Cr(VI)compounds		0(2) 0(1)	1)		刺激		0						0			
	酸化クロム(IV)	Chromium(IV) oxide																
7440-48-4	コバルトおよびその無 機化合物	Cobalt and inorganic compounds, as Co		O(1) O(1)	1)		聖			0				0	0	0		
	コバルト合金	Cobalt alloys												0				
7440-50-8	鯛およびその化合物 (fume)	Copper fume, as Cu		0(2)	2)		刺激											
7440-50-8	鋼およびその化合物 (dusts & mists)	Copper dusts & mists, as Cu		0(2)	2)		刺激											
7440-50-8	鋼およびその化合物	Copper		0(2)	2)		刺激											0
7440-58-6	ハフニウムおよびその化合物	Hafnium and compounds, as					刺激		0									

CAS番号 和 を 7440-67-7 ジルコニウムキ の無機化合物 7446-09-5 二酸化硫黄 7553-56-2 ヨウ素 7572-29-4 ジクロロアセチ 7580-67-8 木素化リチウム 7616-94-6 フッ化ベルクロ 7631-90-5 亜硫酸木素ナト 7646-79-9 塩化木素(塩酸) 7647-10-1 塩化イラジウム	和 名 の無機化合物 二酸化硫黄 ヨウ素 ジケロロアセチレン オ素化リチウム フッ化ベルクロリル 亜硫酸木素ナトリウム 三沸化ほう素 塩化亜鉛 塩化木素塩酸)	# Zirconium and its compounds, as Zr. Sulfur dioxide Iodine Dichloroacetylene Lithium hydride Perchloryl fluoride Sodium bisulfite Boron trifluoride Zinc chloride fume Harbacour Abbarda		経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	数を運動を存在を	ł		1	中國	コチギリ	1		1	光遍	ī	- 1	Í
	にウムおよびそ と合物 (A) 1アセチレン 1チウム ベルクロリル 大米ナトリウム まう素 経価機)		s insoluble			吸収 ありあり	根拠一臨界作用	布件のの	作を	気を でなる 作性を の	整及 場合 あっ をかっ をする	気道感 皮膚が 作性 作性 あり あり	a 型 型 で が な が を が を が を が を が が が が が が が が が が が が が	後を (性の	がドロ クラス1	数存在のの	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
	高数 コアセチレン 1チウム ベルクロリル 木素ナトリウム まう素 音	Sulfur dioxide Iodine Dichloroacetylene Lithium hydride Perchloryl fluoride Sodium bisulfite Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume											0				
	コアセチレン ノチウム ベルクロリル 大業ナトリウム 乗う素 番(編像)	Iodine Dichloroacetylene Lithium hydride Perchloryl fluoride Sodium bisulfite Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume					刺激										
	コアセチレン ノチウム ベルクロリル 大業ナトリウム まう素 音	Dichloroacetylene Lithium hydride Perchloryl fluoride Sodium bisulfite Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume			0(2)		刺激										С
	Jチウム ベルクロリル 大業ナトリウム まう素 も 番塩酸)	Lithium hydride Perchloryl fluoride Sodium bisulfite Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume					刺激										
	ベルクロリル 木素ナトリウム まう素 音	Perchloryl fluoride Sodium bisulfite Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume Hardrogen Ablanda					刺激										
	K素ナトリウム まう素 智 然塩酸)	Sodium bisulfite Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume	0				刺激										
	まう 素 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	Boron trifluoride Cobalt dichloride Zinc chloride fume					刺激										
	部 然(塩酸)	Cobalt dichloride Zinc chloride fume					刺激										
	4 秦(塩酸)	Zinc chloride fume								0							
	秦(塩酸)	Hardrogon obloaida					刺激										
		Hydrogen chloride					刺激									0	
	ラジウム	Palladium chloride					刺激					0	_				
7664-38-2 リン酸		Phosphoric acid					刺激										
7664-39-3 弗素およ 無機化合 素)	弗素およびその水溶性 無機化合物 (フッ化水 素)	Hydrogen fluoride, as F	as F				刺變					·					
7664-41-7 アンモニア	-7	Ammonia					刺激										
7665-72-7		tert-Butyl glycidyl ehter	ehter								0	0	~				
7681-57-4 二亜硫酸	二亜硫酸ナトリウム	Sodium metabisulfite	ite				刺激										
7697-37-2 硝酸		Nitric acid					刺激										
7718-54-9 塩化ニッ ルおよび 物)	塩化ニッケル(ニッケル)よいケルなこう ルおよびニッケル化合物)	Nickel chloride		0(2)	O(1)								0				
7719-09-7 塩化チオニル	ルニル	Thionyl chloride					刺激										
7719-12-2 三塩化リン	7	Phosphorus trichloride	ride				刺激										
7722-84-1 過酸化水素	楽	Hydrogen peroxide					刺激										
7722-88-5 オキシビ 4ナトリウ	オキシビスホスホン酸 4ナトリウム	Tetrasodium pyrophosphate	hosphate				刺激										
7726-95-6 臭素		Bromine					刺激										
7727-21-1 ペルオキ ウム	ペルオキソニ硫酸カリ ウム	Persulfate, as persulfate	ulfate							0							
7727-54-0 ペルオキ モニウム	ペルオキソ二硫酸アン モニウム	Persulfate, as persulfate	ulfate				展			0			0				

				日本産	日本産業衛生学会 (2006)	; (2006)	A	ACGIH (2007)	(2)		EU (2004)				DFG (2004)	1)	PRTR	日本職学会(案	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
CAS番号	春	拟	名	経吸あ皮収り	気道 を めり あり	皮膚 を あり あり	発を受める	感作性 17あり あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気道感 作性 あり	友 済 懸 作性 あり	気道およ び皮 酪 酸 作性あり	数をある。	気 を を の の	を存めるのは、	気道およ 光過び及内の での で から を かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり	感作性 クラス1	感作性あり	気 道 を あ る も る も の も	皮膚感作 報告のみ あるもの
7747-35-5		5-Ethyl-3,7-dioxa-1-aza- bicyclo [3.3.0] octane(EDAO)	·1-aza- ane(EDAO)												0					
7758-97-6	クロムおよびその化合 物 (クロム酸鉛:クロ ムとして)	Lead chromate, as Cr	s Cr		0(2)	0(1)														
7773-06-0	アミド硫酸アンモニウ ム	Ammonium sulfamate	mate					1000	刺激											
7775-11-3	クロム酸ナトリウム無 水物	Sodium chromate										0								
7778-18-9	硫酸カルシウム	Calcium sulfate							刺激			,	٠							
7778-50-9	クロム酸カリウム(II) 弗素およびその水溶性 無機化合物 (フッ素化 合物)	Potassium dichromate Fluorides, as F	mate					i.e.v.	刺激			0								
7782-41-4	弗素およびその水溶性 無機化合物(フッ素)	Fluorine						_	刺激											
7782-49-2	セレンおよびセレン化 合物	Selenium and compounds, as Se	npounds, as						刺激											
7782-50-4	塩素	Chlorine							刺激											
7783-06-4	張化水素	Hydrogen sulfide						.=-	刺激											
7783-07-5	セレンおよびセレン行 合物 (セレン化水素)	Hydrogen selenide, as	le, as Se						刺激											
7783-41-7	弗素およびその水溶性 無機化合物(ニフッ化 酸素)	Oxygen difluoride	Ð						刺激											
7783-60-0	四フッ化硫黄	Sulfur tetrafluoride	ide						刺激											
7783-80-4	六フッ化テルル	Tellurium hexafluoride	uoride						刺激											
7786-34-7	リン酸ジメチル1-メト キシガルボニル-1-プロ ペン-2-イル [別名 メ ビンオス]	Dimethyl 1- Methoxycarbonyl-1-propen- 2-yl phosphate;Mevinphos	l-1-propen- evinphos				0						0							
7786-81-4	高級ニッケル(ニッケ ルおよびニッケル化合 物)	Nickel sulfate			0(2)	O(1)						0				0				
7789-00-6	クロム酸カリウム	Potassium chromate	ate								0									
7789-06-2	クロムおよびその化合 物 (クロム酸ストロン チウム)	Strontium chromate, as Cr	iate, as Cr		0(2)	0(1)														
7789-09-5	クロム酸アンモニウム (II)	Ammonium dichromate	romate									0								

重クロム酸ソーダ(二 Sodium dichromate, 本和物) 国事人口人酸ソーダ(二 Sodium dichromate, 石事化基素 Bromine pentafluoride 三寿化塩素 Chlorine trifluoride ヒドロキシルアミン Hydroxylamine リン化水素 Phosphine アンチモンおよびその Antimony hydride(Stibine) (信物 [別名 スチビ Alimony hydride(Stibine) と トランン一水和物 Hydrazine monohydrate シラン Silicon tetrahydride 塩素化カンフェン [別 Chlorinated camphene 名トキサフェン] Chlorinated camphene 名トキサフェン] Chlorinated camphene 名トキサフェン [別 Chlorinated camphene イントラム Paraffin wax fume ピレトラム Pyrethrum テレビンM Foresene jet fuels, as total 神(トーラルノイド Propries Alimosarbon vapor カーボンとル、ファンド Complex compound of man- オカカルバミン酸 Complex compound of man- オカカルバミン酸 (dithiocarbomate) & zinc N, は (dithiocarbomate) & zinc N,		•		日本産	日本産業衛生学会	중 (2006)	₩	ACGIH (2007)	000)	EU (2004)			DFG (2004)	904)	PRTR	1	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)	
### 12 4 # 1 - 2 * Solum deborounds,	CAS番号	香 名		経験も 枚収り	気道感 めか あり	皮膚を存むの			i	皮膚感 作性 あり		i	女作を配性の		感作性 クラス1	残存をある	気道感作報告のみ あるもの	数件 で 3.00
Package Pack	7789-12-0	1 1	Sodium dichromate, dihydrate								0							
1	7789-30-2	五弗化臭素	Bromine pentafluoride						刺激									
	7790-91-2	三弗化塩素	Chlorine trifluoride						刺激									
1.7(在 A 2 Manusor Varieties littines	7803-49-8	ヒドロキシルアミン	Hydroxylamine								0		0					
### 15 15 15 15 15 15 15 1	7803-51-2	リン化水素	Phosphine						刺激									
1	7803-52-3	アンチモンおよびその 化合物 [別名 スチビン】	Antimony hydride(Stibine)						刺激									
### 1	7803-57-8	ヒドラジン一水和物	Hydrazine monohydrate	0		0(2)							0					
### 1	7803-62-5	シウン	Silicon tetrahydride						刺激									
18	8001-35-2		Chlorinated camphene (Toxaphene)				0					0						
デレビン油 Pyrethrum 交換 O O デレビン油 Purpartition O(2) O Might Might O プレニン/フェット機 (Excreme pt finals as total) カーボンとして) (A) イドラ bydrocarbon wipor mode to manaly and the final contribution of manaly and the final contribution of manaly and the final contribution of manaly and the final contribution of manaly and the final contribution of manaly and fi	8002-74-2	固形パラフィン	Paraffin wax fume						刺激									
### Servene pic fuels, as total	8003-34-7	ピレトラム	Pyrethrum						皮膚炎, 感作				0					
### Exercise put fuels. as total M	8006-64-2	アレバソ苗	Turpentine			0(2)			刺激	0			0				0	_
A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A.	8008-20-6	ケロシン/ジェット燃 料(トータルハイドロ カーボンとして)					0		刺激, 皮膚障害									
ジメチルエチルメルカ イト [別名 メチルン イト [別名 メチルン オトン] Methyl demeton 〇 頻識 〇 イト [別名 メチルン オトン] Methyl demeton 「 一 </td <td>8018-01-7</td> <td>NNエチレンピス(ジ チオカルバミン酸)マ ンガンとNN-エチレン と</td> <td>Complex compound of manganese N/N-ethylenebis (dithiocarbamate) & zinc N/N ethylenebis (dithiocarbamate); Manzeb; Mancozeb</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	8018-01-7	NNエチレンピス(ジ チオカルバミン酸)マ ンガンとNN-エチレン と	Complex compound of manganese N/N-ethylenebis (dithiocarbamate) & zinc N/N ethylenebis (dithiocarbamate); Manzeb; Mancozeb							0								
$\frac{i}{2}N - y \mu x \wedge \lambda + (+ + + + + + + + + + + + + + + + + $	8022-00-2	ジメチルエチルメルカ プトエチルチオホスフェ イト [別名 メチルジ メトン]					0		刺激		-	0						
VM $ t \in \mathcal{L}VP \to \gamma $ $ t \in $	8030-30-6	ラバーソルベント (ナ フサ)	Rubber solvent (Naphtha)						製機									
\Box \ge $>$ $>$ $>$ $>$ $>$ $>$ $>$ $>$ $>$ $>$	8032-32-4	VM およびPナフサ (ワニスおよび塗料用 ナフサ)							刺激									
ストッダード溶剤 Stoddard solvent アスファルト (ビチュー Asphalt (Bitumen) fume, as メン) ヒューム benzen-soluble aerosol	8050-09-7	П	Rosin core solder themal dicomposition products (colophony)		O(1)	0(1)				0			0			0		
アスファルト (ビチュー Asphalt (Bitumen) fume, as メン) ヒューム benzen-soluble aerosol	8052-41-3	ストッダード溶剤	Stoddard solvent						刺激									
	8052-42-4	rl						•	刺激		J	0						

			日本選	日本産業衛生学会 (2006)	€ (2006)	^V	ACGIH (2007)	(7)	H	EU (2004)			D.	DFG (2004)		PRTR	日本職業学会(発	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ーギー
CAS番号	在	英名	発の必要のない。	気作る感性に	皮を存むった。	発しるのである。	感作性 T あり も	TLVの 根拠ー臨 代 界作用 オ	気道感 皮作性 作性 作	皮膚感 気作性 びあり 作	気道およ 紹び皮膚感 の作性あり み	経 吸 あ の を の を の の の の の の の の の の の の の	気 を を か の め の め	皮 中 歴 感 か ら か か ら か ら か ら か ら	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	懸め あっ 在	気道感作報告のみずるものも	友 確 感作 報告のみ あるもの
8065-48-3	チオリン酸O,O.ジエチ ル-エテルテオエチル [別名 ジメトン(異性 体混合物)]	Demeton(Mixed isomers)				0						0							
9000-71-9	カゼイン	Casein															0		
9000-90-2	α-アミラーゼ	α -Amylase							0				0					0	
9001-00-7		Bromelain, juice							0										
9001-22-3	8-グルコンダーゼ	Glucosidase, β -							0										
9001-33-6		Ficin							0										
9001-73-4	バパイン	Papain							0				0						
9001-75-6	スプシン	Pepsin A							0										
9001-98-3	アンコン	Rennin							0										
9002-07-7	トリプシン	Trypsin							0										
9002-86-2	ボリ塩化ビニル [別名 ボリビニルクロライド 】 [別名 塩化ビンル 酸脂]	PVC【別名 Polyvinyl chloride:Ethene, chloro, homopolymer】			0(2)														0
9004-07-3	キモトリプシン	Chymotrypsin							0										
9004-34-6	セルロース	Cellulose					,120	刺激											
9005-25-8	ルンを	Starch					7	皮膚炎											
9006-04-6	天然ゴムラテックス, すべての蛋白	Natural rubber latex, Total proteins	as			0	0	感作							0				
9012-54-8	セルラーゼ【正式名称 β-1,4グルカングルカ ノヒドロラーゼ】	Cellulases								0			0						
9014-01-1	枯草菌	Subtilisins, as crystalline active enzyme Carlsburg, Bacillus subtilis	ac- urg,					刺激, 感作,	0				0						
9016-87-9	ポリメリックMDI 【ポリメリックメチレ ンピスフェニルイソシ アナート】	Polymeric MDI【約名 Polymethylene polyphenyl is ocyanate】	₁ is												0				
9068-59-1	細菌プロテアーゼ	Proteinase, microbial neutral	tral						0										
		Proteases with the exception of those specified elsewhere in this Annex	tion nere						0										
10025-67-9	一塩化硫黄	Sulfur monochloride						刺激											
10025-87-3	塩化ホスホリル	Phosphorus oxychloride						刺激											

2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				日本産	日本産業衛生学会	(2006)	ACG	ACGIH (2007)		因	EU (2004)			DFG (2004)	04)	PRTR	日本職業 学会(繁)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)	
Proposition of the content of the	CAS番号	各		1	処 を を か の の	皮 を か の を の の を の			I	i	485			内 存 か め り		感作性 クラス1	懸ん めっ 在		標のものの
1.56 1.7 1.5 1	10025-99-7		Dipotassium tetrachloroplatinate									0							
5世紀 1998 1998 1998 1998 1998 1998 1999	10026-00-3		Disodium tetrachloroplatinate									0							
### 1	10026-13-8	五塩化リン	Phosphorus pentachloride					刺	额										
4.7.シー	10026-24-1	硫酸コバルト(II)七水 和物										0			0				
# 学	10027-06-2		8,9,10-Trinorborn-2-yl acrylate								0								
4 十	10028-15-6	オゾン	Ozone					掌	縅										
# キャント 修子 検 か	10028-15-6	オゾン(重労働)	Ozone (heavy work)					刺	፠										
サンシ(條分報) Connet (light work) 解散	.0028-15-6	オゾン(中労働)	Ozone (moderate work)					雪	፠										
4 年 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2	10028-15-6	オゾン (軽労働)	Ozone (light work)					雪	凝										
現代	.0028-15-6	オゾン(軽労働, 重労働, 中労働)		£				極	额										
	0035-10-6	臭化水素	Hydrogen bromide					企	簽										
Hydroxylammonium Hydroxylammonium Hydroxylammonium Hydroxylammonium Hydroxylammonium Ağrax,	10039-54-0	痛敷ヒドロキシルアミ ン	Bis(hydroxylammonium) sulphate								0								
## Chlorine dioxide	.0046-00-1		Hydroxylammonium hydrogensulphate								0								
世上ン能ナトリウム Sotium selenite 一般化選条 Nitric oxide 上級化選条 Sotium chloride 上級化選条 Sotium chloride 上級化方ドミウム Cadmium chloride 上級化方ドミウム Cadmium sulfate 三泉化ほう薬 Sotium chloride 大手ルテトラビドロ無 Albany sulfatornate まかり上級・一夕 Sotium dichromate 大手ルテトラビドロ無 Machyl amine 本フタル酸 anihydrate 大手ルテトラビドロ無 Machyl amine 本フタル酸 anihydrate 大子ルテトラビドロ無 Machyl amine 本フタル酸 cyclobexendicarboxy ile オフタル酸 cyclobexendicarboxy ile ないたのは、	0049-04-4	二酸化塩素	Chlorine dioxide					真影	·宗 太 ※										
一般化塗素 Nitrio oxide 刺激 点像化塗素 Nitrogen dioxide 刺激 塩化カドミウム Cadmium chloride 刺激 職権カドミウム Cadmium sulfate 対数 三身化ほう素 Boron tribronide 刺激 は関わいのplentyは、3.3 (4-dhoropheny)よ、5.3 (4-dhoropheny)よ、5.3 (4-dhoropheny)といかにないましまい。 いまれがは (4-dhoropheny)とは (4-dhor	0102-18-8	亜セレン酸ナトリウム	Sodium selenite								0								
上級化金素	0102-43-9	一酸化窒素	Nitric oxide					奉	,SIES										
塩化カドミウム Cadmium chloride ○ 産権カドミウム Cadmium sulfate ○ 三臭化ほう素 Broon tribromide 中級 A/N-Dimethyl-2(3-(4-chloropary)-4,5-chloropary)-4,5-chloropyracol-1. ylphenylsulphonyl) ○ 重クロム酸ソーダ Sodium dichromate ○ 本プラル酸・コンド・フェアドロボ Worthst Mychole was analydride(MTHPA) ○ オープラル酸 Worthst Worthst ○ ananhydride(MTHPA) ○ ○	0102-44-0	二酸化镧素	Nitrogen dioxide				•	~~~	žitá										
最後	0108-64-2	塩化カドミウム	Cadmium chloride									U	_						
三臭化ほう素 Boron tribromide più M. M. Dimethyl-2-(3-(4-chlorophenyl)-4,5-chlorophenyl	0124-36-4	硫酸カドミウム	Cadmium sulfate									U	^						
N.N-Dimethyl-2-(3-(4-br)) A.N-Dimethyl-2-(3-(4-br))	0294-33-4	三臭化ほう素	Boron tribromide					刺涤	**										
重クロム酸ソーダ Sodium dichromate anhydrate anhydrate ○ (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	0357-99-0		N,N-Dimethyl-2-(3-(4- chlorophenyl)-4,5- dihydropyrazol-1- ylphenylsulphonyl) ethylamine								0								
メチルテトラヒドロ無 Methyl O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1) O(1)	0588-01-9	重クロム酸ソーダ	Sodium dichromate anhydrate									0							
	1070-44-3	無	Methyl cyclohexenedicarboxylic ananhydride(MTHPA)		0(1)							0	0					0	

			日本語	日太廃業衛生学会 (2006)	(2006)	AC	ACGIH (2007)		FE	EII (2004)			DEC. (900A)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	σΨdd		千二二八五四
;			I	H H	(2000)		1000			(*007)			5 77	(5004)	LEIN		ロ◆職業・緊鳴アレルキー 学会(案)(2004)
CAS番号	在	救	経吸め及収の	災 存 を め り	友膚感 作性 あり	条 め め め め め め め	感作性 TLあり 根料	TLVの 気 根拠ー臨 作 界作用 あ	気道感 皮脂 作性 作性 かっちゃっ あっちゅう	及 殖 機 気(で) 作件 (な) (な) (な) (な) (な)	気道およ 絶 び皮膚感 場 作性あり み	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	数 及	多 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性あり	気道感作 皮膚感作報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
11097-69-1	塩素化ビフェニル(C 1 54%)(PCB)	Chlorodiphenyl (54%chlorine)	0			0		刺激				0					
12035-36-8	二酸化ニッケル(ニッケンケル) ケルおおよびニッケル化合物)	Nickel dioxide		0(2)	0(1)				3	0				0			
12035-72-2	ニッケルおよびその化合物 (連化ニッケル)	Nickel subsulfide, as Ni		0(2)	0(1)		刺皮	刺激, 皮膚炎	J	0				0			
12054-48-7	水酸化ニッケル(ニッケル4ボッケルおおびニッケル名 合物)	Nickel hydroxide		0(2)	0(1)				~	0				0			
12079-65-1	シクロペンタジエニル トリカルボニルマンガ ン	Manganese cyclopentadienyl tricarbonyl, as Mn				0											
12108-13-3	2-メチルシクロペンタ ジエニルマンガントリ カルボニルマンガン	2-Methylcyclopentadienyl manganese tricarbonyl , as Mn				0											
12122-67-7	N, N' -エチレンビ ス (ジチオカルバミン 酸) 亜鉛 (別名ジネブ)	Zineb							Ŭ	0							
12125-02-9	塩化アンモニウム	Ammonium chloride fume					刺激	*									
12179-04-3	ホウ酸ナトリウム (五 水和物)	Borates, tetra, sodium salts, pentahydrate					刺激	薆									
12185-10-3	強リン	Phosphorus (yellow)					刺激	凝									
12427-38-2	マンネブ [別名 [[1,2-エタンジイ ルビス [カルバモジチ オナト]](2-)] -マ ンガン]	Manganous ethylenebis- (dithiocarbamate);Waneb								0				0			
12604-58-9	フェロバナジウム	Ferrovanadium dust					刺激	簽									
13048-33-4	ニアクリル酸 1,6-ヘキ サンジオール	1,6-Hexanediol diacrylate								-	0		0				
13071-79-9	テルブフォス	Terbufos				0											
13108-52-6		Methyl-2.3,5,6-tetrachloro-4- pyridylsulphone, 2,3,5,6- tetrachloro-4- (methylsulphonyl)pyridine								0							
13121-70-5	サイヘキサチン【別名 トリシクロヘキシルす ずヒドロキシド】	Cyhexatin;tricycloexyltin hydroxide					刺激	3									
13149-00-3	ヘキサヒドロ無水フタ ル酸(cis異性体)	Hexahydrophthalic Anhydride,cis-isomers				<u> </u>	○ 懸布	杌		Ŭ	0						
13194-48-4		Ethoprophos (ISO); Ethyl S,S-dipropyl phosphorodithioate							0								

				本産業	日本産業衛生学会	(2006)	ACG	ACGIH (2007)		EU (EU (2004)			DFG (2004)	004)	PRTR	五 本 小 ()	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)] } -
CAS番号	各	松	か 雄殿ゼ	経及 必要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	気道感 作性 あり	友通感を任任を	経皮 感作性 吸収 あり あり	性 TLVの 根拠ー臨 界作用	の 気道感 存在 あめり	感 皮膚感 作性 あり	感 気道およ び皮膚感 作性あり	およ 経皮あり あり	友 気道感 又 作性 3 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1		気道感作報告のみあるもの	皮膚 感作 報告のみ あるもの
13360-57-1		Dimethylsulfamoyl chloride	l chloride									0							
13463-39-3	ニッケルおよびその化 合物(ニッケルカルボ ニル)	Nickel carbonyl, as Ni	s Ni	O	0(2)	0(1)		刺激											
13466-78-9	δ-ε-カレン(モノテレ ピン類の一種)	Turpentine[8006-64-2] and selected monoterperpense[\delta - \center{\epsilon} \cent	penes[δ -				0	刺激											
13530-65-9	クロムおよびその化合 物 (クロム酸亜鉛)	Zinc chromates, as Cr	Cr	O	0(2)	0(1)				0				0					
13820-41-2		Diammonium tetrachloroplatinate	я								0	_							
13952-84-6	sec-ブチルアミン	sec-Butylamine										0	_						
14166-21-3	ヘキサヒドロ無水フタ ル酸(trans異性体)	Hexahydrophthalic anhydride,trans-isomers	omers				0	》 聚布			0	6							
14324-55-1	ジエチルジチオカルバ ミン酸亜鉛	Zinc bis(diethyldithiocarbamate)	rbamate)							0									
14484-64-1	トリス (N,N-ジメチル ジチオカルバメート) 鉄 [別名 ファーバム]	Iron tris(dimethyldithiocar-bamate);	ldithiocar-					刺激											
14548-60-8		Benzyl alcohol mono(poly)hemiformal	mal											0					
14857-34-2	ジメチルエトキシシラ ン	Dimethylethoxysilane	ane					刺激											
14977-61-8	塩化クロミル	Chromyl chloride								0	_			0					
14977-61-8		Chromyl dichloride; chromic oxychloride	le; chromic		٠					0	6								
15024-10-9		p-tolyl 4-chlorobenzoate	ızoate							0	_								
15121-89-8		E-Ethyl-4-oxo-4- phenylcrotonate								0									
15165-67-0		(+)-R-2-(2,4- Dichlorophenoxy)propionic acid	propionic							0	0								
15625-89-5	トリメチロールプロパ ントリアクリレート	Trimethylolpropane Triacrylate	ne							0	^			0					
15646-96-5		2,4,4- Trimethylhexamethylene-1, 6-di-isocyanate	thylene-1,						0										
15972-60-8	2-クロロ-2,6-ジエチル- N-(メトキシメチル)ア セトアニリド [別名 アラクロール]	2-Chloro-2,6'-diethyl- <i>N</i> - (methoxymethyl)acetanilide; Alachlor	ıyl-N- .cetanîlide;							0	0								
15980-11-7		3-Azidosulfonylbenzoic acid	nzoic acid							0									

CAS番号				日本産業衛生学	5年学会	会 (2006)	AC	ACGIH (2007)	_	EU	EU (2004)			DFG (2004)	004)		PRTR	日本職業 小会(殊	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
	杏	棋		発放 ひの かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	災道縣 存在から かっち	を存取を存むの	経 数 数 数 あ の の あ	感作性 TL あり 機	TLVの 気 根拠ー臨 作 界作用 め	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり	- 気道およ び友殖感 作性あり	おいる数であるののであるののあっています。	女 気道感 ひ 存在 つ あわ	内 を を め り	気道およ び友 婦 感 作性あり	光機体の	感作性 クラス1	懸作 あり	気道感作 報告のみ あるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
16219-75-3	エチリデンノルボルネン [別名 5エチリデン-2-ノルボルネン]	Ethylidene norbornene ; 5- Ethylidene-2-norbornene	ne ; 5- nene					刺激	秦											
16695-22-0		N_sN_b is $(2-(p-toluenesulfonyloxy)$ ethyl $)-p-toluenesulfonamide$	thyl)- <i>p</i> -							0										
16812-54-7	語化コッケル(コッケルとかん) いおよびコッケル化合物)	Nickel sulfide		Ō	0(2)	0(1)				0	_				0					
16919-58-7		Diammonium hexachloroplatinate									0									
16921-30-5	ヘキサクロロ白金(IV) 酸カリウム	Dipotassium hexachloroplatinate									0									
16923-58-3	ヘキサクロロ白金(IV) ナトリウム	Disodium hexachloroplatinate									0									
16938-22-0		2,2,4- Trimethylhexamethylene-1, 6-di-isocyanate	rlene-1,							0										
16941-12-1	ヘキサクロロ白金(IV) 酸六水和物	Hexachloroplatinic acid	cid								0									
17109-49-8	ジチオリン酸のエチルー S.S-ジフェニル [別名 エディフェンホスまた はEDDP]	Edifenphos(ISO); O-Ethyl S,S-diphenyl phosphorodithioate; Edifenphos	thyl S,S							0										
17339-60-5		N,N,N',N'- tetramethyldithiobis(ethy- lene)diamine dihydrochloride	(ethy- chloride							0										
17351-75-6		1,4-Bis[(vinyloxy)methyl] cyclohexane	.hyl]							0										
17557-23-2	ネオペンチルグリコー ルジグリシジルエーテ ル	1,3-Bis(2,3-epoxypropoxy)-2, 2-dimethylpropane	oxy)-2,							0										
17630-75-0		5-Chloro-1,3-dihydro-2 <i>H</i> -indol-2-one	-2H-							0										
17702-41-9	デカボラン	Decaborane					0					0								
17804-35-2	N-[1-(N-ノルマル-ブチ ルカルバモイル)-1F- 2-ベンゾイミダゾリル] カルバミン酸メチル [別名 ベノミル]	1-(Butylamino)carbonyl)-1 <i>H</i> - benzimidazol-2-yl); Benomyl	$_{ m hol}$ and $_{ m hol}$ and $_{ m hol}$					型 区	刺激, 皮膚炎	0										
17831-71-9	テトラエチレングリコー ルジアクリレート	Tetraethylene glycol diacrylate												0						
18230-61-0		Bis(1-methylethyl)- dimethoxysilane								0										

			日本産	日本産業衛生学会	송 (2006)	A(ACGIH (2007)	()		EU (2004)				DFG (2004)		PRTR	4年	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)	1
CAS番号	和	救	雑を必める	気道感 作性 あり	皮膚を作るの	整体を必要がある。	感作性 Tasto	TLVの 根拠-臨 界作用	気 を あり あり	皮 を あり	気道およ び皮膚感 作性あり	経吸を仮収り	後年の一般を	及作 を存 めっ	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性あり	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの	感のも作みの
18600-59-4		2,2-(1,4-Phenylene)bis((4H-3,1-benzoxazine-4-one)					,	8		0				ļ					
18759-96-1		3-Methyl- aminomethylphenylamine								0									
19060-15-2		4,4-Dimethoxybutylamine								0									
19247-05-3		N,N-hydrazinodiacetic acid								0									
19438-60-9	4メチルヘキサヒドロ 無水フタル酸	Hexahydro-4-methylphthalic anhydride								0									
19485-03-1		1-Methyltrimethylene diacrylate; 1,3-butylene gly- col diacrylate								0									
20108-78-5		Valinamide								0									
20627-73-0		1-Dimethoxymethyl-2-nitrobenzene								0									
20706-25-6	エチレングリコールモ ノプロピルエーテルア セテート	Ethylene glycol mono-propyl ether acetate	_									0							
20816-12-0	四酸化オスミウム	Osmium tetroxide					TEX	蒸											
21351-79-1	水酸化セシウム	Cesium hydroxide					TEX	刺激											
21564-17-0	ベンチアゾール	(Benzothiazol-2- ylthio)methyl thiocyanate; TCMTB								0									
21983-80-2		4'-Fluoro-2,2- dimethoxyacetophenone								0									
21983-80-2		2,4-Difluoro- α -(1 H -1,2,4-triazol-1-yl) acetophenone hydrochloride								0									
22224-92-6	N-イソプロビルアミノ ホスホン酸のエチル・O- (3・メチル・4・メチルチ オフェニル) (別名 フェ ナミホス)	Fenamiphos				0								,					
22259-30-9		Formetanate								0									
22411-22-9		Hafnium tetra-n-butoxide								0									
23085-60-1		Benzyl 2,4- dibromobutanoate								0									
23422-53-9		Formetanate hydrochloride; 3-(N,N-dimethyl-aminomethyleneamino) phenyl N-methylcarbamate								0									
23564-05-8	チオファネートメチル	Thiophanate-methyl (ISO)								0									

				日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	ACGIF	ACGIH (2007)		EU (2004)	04)			DFG (2004)	1)	PRTR	日本職 学会(案	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	本	敕		雑 数 め り り	気 を を で を の	友 作 を あ り	経皮 感作性 吸収 あり あり	E TLVの 根拠-臨 界作用	知 気道感 作性 あり	な 皮膚酸 作性 あり	気道および及内臓の作性あり	雑吸め 及 込 け の	気 油 あ め の	友 を あ あ む	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作をあり	気道感作 皮膚感作報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
23696-28-8		Olaquinodox(N-(2- hydroxyethyl)-3-methyl-2- quinoxaline-carboxamide 1, 4-dioxide)	thyl-2- ımide 1,												0			
23783-26-8		Hydroxyphosphonoacetic acid	acetic							0								
24279-39-8		2,6-Dichloro-4- trifluoromethylaniline	пе							0								
244030-4-1		2-Bromo-2-nitropropanol	panol							0								
24613-89-6		dDchromium tris(chromate); chromium II chromate; chromic chromate	nromate); ate;							0								
24856-00-6		5-Bromo-8-naphtholactam	actam							0								
25013-15-4	ビニルトルエン	Vinyl toluene [別名 Methyl styrene]	4 Methyl					刺激										
25057-89-0	インタブ ン	Bentazone (ISO); 3-isopropyl- 2,1,3-benzothiadiazine-4-one- 2,2-dioxide	sopropyl- 1e-4-one-							0								
25068-38-6	44イソプロピリゲン ジフェノールと1-クロ ロ-2,3・エボキンプロバ ンの重縮合物(狭伏) 「図名 ピスフェノー ルA型エボキン樹脂]	Polymer of 4.4- chloro-2,3 epoxypridenediphenol & 1- gloxypropane(liquid); Diglycidylether of BPA; Bisphenol A type epoxy resin(liqid)	nol & 1- '); 'PA; oxy							0								
25154-54-5	ジニトロベンゼン(全 異性体)	Dinitrobenzene, all isomers	somers	0			0					0						
25321-14-6	ジニトロトルエン	Dinitrotoluene(DNT)	•				0					0						
25376-45-8		Phenylenediamine								0								
25584-83-2		Acrylic acid hydroxypropyl ester (all isomers)	xypropyl											0				
25639-42-3	メチルシクロヘキサノー ル	Methylcyclohexanol						刺激										
25646-71-3	4アミノ-N-エチル-N- [2-(メタンスル・ホンア : * ドレチル-m-トルイ ジンサルフェートハイ ドレート	N-(2-(4-Amino-N-ethyl-m-toluidino)ethyl) methanesulphonamide sesquisulphate; 4-(N-ethyl-N-2-methanesul-phonylaminoethyl)-2-methanesul-phonylaminoethyl)-2-methylphenylenediamine sesquisulphate monohydrate	lyl-m- de /-ethyl-N							0								

新 名	ļ			日本産	日本産業衛生学会	동 (2006)	AC	ACGIH (2007)	7)	EU (2004)			DFG (2004)	3004)	PRTR	日本職業 学会(%)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ーギー
4.ファン・ルン・チャン・ルール (A Ammonio metoly) behty (2) 4. アン・ルン・チャル・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン・ルン		在	軼		が を を の の	本を存るのである。	i		1	皮膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感吸収 作性 吸収 作性 あり あり	殿 皮 体 を を か な か か か か か か か か か か か か か か か か	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	製作性あり	気道感作 財報告のみ 幸をあもの さ	皮膚懸作 報告のみ あるもの
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$		47ミノ-Wエチル-M- ヒドロキシエチル-m- トルイジンサルフェー ト	(4-Ammonio-m-tolyl)ethyl(2-hydroxyethyl)ammonium sulphatet 4-{N-ethyl-N-2-hydroxyethyl)-2-nydroxyethyl)-2-methylphenylenediamine sulphate							0								
5.9 ロ 3.4 チル 2.3	5965-81-5		1-(2-Propenyl)pyridinium chloride							0								
5.クロロ-3.メチル-3.3。 5.Chloro-2-methyl-2. インテアゾリン-3.オン ditydroisothiazol-3.oue Cresyl glycidyl ether		テルフェニル	Terphenyls					10%	湯									
Tetrahydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic anhydrophthalic dissocyanate [9] (0(1) 0(2) $\frac{1}{2} \frac{1}{2}		5-クロロ-2-メチル-2,3- イソチアゾリン-3-オン	5-Chloro-2-methyl-2,- dihydroisothiazol-3-one										0					
Cresyl glycidyl ether Methylenediphenyl diisocyanate F リレンジインシアネー Tolylene diisocyanate F 1 [28] 名 メチル-13.	6266-63-7		hydrophthalic								0							
Methylenediphenyl Methylenediphenyl Misocyanate [39] (1) (2) (2) (2) (3) $\frac{1}{2} \frac{1}{2} 1$	6447-14-3		Cresyl glycidyl ether							0						٠		
トリレンシインシアネー Tolylene diisocyanate [到	6447-40-5		Methylenediphenyl diisocyanate								0							
2-オクチル-4インチア 2-Octyl-4-isothiazolin-3-one イソオクチルアルコー Isooctyl alcohol L [2-[(4-Nitrophenyl)amino]] ethyllurea Phenylhydrazine hydrochlo- ride Phenylhydrazine hydrochlo- ride Phenylhydrazine hydrochlo- ride Phenylhydrazine hydrochlo- fide Methyllurea, chidimuron Glyceryl monothioglycolate Methyl 3- dimethyxyhosphinothioyl) 4-Eドロキシセメチル 4-(4-Hydroxy-methyl ペンチル-3-シクロペキ penyyl)-3-cyclohexene-1- センカルボキシアルデ carboxaldehyde		トリアンジインシアネート [図名 メチル-1,3- フェニアンジインシア ネート] [図名 原ト リアンジインシア	Tolylene diisocyanate & Methyl-1,3-phenylene isocyanate] [¾ & Tolylene diisocyanate]		0(1)	0(2)					0				0		0	
イソオクチルアルコー Isooctyl alcohol [2-[(4-Nitrophenyl)amino] ethyl]urea ethyl]urea Phenylhydrazine hydrochlo-ride [2-[(4-Nitrophenyl)amino] ethyl]urea Phenylhydrazine hydrochlo-ride [2-[(4-Nitrophenyl)amino] Phenylhydrazine hydrochlo-ride [2-[(4-Nitrophenyl)amino] Phenylhydrazine hydrochlo-ride [3-[(4-Nitrophenyl)amino] Phenylhydrazine hydrochlo-ride [3-[(4-Nitrophenyl)amino] Phenylhydrazy-methyl ペンテル・3・シウロペキ penylhydrazy-methyl ペンテル・3・シウロペキ penylhydrazy-methyl ペンテル・3・シウロペキ penylhydrazy-methyl ペンテル・3・シウロペキ penylhydrazy-methyl ペンテル・3・シウロペキ penylhyd-cyclohexene-1・ビド		2-オクチル-4-イソチア ゾリン-3-オン	2-Octyl-4-isothiazolin-3-one							0		0	0					
[2[(4-Nitropheny)]amino] ethyl]urea Phenylhydrazine hydrochlo-ride ride p-tert-ガチルカテコー p-tert-Butylcatechol ルルイナール 1-(5-Ethylsulphonyl-1,3,4 thiadiazol/2-yl)-1,3 dimethylurea: ethidimuron Glyceryl monothioglycolate Methyl 3 (dimethylyzolate Methyl) 4-Eドロキシセメチル 4-(4-Hydroxy-methyl ペンチル・3・ショルギ・シアロペキ penyyl 3-cyclohexene-1-モド		イソオクチルアルコー ル	Isooctyl alcohol				0	**	可微									
Phenylhydrazine hydrochlo- ride p-tert-ブチルカテコー p-tert-Butylcatechol ル 1-(5-Ethylsulphonyl-1,3,4 thiadiazol-2-yl)-1,3 dimethylurea; ethidimuron Glyceryl monothioglycolate Methyl 3- (dimethoxyhosphinothioyl) インテル-3-シウロヘキ pentyl)-3-cyclohexene-1- センカルボキシアルデ carboxaldehyde	7080-42-8		[2-[(4-Nitrophenyl)amino] ethyl]urea							0								
p-tert-ブチルカテコー p-tert-Butylcatechol ル 1-(5-Ethylsulphonyl-1,3,4- thiadiazol-2-yl)-1,3. dimethylurea; ethidimuron Glyceryl monothioglycolate Methyl 3- (dimethoxyhosphinothioyl) 4-E ドロキシ-4・メチル 4-(4-Hydroxy-methyl ペンテル-3-シウロペキ pentyl)-3-cyclohexene-1- センカルボキシアルデ carboxaldehyde	7140-08-5		Phenylhydrazine hydrochlo- ride							0								
1-(5-Ethylsulphonyl-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3,5-thiadiachylaghylaghylaghylaghylaghylaghylaghylag		p-tert-ブチルカテコー ル	p-tert-Butylcatechol										0					
Glyceryl monothioglycolate Methyl 3- (dimethoxyphosphinothioyl) 4 E ドロキシセメチル 4(4-Hydroxy-methyl ペンテル-3シクロヘキ pentyl)-3-cyclohexene-1- センカルボキシアルデ carboxaldehyde	0043-49-3		1-(5-Ethylsulphonyl-1,3,4-thiadiazol-2-yl)-1,3-dimethylurea; ethidimuron							0								
Methyl 3- (dimethoxyphosphinothioyl) 4-ヒドロキシセメチル 4-(4-Hydroxy-methyl ペンチル-3-シクロヘキ pentyl)-3-cyclohexene-1- センカルボキシアルデ carboxaldehyde	0618-84-9		Glyceryl monothioglycolate										0					
4-ヒドロキシ4-メチル 4-(4-Hydroxy-methy) ペンチル-3シクロヘキ pentyl)-3-cyclohexene-1- センカルボキシアルデ carboxaldehyde ヒド	0864-28-9		Methyl 3- (dimethoxyphosphinothioyl)							0								
		4ヒドロキシ4メチルペンチル-3・シクロヘキセンカルボキシアルデ センカルボキシアルデ											0					
33089-61-1 アミトラズ Amitraz (ISO)		ドトラ	Amitraz (ISO)							0								

				日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)		ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)				DFG (2004)		PRTR	1	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	レルギー
CAS番号	在	救	在	雑吸も 枚収り	気道感 作性 めの	女 を を か の	雑吸あ枚収り	感作性あり	TLVの 根拠-臨 界作用	気 を を あ り	皮膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	雑数を改むり	が を あっ の の	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	聚作性1 あり	気道感作 報告のみ あるもの	皮膚感作報告のみ あるもの
33610-13-8		tert-Butyl(5S,6R,7R)-3- bromomethyl-5,8-dioxo-7-(2- (2-phenylacetamido)-5-thia- 1-azabicyclo[4.2.0] oct-2-ene- 2-carboxylate	IR 7R)-3- 5,8-dioxo-7-(2- mido)-5-thia- 2.0] oct-2-ene-									0								
34256-82-1		2-Chloro-N-(ethoxymethyl)- N-(2-ethyl-6- methylphenyl)acetamide; acetochlor	hoxymethyl)- acetamide;								0									
34590-94-8	ジプロピレングリコー ルメチルエーテル	Methoxypropyl ether 2- (bis-) (DPGME)	l ether 2-)				0		刺激											
35000-38-5		tert-Butyl (triphen) phoranylidene)acetate	(triphenylphos- e)acetate								0									
35691-65-7	1,2-ジブロモ-2,4-ジシ アノブタン	1,2-Dibromo-2,4- dicyanobutane	4-												0					
35950-52-8		2-Bromo-1-(2-furyl)-2- nitroethylene	uryl)-2-								0									
37278-89-0	キラシナーゼ	Xylanases												0						
37329-65-0		Cellobiohydrolase, exo-	ase, exo-							0										
		Cellulases with the exception of those specified elsewhere in this Annex	the exception fied elsewhere							0										
37441-29-5		5-Amino-2,4,6-triiodo-1,3- benzenedicarbonyldichloride	triiodo-1,3- ınyldichloride								0									
37866-45-8		2-(O-aminooxy)ethylamine dihydrochloride)ethylamine e								0									
39300-45-3	DPC(混合異性体)	Dinocap (ISO)									0									
39562-16-8		Ethyl 2-(3-nitrobenzylidene) acetoacetate	obenzylidene)								0									
39562-27-1		Methyl 2-(2- nitrobenzylidene) acetoacetate	(eu								0									
40188-41-8		3,7-Dimethyloctanenitrile	tanenitrile								0									
40487-42-1	N-(1-エチルプロピル)2, 6-ジニトロ-3,4キシリ ジン【別名ペンディメ タリン】	N-(1-Ethylpropyl)-2,6- dinitro-3,4-xylidine									0									
41481-66-7		2,2'-Diallyl-4,4'- sulfonyldiphenol	o, j								0									
41683-62-9		1,2-Dichlormethoxyethan	hoxyethan										0				٠			
42221-52-3		2,3,4,5- Tetrachlorobenzoylchloride	ızoylchloride								0									

			日本産業衛生学会 (2006)	(9	ACGD	ACGIH (2007)		EU (2004)	4)		DFG	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギ 学会(宏)(2004)	レルギー
CAS番号	在	表	経皮 気道感 皮膚感 吸収 作性 作件 あり あり あり	1	経皮 感作性 吸収 あり あり	生 TLVの 根拠ー臨 界作用	が を を の の の の	及事を存める	気道および水圏感	羅皮 気道 吸収 をり あり あり	直感 皮膚感 ま 作性 あり	数 気道およ 光過 び友膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	数作性 気道感作 あり 報告のみ あるもの	: 皮膚感作 ・報告のみ あるもの
42413-03-6		2-Chloro-p-toluenesulfochloride					i i	0							
42509-80-8		O-(5-Chloro-1-isopropyl-1,2, 4-triazol-3-yl) O , O -diethyl phosphorothioate; isazofos						0							
42978-66-5	トリプロピレングリコー ルジアクリレート	Tripropylene glycol diacrylate									0				
42978-66-5	トリプロピレンがリコー ルジアクリレート	(1-Methyl-1,2-ethanediyl)bis[oxy(methyl-2, 1-ethanediyl)] diacrylate						0							
43121-43-3	トリアジメボン	Triadimefon (ISO)						0							
43151-99-1		4,4'-Diamino-2- methylazobenzene						0							
50471-44-8		Vinclozolin (ISO)						0							
50563-36-5		2-Chloro-N-(2,6-dimethylphenyl)-N-(2-methoxyethyl)acetamide; dimethachlor						0							
50715-28-1		Cyclopentyl chloroformate						0							
51338-27-3		Methyl 2-(4-(2,4-dichlorophenoxy)phenoxy)propionate; methyl (RS)-2-[4-(2,4-dichlorophenoxy)phenoxy]propionate; diclofop-methyl (ISO)						0							
51395-42-7		2-(Diphosphonomethyl) succinic acid						0							0
51594-55-9	1-クロロ-2,3-エポキシ ブロバン【別名 エピ クロロヒドリン】	(R)-1-Chloro-2,3- epoxypropane						0							
52033-74-6		Phenylhydrazinium sulphate \cdot (2:1)						0							
52315-07-8		Cypermethrin cis/trans +/-80/20						0							
. 52645-53-1		Permethrin (ISO)						0							
52658-19-2		A mixture of: 7,9,9 trinethyl: 3,14 diox4,13- dioxo-5,12-diazabaxadeane- 1,16-diyl-prop-2-enoate;7,7,9- trinethyl-3,14-diox4,4,13- dioxo-5,12-diazabaxadean-1, 16-diylprop-2-enoate						0							
52667-88-6		1,4,7,10-Tetrakis(p- toluensulfonyl)-1,4,7,10- tetraazacyclododecane						0						3	

			日本産業衛生学	生学会 (2006)		ACGIH (2007)	(2007)		EU (2004)	0		DF	DFG (2004)	PRTR	日本職 小公(探	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	各	承	経皮 気道 吸収 作性 あり あり	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり	整 経及 吸収 めり	2 酸作性 あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気道感 作性 あり	皮膚 を あり	気道およ び皮 酪 感 作性あり	経及 気道 あり かり あり	気道感 皮脂 存性 存性 をり あり	皮膚感 気道およ 光過作性 び皮膚感 敏性作性 び皮膚感 敏性あり もり	感作性 クラス1	破作性あり	気道感作 友膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
52888-80-9		S-Benzyl N.N. dipropylthiocarbamate							0							
53408-94-9		Tin(II) methanesulphonate							0							
53469-21-9	塩素化ビフェニル (C142%) (PCB)	Chlorodiphenyl (42%chlorine)	0		0		刺激				0					
54275-93-3		(1 S,3 S,5 R,6 R)-(4- Nitrophenylmethyl)-1-dioxo- 6-phenylacetamido-penam-3- carboxylate						0								
54322-20-2		Sodium 4-chloro-1- hydroxybutane-1-sulfonate							0							
54527-73-0		2-(N-Benzyl-N- methylamino)ethyl-3-amino- 2-butenoate							0							
55285-14-8	N・ジブチルアミノチオ・ N・メチルカルバミン酸 2.3・ジと ドロ・2.2・ジメ チル・7・ベンソ[b] フラ ニル [別名 カルボス ルファン]	2,3-Dìhydro-2,2-dimethyl-7- benzo[b]turyl N- (dibutylaminolthio-N- methylcarbamate; Carbosulfan							0							
55406-53-6		3-Iodo-2-propynyl butyl carbamate											0			
55512-33-9		Pyridate (ISO)							0							
55720-99-5	塩化ビフェニル	Chlorinated biphenyl									0					
55965-84-9		Mixture of: 5-chloro-2- methyl-4-isothiazolin-3-one [EC no.247-500-7] and 2- methyl-2H isothiazol-3-one [EC no.220-239-6](3:1)							0							
56634-95-8		Bromoxynil heptanoate (ISO)							0							
57280-22-5		4,4-Dimethyl-3,5,8- trioxabicyclo[5,1.0]octane							0							
57837-19-1	メタラキシル	Metalaxyl (ISO)							0							
57966-95-7	シモキサニル	Cymoxanil							0							
58594-72-2		Imazalil sulphate (ISO)powder							0							
58834-75-6		Vanadyl pyrophosphate							0							
58856-63-6		A mixture of: dodecanoic acid (35-40%)							0							
58890-25-8		3,3'-Dicyclohexyl-1,1'- methylenebis(4,1- phenylene)diurea							0							

260	

新 名	日本産業衛生学会 (2006) ACGIH (2007)	EU	EU (2004)	DFG (2004)	PRTR	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
1-Octylacepin 2-one	気道感 皮膚酸 経皮 懸作性 作性 作性 吸収 あり あり あり あり		気道およ び皮膚感 作性あり	皮膚感 気道およ 光過作性 び友膚感 敏性あり あり	感作性 クラス1	感作性 気道感作 皮膚感作 あり 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
1,35 Trais (1982)		0				
### ### ### ### ### ### ### #### ####		0				
##他子ルフェニル Hydrogenated terphenyls 解像 (FFルフェニル Hydrogenated terphenyls		0				
### Silica-Amorphous Diatonacous earth (uncloanecous earth (uncloanecous earth (uncloanecous earth diathiofiaectate Biss[e-dayllexyl) distributionetate Methacrifus (ISO) Flumetralin (ISO) Flumetralin (ISO) Flumetrylinaleimidolhexyl methacrylate Divanadyl pyrophosphate Tolusney 4 diamononium sulphase 4-midyl-1. Divanadyl pyrophosphate Tolusney 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Divanadyl pyrophosphate Tolusney 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 2 4-diamononium sulphase 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 3 4-midyl-1. Demoduly 4 4-midyl-1.						
(2-{Aminomethyl)phenyl) acetylchloride hydrochloride Bis(2-ethylhexyl) dithiodianetate Methacrifos (ISO) Flumetralin (ISO) Flumetralin (ISO) cis-1-(3-Choropropyl) 2.6- dimethyl-piperidin hydro- chloride 6(2,3 Dimethylinaleimidolhexyl methacylate Divanadyl pyrophosphate Toluene 2,4-diamonoium sulphate: 4-methyl-in- phenylenediamine sulfate 7ラチオカルブ 2,3-Dindov2,2-dimethyl-7- benzoturyl 2,4-dimethyl-5- benzoturyl 2,4-dimethyl-5- dazadecanoate: furathiocarb ポートランドセメント Portland cement ボートランドセメント Portland cement ボートランドセメント Bortwalerate (ISO) Exty 2.4-4-6-6- dazadecanoate: furathiocarb ボートランドセメント Portland cement ボートランドセメント Bortwalerate (ISO) Exty 2.4-4-6-6- phoropemzozeal-2- yloxylphenexylpropionate; fenoxagropethyl	奉[後					
Bis(2-cthylhexyl) dithhodiacetate Methacrifos (ISO) Flumetralin (ISO) Flumetralin (ISO) Flumetryl-piperidin hydro- cia-1(3-Chloropropyl)-2,6- chloride chartylate Divanadyl pyrophosphate Toluene-2,4-diammonium sulphate, 4-methyl-m- phenylemethyl-m- phenylemethyl-t-methyl-r- phenylemethyl-t-methyl-r- phenylemethyl-t-methyl-r- coxa-5-cox-0-thia: 3,4-diamthyl-f- coxa-6-cox-0-thia: 3,4-diamthyl-f- co	ide	0				
Flumetralin (ISO) Flumetralin (ISO) eis-1-(3-Chloropropyl)-2.6- dimethyl-piperidin hydro- chloride chloride 6-(2,2,3) Diwanadyl pyrophosphate Diwanadyl pyrophosphate Toluene-2,4-diammonium sulphate; 4-methyl-m- phenylenediamine sulfate フラチオカルブ 2,3-Diydro-2,2-dimethyl-7- benzofuryl 2,4-dimethyl-6- oxa-5-oxo-3-thia-24-dimethyl-6- oxa-5-oxo-3-thia-6- diazadecamotate: furathiocarb X.NMethylen-bis(5- methyl-0xo-2-thia-6- oxa-5-oxo-3-thia-6- diazadecamotate: furathiocarb X.NMethylen-bis(5- methyl-0xo-2-thia-6- oxa-5-oxo-3-thia-6-		0				
Flumetralin (ISO) cis-1(3-Chloropropyl)-2.6- dimethyl-piperidin hydro- chloride chloride 6-(2,3) Dimethylmaleimido)hexyl methacrylate Divanadyl pyrophosphate Divanadyl pyrophosphate Toluene-2.4-diamnonium sulphate, 4-methyl-m phenylenediamine sulfate 7ラチオカルブ 2.3-Dimethyl-7- bearcoluryl 2.4-dimethyl-7- bearcoluryl 2.4-dimethyl-7- diazadecanoate, furathiocarb ポートランドセメント Portland cement A.N-Methylen-bis[5- methyloxazolidin) エスフェンバレレート Esfenvalerate (ISO) Bihyl 2.{4-(16- chlorobenzoxazol-2- yl)oxylphenoxylpropionate; fenoxaprop-ethyl		0				
cis-1-(3-Chloropropyl)-2,6- chloropropyl)-2,6- chloride 6-(2,3- Dimethylmaleimidolhexyl methacrylate Divanadyl pyrophosphate Toluene-2,4-diammonium sulphate, 4-methyl-m- phenylenediamine sulfate フラチオカルブ 2,3-Diydro-2,2-dimethyl-6- coxa-5-oxo-3-thia-3,4-4-4- diazadecanoate; furathiocarb ボートランドセメント Portland cement ボートランドセメント Portland cement エスフェンバレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2-[4-[6- chlorobenzoxaol-2- yloxy]phenoxy]propionate;		0				
6-(2,3- Dimethyunaleimidolhexyl methacrylate Divanadyl pyrophosphate Toluene-2,4-diammonium sulfate Toluene-2,4-diammonium sulfate フラチオカルブ 2,3-Dihydro-2,2-dimethyl-7- benzofuryl 2,4-dimethyl-7- benzofuryl 2,4-dimethyl-6- diazdecanoate, furathiocarb ボートランドセメント Portland cement ボートランドセメント Portland cement エスフェンパレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2,{4-{(6- chlorobenzoxazol-2- ylloxylphenoxylpropionate; fenoxaprop-ethyl		0				
Divanadyl pyrophosphate Tolune-2,4-diammonium sulphate, 4-methyl-m-phenylenediamine sulfate フラチオカルブ 2,3-Diydro-2,2-dimethyl-7-phenzofuryl-1,4-dimethyl-6-oxa-5-xo-3-thia-2,4-diazadecanoate, furathiocarb diazadecanoate, furathiocarb ボートランドセメント Portland cement エスフェンパレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2,[4-[6-chlorobenzoxazolidin)] エスフェンパレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2,[4-[6-chlorobenzoxazol-2-ylloxy]phenoxy]propionate; femoxaprop-ethyl		0				
Toluene-2,4-diammonium sulphate, 4-methyl-m-phenylendiamine sulfate phenylendiamine sulfate フラチオカルブ 2,3-Dinydro-2,2-dimethyl-6- oxa-5-oxo-3-thia-2,4- diazadecanoate; furathiocarb ポートランドセメント Portland cement エスフェンパレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2-[4-[6-chlorobenzoxazol-2-yloxy]phenoxy]propionate; fenoxaprop-ethyl		0				
2.3-Dihydro-2.2-dimethyl-7-benzofust 2.4-dimethyl-7-benzofust 2.4-dimethyl-6-oxe-3-thia-2.4-diazadecanoate; furathioarb		0				
ボートランドセメント Portland cement 点線、 N.N-Methylen-bis(5- methyloxazolidin) エスフェンパレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2:[4-[6- chlorobenzoxazol-2- yloxy]phenoxy]propionate;	7. - arb	0				
M.N-Methylen-bis(5-methyloxazolidin) エスフェンパレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2.[4-[6-chlorobenzoxazol-2. yloxy]phenoxy]propionate;	刺激, 反 扇 影,					
エスフェンバレレート Esfenvalerate (ISO) Ethyl 2-[4-[6-chlorobenzoxazol-2-ylloxy]phenoxy]propionate; fenoxaprop-ethyl				0		
Ethyl 2.[4-[16-chlorobenzoxazol-2-yl)oxy]phenoxy]propionate; fenoxaprop-ethyl		0				
	·	0				
66531-87-1 Sodium benzoyloxybenzene- 4-sulfonate	ne-	0				

			日本産業衛生学会 (2006)		ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)	4)	PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	各	英	経皮 気道感 友膚感 吸収 作性 作性 あり あり あり	経皮 感作性 吸収 あり あり	=性 TLVの 根拠ー臨 界作用	気作る適性の	皮 作性 あり	気道およ 経皮 び皮膚感 吸収 作性あり あり	女 気道感 収 作性 り あり	皮膚 を あり あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	酸作性 あり	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
66710-66-5		N,N'-ethylenebis (vinylsulfonylacetamide)					0							
68131-73-7		Amines, polyethylenepoly- HEPA					0							
68132-19-4		C8-18Alkylbis(2- hydroxyethyl)ammonium bis(2-ethylhexyl)phosphate					0			•				
68334-30-5	ディーゼル鰲科(トータル//イドロガーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons		0	刺激, 皮膚障害									
68476-30-2	ディーゼル燃料(トー タルハイドロカーボン として)	Diesel fuel as total hydrocarbons		0	刺激, 皮酪瘤									
68476-31-3	ディーゼル燃料(トータルハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons		0	刺激, 皮膚障害									
68476-34-6	ディーゼル燃料(トータルハイドロカーボンとして)	Diesel fuel as total hydrocarbons		0	刺激, 皮 酪 障害									
68609-97-2		Oxirane, $mono[(C12.14 - alkyloxy)]$ derivs.					0							
68612-94-2		1,2-Dihydro-6-hydroxy-4- methyl-1-13-(1- methylethoxy)propyl]-2-oxo- 3-pyridinecarbonitrile					0							
69012-64-2	シリカ (非晶質-ヒューム)	Silica-Amorphous fume			刺激									
69045-82-5		2-Fluoro-5- trifluoromethylpyridine					0							
69045-84-7		2,3-Dichloro-5- trifluoromethyl-pyridine					0							
69094-18-4		2,2-Dibromo-2-nitroethanol					0							
69788-75-6		4-Chlorobutyl veratrate					0							
70264-94-7		Methyl 4-bromomethyl-3- methoxybenzoate					0							
70657-70-4		Propylene glycol 2-methyl ether-1-acetate							0					
70776-03-3	塩素化ナフタレン	Chlorinated naphthalenes)	0					
70987-78-9	トシル酸グリシジル	Oxiranemethanol					0							

			日本	日本産業衛生学会 (2006)	*会 (2006)		ACGIH (2007)	007)		EU (2004)			DFG (2004)	004)	PRTR	小小 (海	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	 - *1
CAS番号	和	救	経吸る皮収り	7 気道感 7 作性 0 あり	皮膚を存在する	雑酸を 枚収む	感作性 あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	が を を かっ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	皮膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	を	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	製作性もつ	気道感作を報告のみ、特別のものもの。	皮膚感作 報告のみ あるもの
71302-79-9		A mixture of: 2-ethylbexyl linolenate, inoleate and oleate 2-ethylhexyl epoxyoleate 2-ethylhexyl depoxylinoleate 2- ethylhexyl triepoxylinolenate	exyl						ļ	0								
71550-12-4		Polymer of allylamine;hydrochloride								0								
71786-70-4		Diphenyl(4- phenylthiophenyl)sulfonium hexafluoroantimonate	wn							0								
72830-09-2		2-Chloromethyl-3.4- dimethoxypyridinium chride	chlo-							0								
74222-97-2	2-(4,6-ジメチル-2-ピリ ニジニルアミノカルボ ニゾニルアミノスルフォニ ル) 矢息畜酸メチル 【別名、スルホメチェ ロンメチル】	Sulfometuron methyl						凝										
74401-04-0		N-Methyl-4-(p-formylstyryl)pyridinium methylsulfate								0								
75113-37-0		Dibutyltin hydrogen borate	ıte							0								
75511-91-0		N-Butyl-3-(2-chloro-4- nitrophenylhydrazono)-1- cyano-2-methylprop-1-ene-1, 3-dicarboximide	Ţ							0								
76109-32-5		(1 S.4 R.6 R.7 Rp.(4-Nitrophenylme thyl)3-methylene-1-oxo-7-phenylaceta mido-cepham-4-carboxylate	1-4-						0									
76823-93-3		3-(2- (Diaminomethyleneamino)	_							0								
76855-69-1	アセトキシアエチジノン	(2R,3R)-3-((R)-1-(tert- Butyldimethylsiloxy)ethyl)- 4-oxoazetidin-2-yl acetate	<u>:</u>							0								
76932-17-7		(S)- a-(Acetylthio)benzene- propanoic acid								0								
77375-79-2		Ethyl 2- (isocyanatosulfonyl)benzoate	ate								0							
77402-05-2		Methyl acrylamidoglycolate (containing >= 0.1% acrylamide)	late							0								
							1											

			1	(9006) 夕吹子寒株井千口	(9006) 43		ACCIH (2007)	121		EII (2004)			PF	DFG (2004)		PRTR	日本職業	日本職業・環境アレルギ	# -
			⊕ □	居米宮 子山	c 〒 (∠0000)	4	04) 11150		1	(*007)			i				学会(案)	(2004)	
CAS番号	杏	挟	雑吸あ皮収り	 を が が が の の の の の の の の の の の の の	大 を を め り	整体をある。	感作性のあり	TLVの	気道感 存 作性 6 あり あり	攻撃隊 かんしゅん かんしゅん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かん	気道およ 終び皮膚感 児作性あり 3	経及 処況 おり あり あり	気道感 皮 を を を を を を を を め を め を め を も を も を も も も も	皮膚感 女作性 ひあり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	級 あっ 在	気道感作 皮報告のみ 報告のみ 報告のもの あるもの あ	皮膚感作 報告のみ あるもの
77650-28-3	ディーゼル燃料(トー タルハイドロカーボン として)	Diesel fuel as total hydrocar- bons	lar.			0		刺激, 皮膚障害											
78531-60-9		1-(4-(trans-4- Heptylcyclohexyl)-								0									
78531-61-0		$\begin{array}{lll} 4\text{-}(trans\text{-}4\text{-}Propylcyclohexyl)\\ \text{acetophenone} \end{array}$	(T.							0									
79200-56-9		(1R,4S)-2- Azabicyclo[2.2.1]hept-5-en-3- one	ကုံ							0									
79277-18-2		Methyl 3- isocyanatosulfonyl-2- thiophene-carboxylate									0								
79815-20-6		(S)-2,3-Dihydro-1H-indole-2- carboxylic acid	2							0									
79944-37-9		$trans-(5RS,6SR)-6-Amino-2,\\2-dimethyl-1,3-dioxepan-5-ol$, 6							0									
79983-71-4	ヘキサコナゾール	Hexaconazole (ISO)								0									
80387-97-9		2-Ethylhexyl[[[3,5-bis(1,1-dimethylethyl],4-hydroxyphenyl]methyl]thio] acetate	[oi							0									
81880-96-8		(4-Hydrazinophenyl)-N- methylmethanesulfonamide	je je							0									
81898-60-4		Tetrasodium 3,3" (piperazine- l-diylbis(Ge-dhoro-1,3,5- triazine-4,2-diyl)imino(2- acetamido)-4,1. phenyleneazo))bis (naphthalene-1,5- disulphonate)	ne-							0									
82633-79-2		2,3,5,6-Tetrahydro-2-methyl- 2H-cyclopenta [d]-1,2- thiazol-3-one	[y]-							0									
83055-99-6	ベンスルフロンメチル	Bensulfuron-methyl;methyl alpha-(l4,6- dimethoxypyrimidin-2- yl)ureidosulphonyl)-o- toluate	yl							0									
83056-32-0		2. (Isocyanatosulfonylmethyl) benzoic acid methyl ester; (alt.); methyl 2. (isocyanatosulfonylmethyl) benzoate	1)						0										

					日本産業	日本産業衛生学会	(2006)	A	ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)			DFG	DFG (2004)		PRTR	日本職(条(条)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
CAS番号	体		採	夲	数のなめる	気道感 存在 めつ	及 を を を を の の	数数なのもの	数作権があっ	TLVの 根拠-臨 界作用	気 作 を め め り	皮膚感 作性 あり	気道およ び友膚感 作性あり	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	自感 皮膚感 t 作性 カッカッ	感 気道およ び皮膚感 作性あり	3よ 光 10数 敏性 50 あり	感作性 クラス1	感作性あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚酸作 報告のみ あるもの
83623-61-4		((4-P) hydrv acid	((4-Phenylbutyl) hydroxyphosphoryl) acetic acid	yl) acetic								0									
83857-96-9		2-But form	2-Butyl-4-chloro-5- formylimidazole									. 0									
83918-57-4		(±)-1-[2- 4-dichlor imidazoli sulphate	(\pm) -1-[2-(Allyloxy)ethyl-2-(2, 4-dichlorophenyl)]-1H-imidazolium hydrogen sulphate)ethyl-2-(2, -1H- ogen								0									
84087-01-4		3,7-D carbo	3,7-Dichloroquinoline-8- carboxylic acid	ine-8-								0									
85153-92-0		Hexa 10-bis disult 1,3,5- 3-yla diaza disulf	Hexasodium 6.13-dichloro-3, disulbis(f4-£2, 2). disulfonatoanilino)-6-fluoro-1,3,5-triazin-2-ylaminoprop-3ylamino-b-1,2-dioxa-7,14-diszapentacene-4,11-disulfonate	dichloro-3, -6-fluoro- nino)prop- oxa-7,14- 1-									0								
85665-96-9		Hexa disult fluor fluor ylam meth: sulph napht trisul	Hexasodium 7-(4-(4-(4-(3-5-disulphonatoanilino)-6-disulphonatoanilino)-8-ylamino)-2-methylphenylazo)-7-suphyndraen-1,35-trisulphonate	4.(4-(2,5- 10)-6- 1-2- 7- ylazo)								0									
85665-97-0		Tetra (5-(4-) 2-nap triazi sulph hydrc disulp	Tetrasodium 5-benzamido-3- (5-(4-fluoro-6-(1-sulphonato- 2-naphthylamino)-1,3,5- turban.2-ylamino)-2- sulphonatophenylazo)-4- hydroxynaphthalene-2,7- disulphonate	nzamido-3- lphonato- 1,3,5- .2- izo)-4- ne-2,7-								0									
85702-90-5		S-(3-7 19-isc isocy: dioxo tetras	S-(3-Trimethoxysilyl)propyl 19-isocyanate-11-(6- isocyanatohexyl)-10,12- dioxo-2,9,11,13- tetraazanonadecanethioate	(yl)propyl 0,12- ethioate									0								
86290-81-5 ガソ	ガソリン	Gasoline	line						TEX.	刺激											
86393-35-3		Disod meth: triazi triazi hydrc sulph:	Disodium 6-((4-chloro-6-(N-methyl)-2-toluidino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-1. hydroxy-2-(4-methoxy-2-sulphoratophenylaxo)haph-thalene-3-salphonate	nloro-6-(N- 2)-1,3,5- 1- oxy-2- zo)naph- te								0									
86403-32-9		A mis tetrar hexad	A mixture of: 2,2,6,6- tetramethylpiperidin-4-yl- hexadecanoate	3,6- in-4-yl-								0									

				H	日本産業衛生学会	会 (2006)	ACG	ACGIH (2007)		EU (2004)	04)			DFG (2004)	(PRTR	日本職業(後)	日本職業・環境アレルギー ラ会(家) (2004)
CAS番号	和名		承	教を改める	気道 を あった	及作品をから	経皮 感作性 吸収 あり あり	t性 TLVの 根拠一臨 界作用	の 気道感電 作件 あめり	感 皮膚 体性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	発験を受ける	気 を あっ の	皮 酵 酸 作性 あっ	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	表を作権をある。	(2001) 気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
87392-12-9		S-Ma 2-chl meth meth aceta	S-Metolachlor mixture of (S)- 2-chloro-N-(2-ethyl-6- methyl-phenyl)-N-(2- methoxy-1-methyl-ethyl)- acetamide (80-100%)	· (S)-						0								
87731-18-8		Cycl	Cyclooct-4-en-1-yl methyl carbonate	=						0								
88805-65-6		Ethy cyclc	Ethyl 3-hydroxy-5-oxo-3- cyclohexene-1-carboxylate	.e-9-						0								
88918-84-7		(4-A meth hydr	(4-Aminophenyl)-N- methylmethylensulfonamide hydrochloride	ıide						0								
89392-03-0		Pher dime yl)ca	Phenyl N-(4,6- dimethoxypyrimidin-2- yl)carbamate							0								
89415-87-2		1,3-Di methy dione	1,3-Dichloro-5-ethyl-5- methylimidazolidine-2,4- dione							0								
89544-48-9		2-(2, prop	2-(2,4-dichlorophenyl)-2-(2- propenyl)oxirane	.5-						0								
89797-01-3		(Tri chlo 4-(3. 4-(3. triaa sulfi pher sulfi (3-))	(Trisodium (2-(3-(6-(2- chloro-5-sulfonato)anilino)- 4-(3-carboxypytrdinio)-1,3,5- trinatn-2-ylamino)-2-oxido-5- sulfonatophenylazo)-4- sulfonatobenzoatoloopper sulfonatobenzoatoloopper (3-)) hydroxide	o)- 3,5- 10-5- r						0								
90657-55-9		tran mon	trans-4-Cyclohexyl-L-proline monohydrochloride	oline						0								
90884-29-0		4,4'- diph	4,4'-Oxybis(ethylenethio) diphenol							0								
91273-04-0		N,N 4-tri	N.N-Bis(2-ethylhexyl)-((1,2, 4-triazol-1-yl)methyl)amine	1,2, ine						0								
91673-30-2		For, proc	Formaldehyde, reaction products with butylphenol	lol						0								
93629-90-4		1,3- Bis(pro	1,3- Bis(vinylsulfonylacetamido)- propane	-(opi						0								
93672-52-7		2,5- 4-yl met	2,5-Dibutoxy-4-(morpholin-4-yl)benzenediazonium 4-methylbenzenesulfonate	lin-						0								
93763-70-3	パーライト	Perlite	lite					型機										
94021-76-8		6,7- 1'-c] dih	6,7-Dihydrodipyrido[1,2-α:2, 1'-c]pyrazinediylium dihydroxide	-a:2',						0								

			日本産業衛生学	学会 (2006)	Α	ACGIH (2007)		EU (2004)	14)		DFG (2004)	14)	PRTR	日本職業・環境アレルギー ※会・年)(2004)
CAS番号 和	免	拟	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	皮ををある。	発放を行うない。	磁作性 TLVの あり 根拠-臨 界作用	編を消滅を	及存権機の	気道などの皮を感じて生まれる。	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	皮膚感 作件 あっちゅう	気道およ 光過 び友膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1) (guat) 気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
94097-88-8		(E,Z)-4-Chlorophenyl (cyclopropyl)ketone						0						
95154-01-1		(Benzothiazol-2- ylthio)succinic acid						0						
96314-26-0		trans-4-Phenyl-L-proline						0						
97101-46-7		Methyl 3-(acetylthio)-2- methyl-propanoate						0						
98809-11-1		2-[[4[[4.6-Bis[[3-6]]]]amino] -[1,3,5-trazine_2-y]]amino] pheny]jazo]-N-(2,3-dihydro- 2-oxo-1H-benzimidazol-5-yl)- 3-oxobutanamide						0						
98886-44-3 ホスチアゼート	4ー4	Fosthiazate (ISO)						0						
6-61-26066		(+/-)-4-[2-[3-(4- Hydroxyphenyl)-1. methypropyl]amino]-1. hydroxyethylphenol hydrochloride						0						
99817-36-4		2,4-Dichloro-3-ethyl-6- nitrophenol						0						
100181-71-3		Isobutyl 3,4-epoxybutyrate						0						
100418-33-5		2-((4-Methyl-2- nitrophenyl)amino)ethanol						0						
100501-62-0		Ethyl 1-ethyl-6,7,8-trifluoro-1,4-dihydro-4-oxoquinoline-3-carboxylate						0						
101200-48-0		Methyl 2-(3-(4-methoxy-6-methyl-1,3,5-triagin-2-yl)3-methylureidosulphony)ben-zoate						0						
101513-70-6		3,5-Dichloro-2,4- difluorobenzoyl fluoride						0						
101657-77-6		4,4'-Methylenebis(2,6- dimethylphenyl cyanate)						0						
103055-07-8 ルフェヌロン	\ .\	Lufenuron; N-[2,5-dichloro-4-(1,1,2,3,3,3-hexafluoropropoxy)-phenylaminocarbonyl,2,6-difluorobenzamide						0						
104226-19-9		3-((4-(Bis(2- hydroxyethyl)amino)-2- nitrophenyl)amino)-1- propanol						0						

		÷	日本産業衛生学会	学会 (2006)	A	ACGIH (2007)	07)	Ξ	EU (2004)			DFG (2004)	3004)	PRTR		日本職業・環境アレルギー
CAS番号和	名	杖	経皮 気道感	版 下面 所	数点 女品	級 本 本	TLVの 福樹一階	(河道) (河道) (京年 (東年	及 配 感 女	がおきません。	経皮 気道感	及 耐 聚	気道およ 光過7%年級 粉集	感作性クルス1	が 一般を 発生 はない 大学 (本))(Z004) 気道感作 皮膚感作 物告のみ ぬ告のみ
			吸収 作性 あり あり					- 1		i		作め		7771	8	取る日名
104788-63-8		6-(Nonylamino)-6-oxo- peroxyhexanoic acid							0							
104958-67-0		N-butyl-2-(4- Morpholinylcarbonyl) benzamide							0							
105254-85-1		3-(Bis(2-ethylhexyl) aminomethyl)benzothiazole- 2(3H)-thione							0							
105560-93-8		Methyl 2R,3S-(-)-3-(4- methoxyphenyl) oxiranecarboxylate							0							
105996-54-1		N,N'-Bis(trifluoroacetyl)-S,S'-bis-L-homocysteine							0							
106028-58-4		Tetralithium 6-amino-4- hydroxy-3-(7-sulfonato-4-(4- sulfonatophenylazo)-1- naphthylazo)naphthalene-2, 7-disulfonate							0							
106264-79-3		6-Methyl-2,4- bis(methylthio)phenylene-1, 3-diamine							0							
106359-91-5		Trisodium 7-(4-(6-fluoro-4-(2- (2-vinylsulphonylethoxy) ethylamino)-1,3,5-triazin-2- ylamio)-2-ureidophenylazo) naphthalene-1,3,6- trisulphonate							0							
106447-44-3		3-(cis-1-Propenyl)-7-amino-8- oxo-5-thia-1- azabicyclo[4.2.0]oct-2-ene-2- carboxylic acid							0							
106990-43-6		N,N,N". terrakis(4,6-bis(buty-I/V-methyl-2,2,6,6-tetramethylpiperidin-4-y)amino)triazin-2-yl-4,7-diazadecane-1,10-diamine							0							
107246-80-0		Tetralithium 6-amino-4- hydroxy-3-l7-sulfonato-4-(5- sulfonato-2-naphthylazo)-1- naphthylazo]naphthalene-2, 7-disulfonate							0							
108624-00-6		Lithium sodium hydrogen 4- amino-6-(5-(5-chloro-2,6- difluoropyrimidin-4- ylamino)-2- sulphonatophenylazo)-5- hydroxy-3-(4-(2- (sulphonatooxy) ethylsulphonyllphenylazo) naphthalene-2,7- disulphonate							0							

株式 (大性 (十十 (十十 (十十 (十十 (十十 (十 (十 (十 (十 (十 (十 (日本産業衛生学会 (2006) ACGIH (2007) EU (2004)	DFG (2004) PRTR 日本職業・環境アレルギ 学会(集) (2004)
Wift(4.944 Cyntoxyphenylbwide) 3. Partoxyphenylbwide) 3. 12.6.6. Termixighromomethyl) 4. Coxalaptane-1.7-diol Wertpentyl2-benchized-sulfenantide 7-Amino-3 (100 et 2.0 e	反膚感 経皮 感作性 TLVの 気道窓作性 WV あり 根拠一路 作性あり あり 界作用 あり	数 皮膚感 気道およ 光過 懸作性 感作性 受消感件 皮膚感作 作性 び皮膚感 敏性 クラス1 あり 報告のみ 報告のみ あり 作性あり あり
2.2.6.6. Tetratisiste connectivity 4- oxatratisiste connectivity 1.7-diol Netr-party 1.2- bearothizzolesulfenamide 7-Amnothizzolesulfenamide 7-Amnothizzolesulfenamide 7-Amnothizzolesulfenamide 1.4.Ahita-1. acabisy 2.4thishiomethyl) 8- oxo-5-thia-1. acabisy 1.6.de 3.0ect 2-ene-2. earboxy 1.e. odd earboxy 1.e. odd earboxy 1.e. odd earboxy 1.e. odd 1.i.thium 9-avo-1.2(2H)- bear of 1.e. odd earboxy 1.e. od	0	
M. tert-pentyl-2. berzothazolesullenamide 7-Amicosullenamide 7-Amicosullenamide 7-Amicosullenamide 3-thiazol-2-thia-1. azabisyclo(4, 20)oct-2-ene-2- carboxylic acid Lithiuma 3-ozo-1,2(2H)- berzothazol-2-del- 1-ithiuma 3-ozo-1,2(2H)- berzothazol-2-del- 2-Amicosulloy-N-N- dimethylnicothamide 3-Amicosulloy-N-N- dimethylnicothamide 3-Amicosulloy-N-N- dimethylnicothamide 3-Amicosulloy-N-N- dimethylnicothamide 3-Amicosulloy-N-N- dimethylnicothamide 3-Amicosulloy-N-N- dimethylnicothamide 3-Amicosulloy-N-N- dichlorophenylp-2-q- dichlorophenylp-propel- acid-order silica and Silica gel Potassium 2,2,4 dichlorophenylp-proper- dichlorophenoxy-(R) propi- cate 2.5,7,7-T-etramethyloctanal 4(4, (1,3-Dhydroxyprop-2- dhydroxy-5- mitroanthraquinone A mixture of . cick 5- ammonium 1,3-3-timetyl)- cytoloteanemethylam- monium prophate (1,1)- cytolo		
achoxymethyl-tmethyl-1, 3-thanol-2-yithiomethyl-8- achoxymethyl-tmethyl-1, 3-thanol-2-yithiomethyl-8- achoxymethyl-6-2-cen-2- achoxylic acid Lithium 3-oxo-1,2(2H)- benziesthiazol-2-ide 4-(4-Nitrophenylazol-2-ide 4-(4-Nitrophenylazol-2-ide 3-Amino-ulfonyl-N/N- dimethylnicotinamide 5-Amino-ulfonyl-N/N- dimethylnicotinamide 8-Amino-ulfonyl-N/N- dimethylnicotinamide (B) 3-(2-Chlorophenyl) 2-(4- fluorophenyl)propenal fluorophenyl)propenal たびテル pluorophenyl)propenal たびチル dichlorophenoxyl-(R)-propinal とこった。 and silica and Silica gel Potassium 2-(3-4- dichlorophenoxyl-(R)-propinal とこった。 and silica mad Silica gel Potassium 2-(3-4- dichlorophenoxyl-Minuhol-1,8- dichlorophenoxyl-Minuhol-1,8- diphydroxy-5- mitroanthraquimone Amixune of cie-6- ammonium 1,3 3-trimethyl- cyclobexanemethylam- monium ploophate (1.3), cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cyclobexanemethylam- monium ploophate (1.3), cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-4-ammonium-1,3-3-trimethyl- cycas-5-ammonium-1,3-trimethyl- cycas-5-ammo	0.	
Lithium 3-oxo-1,202円) benzisothiazol-2 ide 4(4-Nitrophenylazo)-2,6-di- sec-butyl-phenoi 2-Aminosulfonyl-N/A dimethylmicothamide 3-Amino-4-hydroxy-N-(2- methoxyethyl) benzenesulfonamide (B)-3-(2-Chlorophenyl)-2-(4- fluorophenyl)propenal シリカ (非晶質・込酸は Slica-Amorphous, precipi- tated silica and Slica gel Potassium 2-(2,4- dichlorophenoxyl-(R)-propi- orate 2,5,7,7-Tetramethyloctanal 4(4-(1.3-Dihydroxyprop-2- ylphenylaminol-1,3- dihydroxy-5- mitroanthraquinone A mixture of: cis-(5- ammonium-1,3-3-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-3-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-3-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-3-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-4-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-4-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-4-trimethyl) trans-(5-ammonium-1,3-4-trimethyl)	0	
4-(4-Nitropheny]azo) 2,6-di- sec-butyl-phenol 2-Aminosulfonyl-N,N- dimethylnicotinamide 3-Amino-4-hydroxy-N-(2- methoxyethyl)- heranesulfonamide (E)-3-(2-Chlorophenyl)-2-(4- fluorophenyl)propenal シリカ (非晶質・比較は Slica-Amorphous, precipitated slinca and Slica gel Potassium 2-(2,4- dichlorophenoxyl-(R)-propionate 2,5,7,7-Tetramethyloctanal 4-[4-(1,3-Dihydroxyprop-2- mitroanthyaquinone A mixture of cis-followardinone 0		
2-Aminosulfonyl-N,N-dimethylnicotinamide 3-Amino-4-hydroxy-N-(2-methoxyekyl)-benzenesulfonamide (E)-3-(2-Chlorophenyl)-2-(4-fluorophenyl)propenal シリカ (非晶質 沈殿は Slica-Amorphous, precipitated silica and Silica gel Aびゲル) Potassium 2-(2,4-dichorophenoxyl-(R)-propionate 2,5,7,7-Tetramethyloctanal 4-[4-(1,3-Dihydroxyprop-2-yl)phenylaminol-1,8-frimethylaminol-1,8-frimethyl)-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethylaminolum-1,3-frimethyll-cyclohexanemethyll-cycloh		
3-Amino-4-hydroxy-N-(2- methoxyethyl)- benzenesulfonamide (E)-3-(2-Chlorophenyl)-2-(4- fluorophenyl)propenal シリカ (非晶質 沈殿 # Slica-Amorphous, precipitated silica and Silica gel Potassium 2-(2,4- dichlorophenoxyl-(R)-propionate 2.5.7,7-Tetramethyloctanal 4-[4-(1.3-Dihydroxyprop-2- yl)phenylaminol-1,8- mtroanthraquinone A mixture of cis-(5- cyclobexanemethylam- propionium-1,3-trimethyl)- cyclobexanemethylam- monium phosphate (1.1): trans-(5-amnonium-1,3)-	0	
(E)-3-(2-Chlorophenyl)-2-(4-fluorophenyl)-2-(4-fluorophenyl)-2-(4-fluorophenyl)-2-(4-fluorophenyl)propenal よびゲル) Potassium 2-(2,4-dichorophenoxy)-(R)-propionate 2,5,7,7-Tetramethyloctanal 4-[4-(1,3-Dihydroxyprop-2-dihydroxyprop-2-dihydroxyp-2-dihydroxyprop-2-dihydroxy-5-nitroanthraquinone A mixture off: cis-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)-cyclobexamethylam-monium-1,3,3-trimethyl)-cyclobexamethylam-monium-1,3,3-trimethyl)-trians-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)-trians-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)-trians-(5-ammonium-1,3,3	0	
本が分り、(集晶質 沈殿 は Slica-Amorphous , precipitated silica and Slica gel Potassium 2-(2,4- dichlorophenoxy)-(R)-propionate 2,5,7,7-Tetramethyloctanal 4-[4-(1,3.Dihydroxyprop-2- dihydroxy-5- nitroanthraquinone A mixture of rois-(5- ammonium-1,3.3-trimethyl)- cyclohexamenthylam- monium phosphate (1.1); trans-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)- trans-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)- frans-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)- frans-(5-ammonium-1,	0	
Potassium 2-(2,4- dichlorophenoxy)-(R)-propionate 2,5,7,7-Tetramethyloctanal 4-[4-(1,3-Dihydroxyprop-2- gihydroxy-5- iitroanthraquinone A mixture of: cis-(5- ammonium-1,3,3-trimethyl)- cyclobexamenthylam- monium phosphate (1:1); trans-(5-ammonium-1,3,3-trimethyl)- frans-(5-ammonium-1,3,3-	養養	
2.5.7.7-Tetramethyloctanal 4.[4-(1.3-Dihydroxyprop-2-yi)phenylaminol-1.6-dihydroxy-5- mitroanthraquinone A mixture of: cis-(5-amnonium-1.3-trimethyl)-cyclobexamethylam-nonium phosphate (1.1); trans-(5-amnonium-1.3,3-amnonium-1.3,3-	0	
4-[4-(1.3.Dihydroxyprop-2-yi)benylamio]-1,8-dihydroxy-5-nitroauthraquinone A mixture off: cis-(5-amnonium-1,3.3-trimethyl)-cyolokamenthylam-phosphate (1:1); trans-(5-amnonium-1,3,3-trimenthylam-phosphate (1:1);	0	
A mixture of: cis-{5- ammonium-1,3,3-trimethy}}. cyclohexamenthylam- monium phosphate (1:1); trans-{5-ammonium-1,3,3-	0	
trimethyl-cyclohexan- emethylammonium phosphate(1:1)	0	

1989-952 St. Ph. S				日本産業衛生学会	生学会 (2006)	A(ACGIH (2007)		EU	EU (2004)		DFG (2004)	4)	PRTR	日本職業	日本職業・環境アレルギー ※会(案)(2004)
Chernochium 14(4,2)	CAS番号	袙					1	1			1	及作権を		感作性 クラス1		気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
P. Heterophenoxy/propyl)-3. Principle of the propertion of the properties of the pr	115099-55-3		(Tetrasodium 1-(4-(3- acetamido-4-(4-nitro-2,2- disulfonatostilhen-4- ylazo)eniino)-6-(25- disulfonatoaniino)-1,3,5- triazin-2-yly3- carboxypridinium)		1											
Tetrakia Carachia	116256-11-2		1-(3-(4- Fluorophenoxy)propyl)-3- methoxy-4-piperidinone						J	0						
Putrasodium 4-amino-5- hydroxy-6-(4-2). (sulfonatoxylethylsullonyl) std-(2-sulfonatoxy) 3-(4-2-sulfonatoxy) (4-2-sulfonatoxy) (4-2-sulfonatoxy) (4-2-sulfonatoxy) (4-2-sulfonatoxyl) (4-2-sulfonatoxyl) (4-2-sulfonatoxyl) (4-2-sulfonatoxyl) (4-2-sulfonatoxyl) (4-2-sulfonatoxyl) (4-2-sulfonatoxyl) (4-3-sulfonatoxyl) (4-4-xnino-2- nitrophenyl)aminoloenzoic acid pethylaminonoloenzoic Spiroxamine (7-(4-4) Spiroxamine (7-(4-4) Spiroxamine (3-4-4-yd-xnino-2- ylamino-1-4-byd-xn-2- ylamino-1-3-thiazol-4-yl) (2)-2-methyd-xn-2-ylaminoaetyl choride hydrochloride Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophanoxyl)propionate	116340-05-7		Tetrakis (tetrametylammonium) (tetrametylammonium) (tetrametylammonium) (tetrametylammonium) (tetrametylampiaku) (tetrametylam	ر ن					Ž	0						
7-[((4,6.Dichloro-1,3,5- triazin-2-yt-l@minol-4- hydroxy-3-(4-(2-sulfoxy) etty/sulforn/liphenylazo) 3.5-Dichloro-4'-etty/1-2'- hydroxypalmitanilide 2.((4-Amino-2- nitrophenyl)aminolbenzoic acid Spiroxamine 7-[4-(3- Deftylaminolo-1-3- Pethylaminolo-1-3-Friazin-2- ylaminol-4-hydroxy-3-(4- phenylazophenylazo)- naphthalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (2:::i) Sodium 5-n- butylbenzotriazole 2-(2-Amino-1,3-Frhazol-4-yl)- (Z)-2-methoxyminoacetyl chloride hydroxdhoride Sodium (R)-2-(2-4- dichlorophenoxy)propionate	116889-78-2		Tetrasodium 4-amino-5- hydroxy-6-(4-(2-(2- sulfonatooxy)ethylsulfon ethyl-carbamoyl)phenylaz 3-(4-(2-sulfonatooxy) ethylsulfonyl)phenylazo)	yl) o)-					~	0						
3,5-Dichloro-4'-ethyl-2'- hydroxypalmitanilide 2.((4-Amino-2- nitrophenyl)amino)benzoic acid Spiroxamine 7.[4-(3- Diethylaminopropylamino)- 6-(3-dethylaminon-0- propylamino)-1,3-5-fracin-2- ylamino)-4-hydroxy-3-(4- phenylazophenylazo)- phenylazophenylazo)- naphthalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (21:1) Sodium 5n- butylbenzotriazole 2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-yl)- (Z)-2-methoxylminoacetyl chloride hydrochloride Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxyl)propionate	117715-57-8		7-[((4,6-Dichloro-1,3,5-triazin-2-yl)amino)-4-hydroxy-3-(4-((2-sulfoxy)ethyl)sulfonyl)phenylazo]						-	0						
2.((4-Amino-2- nitrophenyl)amino)benzoic acid Spiroxamine 7.[4-(3- Diethylaminopropylamino)- 6-(3-dethylamino)- 6-(3-dethylamino)-1, 3,-triaxin-2- ylamino,4-thydroxy-3-(4- phanylazophenylazo)- naphthalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (2:1:1) Sodium 5-n- butylbenzotriazole 2.(2-Amino-1, 3-thiazol-4-y)- (Z)-2-methoxyiminoacetyl chloride hydrochloride Sodium (R)-2-(2, 4- dichlorophenoxy)propionate	117827-06-2		3',5'-Dichloro-4'-ethyl-2'- hydroxypalmitanilide						_	0						
Spiroxamine 7-[4-(3- Dethylaminopropylamino)- 6-(3-diethylammonio- propylamino)-1,3,5-trizain-2- ylamino)-4-hydroxy-3-(4- phenylaophylaop)- naphthalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (2:1:1) Sodium 5-n- butylbenzotriazole 2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-yl)- (Z)-2-methoxylminoacetyl chloride hydrochloride Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxy)propionate	117907-43-4		2-((4-Amino-2- nitrophenyl)amino)benzoi acid	υ					-	0						
7-[4-(3- Diethylaminopropylamino)- 6-(3-diethylammonio- propylamino)-1,3,5-trianin-2- ylamino)-4,thydroxy-3(4- plamino)-4,thydroxy-3(4- plamino-4,thydroxy-3(2- naphthalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (2.1:1) Sodium 5-n- butylbenzotriazole 2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-yl)- (2)-2-methoxylminoacetyl chloride hydrochloride Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxy)propionate	118134-30-8		Spiroxamine						~	0						
Sodium 5-n- butylbenzotriazole 2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-yl)- (Z)-2-methoxyminoacetyl chloride hydrochloride Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxy)propionate	118658-98-3		7-[4-(3- Diethylaminopropylaminv 6-(3-diethylaminon)- propylamino)-1, 35-triazir ylamino)-4-hydroxy-3-(4- phenylazophenylazo)- naphhalene-2-sulfonate, acetic acid, lactic acid (2:1)	o)- 1-2- :1)						0						
2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-yl)- (Z)-2-methoxyminoacetyl chloride hydrochloride Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxy)propionate	118685-34-0		Sodium 5- <i>n</i> -butylbenzotriazole							0						
Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxy)propionate	119154-86-8		2-(2-Amino-1,3-thiazol-4-3 (Z)-2-methoxyiminoacetyl chloride hydrochloride	-(1/										•		
	119299-10-4		Sodium (R)-2-(2,4- dichlorophenoxy)propions	ate												

			日本産業衛生学会	会 (2006)	ACGL	ACGIH (2007)		EU (2004)	4)			DFG (2004)		PRTR	日本職)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)	/ルギー
CAS番号	中	承	経皮 気道感吸収 作性あり あり	皮膚 あっ あっ	経皮 感作性 吸収 あり あり	生 TLVの 根拠ー臨 界作用	が 世紀 かん かん かん かん かん かんり	皮膚 を住め め	気道およ び皮膚感 作性あり	破して、大学のできます。	が を を の の の	皮を存むの	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	酸作性 あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
119462-56-5		1,3-Bis(3-methyl-2,5-dioxo-1H-pyrroli-nylmethyl)-benzene						0						A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A. A		i.	
120298-38-6		(S,S)-trans-4-(Acetylamino)- 5,6-dihydro-6-methyl-7,7- dioxo-4Hthieno[2,3- b]thiopyran-2-sulfonamide						0									
120307-06-4		Tetrabutylammonium butyltriphenylborate						0									
122035-71-6		Oxo-((2,2,6,6- tetramethylpiperidin-4-yl) amino) carbonylacetohydrazide						0									
122371-93-1		2-(4-Chloro-3-cyano-5- formyl-2-thienylazo)-5- diethylamino-2- methoxyacetanilide						0									
122760-84-3		4-Methyl-8- methylenetricyclo[3.3.1.13, 7]decan-2-ol						0									
122760-85-4		4-Methyl-8- methylenetricyclo[3,3,1.1 3, 7]dec-2-yl acetate						0									
123748-85-6		8,9-Dinorborn-5-ene-2,3-dicarboxylic anhydride					0										
124495-18-7		Quinoxyfen						0									
124537-30-0		Hexakis (tetramethylammonium) 4, 4 vinylenebis((3-sulfonto-4, 1-phenylene)imino(6- morpholino-1,3,5-triazine-4, 2-diylmino)bis(5-hydroxy- 6-phenylazonaphthalene-2,7- disulfonate)						0									
124584-00-5		3(or 5)-(4-(N-Benzy]N- ethylamino)-2- methylphenylazo)-1,4- dimethyl-1,2,4-triazolium methylsulphate						0									
124605-82-9		Tetra-sodium/lithium 4,4-bis-(8-amino-3,6-disulfonato-1-naphthol-2-ylazo)-3-methylazobenzene						0									
125224-62-6		(1S)-2-Methyl-2,5- diazobicyclo[2.2.1]heptane dihydrobromide						0									

			日本産業衛生学	E学会 (2006)	ACGIH (2007)	3007)	EU	EU (2004)		DFG (2004)	04)	PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	1
CAS番号	各	AA	経皮 気道感吸収 作性あり あり	酸 及 内	経皮 感作性 吸収 あり あり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気道感 皮膚感 作性 作性 あり あり	吸 気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	及 存 を あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	製作性める	気道 級作 皮膚 報告のみ 報告 あるもの ある	皮膚感作 報告のみ あるもの
125328-86-1		Lithium 1-amino-4-(4-tert- butylanilino)an- thraquinone-2-sulfonate					0								
126637-70-5		Dilithium disodium					0								
129205-19-2		2,4-Dihydroxy- N - $(2-methoxyphenyl)$ benzamide					0								
129217-90-9		Reaction products of: anilineterephthalaldehyde-o- toluidine					0	^							
129604-78-0		N-f5-Chloro-3-(4- (diethylamino)-2- methylphenyljmino-4- methyl-6-xo-1,4- cyclobexadien-1- yl)benzamide					0								
130014-35-6		2,3-Bpoxypropyl-2- ethylcyclohexyl ether; Ethylcyclohexylglycidyl ether					0								
130066-57-8		Bis[4-(ethenyloxy)butyl] 1,3-benzenedicarboxylate					0								
130201-57-9		Tetrasodium 5-[4-chloro-6- (N-ethyl-anlino)-1,3.5- trizain-2-ylamino]-4- hydroxy-3-(1,5- disulfonatonaphthalen-2- ylazo)-naphthalen-2,7- disulfonate					0								
130728-76-6		N,N,N',N'.Tetraglycidyl-4,4'-diamino-3,3'-diethyldiphenylmethane					0								
130841-23-5		1,4-Dichloro-2-(1,1,2,3,3,3-hexafluoropropoxy)-5-nitrobenzene					0								
131657-78-8		2-Chloro-6-(ethylamino)-4-nitrophenol					0								
131766-73-9		A mixture of: trans-4- acetoxy-4-methyl-2-propyl- tetrahydro-ZH-pyran.cis-4- acetoxy-4-methyl-2-propyl- tetrahydro-ZH-pyran					0								
132885-85-9		4-[N-Ethyl-N-(2- hydroxyethyl)amino]-1-(2- hydroxyethyl)amino-2- nitrobenzene, monohydrochloride					0								
133167-77-8		Sodium 3-acetoacetylamino- 4-methoxytolyl-6-sulfonate				, and a second	0						į		

			Z H	本産業衛生	日本産業衛生学会 (2006)	(9	ACGII	ACGIH (2007)		EU (2004)	104)			DFG (2004)	()	PRTR	日本職3 学会(案	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	各	棋	経吸を皮収り	安 気道感 で 作性 つ あの	感 皮膚感 作性 あり	機を接換を必要を	友 吸作性 の あり	t TLVの 根拠ー臨 界作用	発売を存むの	数 皮膚感 作性 あり	気道および及場場	経吸め 皮収り	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作をあり	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
134164-24-2		Dibenzylphenylsulfonium hexafluoroantimonate	_							0								
134595-59-8		Sodium (1,0-1,95)/lithium (0, 05-1)	٦ (0,							0								
135043-64-0		4-Amino-2- (aminomethyl)phenol								0								
135158-54-2	アシベンゾラルSメチル剤	Acibenzolar-S-methyl benzo[1,2,3]thisdiazole-7-carbothioic acid S-methyl ester	thyl							0								
136122-15-1		2,5-Dimercaptomethyl-1,4- dithiane	4							0								
136210-32-7		Bis(4-(1,2-bis(ethoxycarbonyl)ethylamino)-3-methylcyclohexyl)methane	- ec							0								
136213-73-5		2-((4-(Ethyl-(2-hydroxyethyl)amino)-								0								
136213-75-7		Sodium 4-(4-chloro-6-(N-ethylanilino)-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-(1-(2-chlorophenyl)-5-hydroxy-3-methyl-IH-pyrazol-4-ylazo)benzenesulfonate	-2-							0								
136248-03-8		Trisodium-3-amino-6,13- dichloro-10-((3-((4-chloro-6- (2-sulfophenylamino)-1,3,5- triazin-2-yl)amino)propyl) amino)-4,11-triphenoxy- dioxazinedisulfonate	\$ \cdot \cdo							0								
136465-99-1		1-((2-Quinolinyl-carbonyl)oxy)-2,5-pyrrolidinedione								0								
136920-10-0		Behenamidopropyldimethyl-(dihydroxypropyl) ammonium chloride	oyl)							0								
137590-32-0		[R-(R*,S*)]-[[2-Methyl-1-(1- oxopropoxy)propoxyl-(4- phenylbutyl)phosphinyl] acetic acid,								0								
137605-95-9		2-Butyl-2-ethyl-1,5- diaminopentane								0								
137796-06-6		4-Ethyl-2-methyl-2- isopentyl-1,3-oxazolidine								0								
140921-24-0		1,6-Hexanediyl-bis(2-(2-(1-ethylpentyl)-3-oxazolidinyl)ethyl)carbamate	nate							0								
									ĺ									

					日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	Ā	ACGIH (2007)	07)		EU (2004)			D).	DFG (2004)		PRTR	日本職学会(繁	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	1 1
CAS番号	在	名	莱	袙	発 め め り り	災 を め の の	友権をある	発しるである。	懸作性あり	TLVの 根拠-臨 界作用	が一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を一を	及 を を あ の	気道およ が び皮膚感 明作性あり さ	発している。	気値感 みあっち かん	灰藤酸 年代 1年 1年 1年 1年 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性めり	気道感作 皮 報告のみ 報告のみ 報をあるもの あっちの あっちん	藤 6年 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80
141048-13-7		жан фо	Tetrasodium [7-12,5- dihydroxy-KO2-7-sulfonato- 6-[42,5,6-frichloro- pyrimidin-4- ylaminolphenylazo]-(M1,M7- M1-naphthylazo)-8- hydroxy-KO8-naphthalene- 1,3,5-trisulfonato(6-)louprate(1)	(2,5- 7-sulfonato- oro- azo]-(N1,N7- o)-8- aphthalene- o(6-								0									
141517-21-7 トルン	トルフロキシストロビ ン		Trifloxystrobin (ISO)	(ISO)								0									
141714-54-7		1 0 0	Diethyl {4-[1,5,5-tris(4-diethylaminophenyl)penta-2, 4-dienylidene]cyclohexa-2,5-dienylidene} ammonium butyltriphenylborate	-tris(4- anyl)penta-2, clohexa-2,5- monium								0									
141915-64-2		هرت رن	3,5-Bis- (tetradecyloxycarbonyl) benzenesulfinic acid	urbonyl) acid								0									
142459-58-3		1	Flufenacet (ISO)									0									
142859-67-4		7 1 120 0	N·(2-(6-Zethyl-7-(4- methylphenoxy)-1H- pyrazolo[1,5-b][1,2,4]triazol- 2-yl)propyl)-2- octadecyloxybenzamide	-(4- -IH- 1,2,4]triazol- zamide								0									
143322-57-0		<u> </u>	(R)-5-Bromo-3-(1-methyl-2- pyrrolidinyl methyl)-11 indole	l-methyl-2- methyl)-1H-								0									
143468-96-6		m +	Ethyl 2-carboxy-3-(2- thienyl)propionate	3-(2- rte								0									
143683-23-2		7.4 a V a R	Tetrasodium 1,2-bis(4-fluoro-6-[5-(1-amino-2-yladinasodium)-2-4-ylamino)-2,4,6-trinethyl-3-sulfonato-phenylamino]-1,3,5-triazin-2-ylamino)ethane	2-bis(4- nino-2- chinon-4- rimethyl-3- lamino]-1,3, ino)ethane								0									
144736-29-8		- H H PO	a[2-[[[(2-Hydroxyethyl) methylamino]acetyl[amino]p ropyl]- \tau-(nonyl-phenoxy)pol y[oxo(methyl-1,2-ethane- diyl)]	xyethyl) etyl]amino]p -phenoxy)pol 2-ethane-								0									
144740-59-0		100	Methyl 2-aminosulfonyl-6- (trifluoromethyl)pyridine-3- c arboxylate	sulfonyl-6- l)pyridine-3-								0									
145052-34-2		- V	Bis(2,6-dimethoxybenzoyl)-2, 4,4-trimethylpentylphos- phinoxide	xybenzoyl)-2, ıtylphos-								0	-								

				*	日本産業衛生学	全会 (2006)	ACGIH (2007)	(2007)		EU (2004)			DFG (2004)	004)	PRTR	日本職業 学会(案	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	1 1
CAS番号	左	绐	敕	数を多める	気 を を か の の	及 を を を を の	経皮 感作性 吸収 あり あり	TLVの 根拠-臨 界作用	変 生物 かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん かん	友膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり 3	経皮 気道感吸吸収 作性 あり あり	皮膚 を存む めの	気道およ 光過 び皮膚酸 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	懸を あって 在	気道感作 報告のみ あるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
146177-84-6			Sodium 2-(4-(4-fluoro-6-6-2-sulfoethylamino)-[1,3,5] triazin-2-ylamino)-2-uroidophenylazo)-5-(4-sulfophenylazo)benzene-1-sulfonate	-(3-						0								
147027-04-1			A mixture of: trans-(2R)-5-acetoxy-1,3-oxathiolane-2-carboxylic acid;cis-(2R)-5-acetoxy-1,3-oxathiolane-2-carboxylic acid)-5-						0								
147374-67-2			4-(2-Cyano-3-phenylamino)- acryloyloxy-methyl- cyclohexyl-methyl 2-cyano- 3-phenylamino)-acrylate	-ou						0								
147703-65-9			Sodium 3-(2-acetamido-4-(4- (2-hydroxybutoxy) phenylazo)phenylazo) benzenesulfonate	-(4-						0								
148732-74-5			Tetrasodium (c.(3-(1-(3-(e-6-dichloro-5-cyanopyrimidin-fyl(methyl)aminopropyl)-1, 6-dilydro-2-hydroxy-4-methyl-6-oxo-3-pyridylazo)-4-ulifonatophenyl sulfamoyl)phthalocyanine-a, b, dthrisulfonatofoll	e-6- 11, 11, 12, 13, 14, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15, 15						0								
148757-89-5			1-Bromo-9-(4,4,5,5,5-pentafluoropentylthio) nonane							0								
148878-18-6			A mixture (50/50) of: tetrasodium 7.(4f-4chloro-6- [methyl-(3-sulfonatophenyl) amino]-1,3,5-triazin-2- ylaminoj-2-ureidophenylazo) maphthalene-1,3,6- trisulfonate	-9-e- zo)						0								
148878-21-1			Octasodium 2-(6-(4-chloro-6- (3-Kmethy)-N-(4-chloro-6- (3-disulfonato-2- naphthylamion)-1,3,5- naphthylamion)-1,3,5- trizan-2-ylamionethy) phenylamiool-1,3,5-triazin-2- ylamion)-3,5-disulfonato-1- hydroxy-2-naphthylazo) naphthalene-1,5-disulfonate	5- 5- 1-2- te						0								

				日本産	日本産業衛生学会	会 (2006)	¥	ACGIH (2007)	307)		EU (2004)			DFG (2004)	2004)	PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギ· 学会(案)(2004)	ーギー
CAS番号	各	米	柏	発を必める	気作を受ける	皮を存成します。	発験を改みのでい	数を あっ を	TLVの 根拠-臨 界作用	が作るである。	友 を あっ あっ	気道およ び皮膚感 作性あり d	経皮 気道感吸収 作性 吸収 作性 あり あり	な存成を表現します。	3 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	懸布をひ	気道感作 B報告のみ 幸 あるもの d	皮膚感作 報告のみ あるもの
148878-22-2		Tetrasodium 4-[4-chloro-6- (4-methyl-2- sulfophenylamino)-1.3 5- triazin-2-ylamino]-6-(4,5- dimethyl-2-sulfophenylazo) -5-hydroxynaphthalene-2,7- disulfonate	Tetrasodium 4-[4-chloro-6- kenthyl-2- sulfophenylamino)-1,3,5- triazin-2-ylamino]-6(4,5- friazin-2-ylamino]-6(4,5- friachlyl-2-sulfophenylazo) 5-hydroxynaphthalene-2,7- disulfonate								0								
149057-64-7		Bis(N-(7-hydroxy-8-methy 5-phenylphenazin-3- ylidene)di- methylammonium)sulfate	Bis(N-(7-hydroxy-8-methyl-5-phenylphenazin-3-ylidene)di-methylammonium)sulfate								0								
149530-93-8		Disodium 1-amino 44(2-15- chloro-f-fluoropyrimidin- ylaminomethyl) 4-methyl- sulfoptenylamino)-9,10- dixoc 9,10- dixydroanthracene-2- sulfonate	Disodium 1-amino-4-(2-(5- ploro-6-fluopyrimidin-4- ylaminomethyl)-4-methyl-6- sulfophenylamino)-9,10- dinydroanthracene-2- sulfonate								0								
149850-29-3		1,3-Bis(6-fluoro-4-[1,5-disulfo-4-(3-aminocarb 1-ethyl-6-hydroxy-4-m pyrid-2-on-5-ylazo)-ph ylamino]-1,3,5-triazan- ylamino)propane lit sodium salt	1,3-Bis(6-fluoro-4-[1,5-distlich-4(5-aminocarbonyl-1-ethyl-6-hydroxy-4-methyl-pyrid-2-on-5-ylazo)-phenyl-ylaminoj-1,3,5-triazn-2-ylaminoj-1,3,5-triazn-2-ylaminoj-propane lithium-sodium salt								0								
149850-30-6		Methyl N-[3-acetylamino) (2-cyano-4- nitrophenylazo)phenyl]-N- [(1-methoxy)acetyl]glycina	Methyl N-[3-acetylamino)-4- (2-cyano-4- nitrophenylazo)phenyl]-N- [(1-methoxy)acetyl]glycinate								0								
149850-31-7		Sodium 1,2-bis[4-f4-(4-(4-sulfophenylazo)-2-sulfophenylazo)-2-ureidophenyl-azol-2-ureidophenyl-amino]-5-triazni-2-ylamino]-propane, sodium salt	Sodium 1.2-bis[4-[4-(4-sulfophenylazo)-2-sulfophenylazo]-2-ureido-phenyl-amino]-6-[luro-1,3,5-triazin-2-ylamino]-propane, sodium salt								0								
151436-99-6		Hexasodium (di[N-t/3 (4-[amino-3-nethy-1]. phenylpyrazof-4-y-tazo)- disulfo-amilno]-6-chloro- 5-triazm-2-ytaminophen sulfamoyl[di-sulfo)- phthalocyaminato)nickel	Hexasodium (di[N-(3-(4-[5-(5-anino-3-methyl-1]. Anino-3-methyl-1]. phenylpyrazol-4-yl-azo)-2, 4-disulfo-anilino-[6-chloro-1]. 5-trisani-2-ylaminophenyl)-sulfamoyl[di-sulfo- sulfamoyl[di-sulfo-]								0								
152828-25-6		2-(4-Aminophe butyl-IH-pyra 2,4]triazole	2-(4-Aminophenyl)-6-tert- butyl-IH-pyrazolo [1,5-b][1, 2,4]triazole								0								
155160-86-4		Sodium 3,5-bii (tetradecyloxy zene-sulfinate	Sodium 3,5-bis (tetradecyloxycarbonyl)ben- zene-sulfinate						į		0								

		:	日本産業衛生学	学会 (2006)	AC	ACG1H (2007)		EU (2004)			DFG (2004))4)	PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号 和 名		夲	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	及体を破める	発を改せる。	感作性 TLVの あり 根拠-臨 界作用	気道感 作性 あり	女 を を め の	気道およ 終 び皮膚感 99 作性あり 3	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	友 帯 あ あ り	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性あり	気道感作 皮膚感作報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
158522-09-1	1,2-Bis[4-fluoro-6-(4-sulfo- [2-(4-sulfonaphtalene-3- ylazo)-1-hquovay-3,6-disul 8-aminonaphthalene-7- ylazo)phenylamino[-1,3,5- triazin-2ylamino]ethane;x sodium, y-pofassium salth = 7.755 y = 0.245	1.2-Bisl 4-fluoro 6-(4-sulfo-5- (2-(4-sulfonaphtalene-3- ylazo)-1-hydrox-3-(5-disulfo- 8-aminonaphthalene-7- ylazo)phenylamino)-1,3,5- triazin-ylamino]ethane;x- sodlum, y-potassium salts x = 7.755 y = 0.245						0							
155522-12-6	Methyl 2-[4-(2-chloro-4- nitrophenylazo]-3-(1- oxopropyl)amino] phenylaminopropionate	chloro-4- o)-3-(1- ino] ropionate						0							
156137-33-6	A mixture of: 2-methylsulfanyl-4-methylydroxy-4-methyl, 1,3,5-triazine	A mixture of: 2- methylsulfanyl-4,6-bis-(2- hydroxy-4-methoxy-phenyl)- 1,3,5-triazine						0							
156679-41-3	N-Dodecyl-[3-(4-dimethylamino)benzamido)-propyl]dimethylammonium tosylate	(4- o)benzamido)- ylammonium						0							
156738-27-1	Sodium 4-[4-(4-hydroxyphenylazo) phenylamino]-3- nitrobenzenesulfonate	4- 7lazo) .3- ulfonate						0							
156769-97-0	Sodium and potassium 4-(3 aminopropylamino)-2,6- bis[3-(4-methoxy-2- sulfophenylazo)-4-hydroxy-2-sulfo-7-naphhylamino]-1,5-triazine	Sodium and potassium 4-(3- aminopropylamino)-2,6- bis[3-(4-methoxy-2- sulfophenylazo)-4-hydroxy- 2-sulfo-f-naphthylamino]-1, 3,5-triazine						0							
157661-93-3	2-Methyl-4-(1,1- dimethylethyl)-6-(1- methylpentadecyl)-phenol	.1-)-6-(1- ecyl)-phenol						0							
159604-94-1	(2,2-(3,3-Dioxidobiphenyl-4-diyldiazo)bis(6-(4-(3-diethylamino)bropylamin 6-(3-(diethylammonio) propylamino)-1,3-5-triazniylamino)-1	(2,2-(5,3-Dioxidobiphenyl-4, 4-tiydiazobist6-(4-(3- diethylaminoptopylamino)- 6-(3-diethylammonio) propylamino)-1,3-triazin-2- pathino)-3-sulfonato-1- naphindatolydi-copper(II) aceitate lactate						0							
161935-19-9	4-[4-Amino-5-hydroxy-3-(4-G-sulfoxyethylsulfoxyl) phenylazo)-2,7-disulfoxaphylbenylbenylazo)-2,7-disulfoxaphylbenylbenylbenylbenylbenylbenylbenylben	4-[4-Amino-5-hydroxy-3-(4- (2-sulfoxyethylsulfonyl) phenylazo) 2,7-disulfonapht- 6-ylazo]-6-[3-(4-amino-5- hydroxy-3-(4-(2- sulfoxyethylsulfonyl) phenylazo) 2,7-disulfonapht- 6-ylazo) 2,7-disulfonapht- phenylcarbonylamino] phenylcarbonylaminoj phenylcarbonylaminoj salt						0							

				H H	産業衛生	日本産業衛生学会 (2006)		ACGIH (2007)	07)		EU (2004)			DFG (2004)	3004)	PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	星	夲	嵌	発験を 対対の	気道感 をひあり	友を存在しまり	雑略を改める	級作性のあり	TLVの 根拠ー臨 界作用	気道感 F 作性 もの こ	友膚感 作性 あり	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	吸水の存成の	気道およ 光過 び皮腐感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	験作性 めり	気道感作 皮膚感作 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
162881-26-7			Phenyl bis(2,4,6-trimethylbenzoyl)-phosphine oxide	ine							0							
163879-69-4			A mixture of: 5-[(4-[(7-amino-1-hydroxy-3-sulfo-2-naphthy)]azo]-2,5-diethoxyphenyl)azo]-2-[(3-phosphonophenyl)azo]-2-[(3-zoic acid	9, 'T							0							
166242-53-1			UVCB condensation product of:tetrakis-hydroxymethyl phosphonium chloride,urea and distilled hydrogenated Ci6-18 tallow alkylamine	fuct yl ırea ated							0							
166596-68-5			(3Carboxymethyl-5-(2-(3-ethyl-3H-benzothiazol-2-yidene)-1-methyl-ethylidene)-4-dicxo-2-5-hioxo-2,5-yihiazolidinyliden-3-yl)-acetic acid	ene)							0							
168151-92-6			Sodium 4-sulfophenyl-6-((1-oxononyl)amino)hexanoate	((1- .te							0							
171599-85-2			N.N.Bist6-chloro-4-[6-(4- viny)sulfony)pheny)lazo)-2,7- disulfonic acid-5- hydroxynapht-4-ylamino]-1, 8,5-truszin-2-yl.N.(2- hydroxyethy)lethane-1,2- diamine, sodium salt	2,7-]-1,							0							
172890-93-6			1-Amino-4-(8-[4-chloro-6-(2, 5-di-sulfophenylamino)-1,3, 5-triazin-2-ylamino]-2,2-dimethylproylamino)-anthraquinone-2-sulfonic acid, Na/Li salt	9, e,							0							
172964-15-7			4-Benzyl-2,6-dihydroxy-4-azaheptylene bis(2,2-dimethyloctanoate)	_1							0							
174393-75-0			Potassium 4-(11- methacrylamido- undecanamido) benzenesulfonate								0							
174591-51-6			A mixture of: tetradecanoic acid (42.5-47.5%)	moic							0							
178961-20-1			S-Metolachlor (R)-2-chloro- N-(2-ethyl-6-methyl-phenyl)- N-(2-methoxy-1-methyl- ethyl)-acetamide (0-20%)	ro- 1yl)-							0							

378

			日本産業	日本産業衛生学会	(2006)	A	ACGIH (2007)	07)		EU (2004)	1		•	DFG (2004)	4)	PRTR	山本縣(多)	日本職業・環境アレルギー 学会(塞)(2004)	- アルギー
CAS番号	各	承	数を受めるのである。	が を を の の の	皮 を あり あり	経及め行うの	感作性あり	TLVの 根拠-臨 界作用	派をを受ける	攻 衛 を あ め の	気道およ び皮膚感 作性あり	経吸る及収の	気 作性 あり	皮膚酸 かっちん	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	級作権	気道感作 報告のみ あるもの	F 皮膚感作 な報告のみ り あるもの
187547-46-2		A mixture of: 2,4,6-tri (butylcarbamoyl)-1,3,5- triazine								0				į					
		Alkali persulfates													0				
		Amylases with the exception of those specified elsewhere in this Annex							0										
動物の毛,上皮	6,上庚	Animal hair, epithelia and other materials derived from animals													0				
シアン化合物	い合参	Cyanides										0							
		Salts of aniline								0									
アリルオ	アリル水銀化合物	Mercury, Aryl compounds (organic compounds), as Hg		0	0(1)	0						0		0					
ፖルキル	アルキル水銀化合物	Mercury, Alkyl compounds (organic compounds), as Hg		0	O(1)	0						0		0					
大豆成分	~	Soya bean constituents											0						
ツラコ; 合合	ジルコニウム,水溶性 化合物	Zirconium, soluble compounds											•		0				
ジチオカ	ジチオカルバメート系	Rubber components :Dithiocarbamates												0					
P-フェニ 化合物	P-フェニエンジアミン 化合物	Rubber components: p- Phenylenediamine com- pounds												0					
チアゾール	1/-	Rubber components: Thiazoles												0					
チウラム系	枈	Rubber components: Thiurams												0					
タングス 合参	タングステン可容性化 合物	Tungsten, soluble compounds, as W					107	刺激											
タングス の水溶体 在代合物	タングステンおよびそ の水溶性化合物 (水溶性化合物)	Tungsten, soluble compounds, as W					т.	刺激											
鉄水溶性塩	猫	Iron salts, soluble, as Fe					1125	刺激											
ロ ツ か か の 参 (大)	ロジウムおよびその代 合物 (水溶性化合物)	Rhodium, Soluble compounds, as Rh					124	刺激											
		Ricinus protein											0						
穀粉(小	穀粉 (小麦, 大麦)	Flour dust(DFGではCereal flour dusts (Rye,Wheat)と 表記)					○ <u>F</u> W	磊息, 気管支炎					0						

			E H	日本産業衛生学	≉会 (2006)	Ψ	ACGIH (2007)	107)	田	EU (2004)			H	DFG (2004)	_	PRTR	日本職業 学会(繁)	日本職業・環境アレルギ 学会(案) (2004)] 31
CAS略号	母	採	雑酸を 枚取り	女 気道感 ス 作性 3 もひ	政権を登り	雑吸も 枚収り	感作性あり	TLVの 気 根拠ー臨 作 界作用 あ	気 治 を あ り あ り あ	皮膚感 分析性 ひあり 作	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 吸収 あり き	気道感 作性 あり	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び友膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	懸作 あっ 在	気道感作 皮膚 報告のみ 報告 あるもの ある	攻 膚 感作 報告のみ あるもの
	穀粉 (カラスムギ, 小 表,大麦)	Grain dust (oat, wheat, barley)	bar-	54.5				刺激, 気管支炎											
	ベンガラ	Rouge						遊遊											
	ステアリン酸塩	Stearates (J)						刺激											
	合成ガラス質繊維フィ ラメント状ガラス繊維	Synthetic vitreous fibers continuous filament glass fi- bers	s fi-					凝凝											
	合成ガラス質繊維グラ スウール	Synthetic vitreous fibers glass wool fibers						刺激											
	合成ガラス質繊維ロッ クウール	Synthetic vitreous fibers rock wool fibers						刺激											
	合成ガラス質繊維スラッ ジウール	Synthetic vitreous fibers slag wool fibers						刺激											
	合成ガラス質繊維特殊 用途ガラス繊維	Synthetic vitreous fibers special purpose glass fibers	ırs					刺激											
	木粉, ブナ, オーク	Wood dust, Certain hard woods as beech & oak						刺激, 皮膚炎											
	木粉, 軟材	Wood dust, Softwood						刺激, 皮膚炎											
	クロルヘキシジン																0		
	ジアゾニウム																0		
	4,4-ジアミノジフェニ ルメタン																		0
	プリカット酸																	0	
	ヘベイン (ラテックス 抗原)	Hevein															0		
		Formaldehyde condensation products with p-tert-butylphenol(low-molecular)	ation ar)											0					
		a-Chlorinated toluenes; mixture of Benzoyl choride[89-884-1],Benzyl choride[10-44-7],Benzyl dichloride[98-87-3],Benzyl trichloride[98-7-7]	ızoyl 1									0							
		Hard metal containing tungsten carbide and cobalt (inhalable fraction)	-Sun									0			0				
		Oakmoss extracts												0					
		Hydrazine bis(3-carboxy-4-hydroxybenzensulfonate)	-4-							0									
			i																

380

			日本産業衛生学会	学会 (2006)		ACGIH (2007)	(2007)		EU (2004)	4)		I	DFG (2004)		PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
CAS番号	臣	英名	経皮 気道感吸収 作性あり あり	惑 な を を を な の の の の の の の の の の の の の	雑吸め 皮砂の	感作性あり	TLVの 根拠-臨 界作用	が を る の を の	皮膚感 布件 あり	気道および友膚感作性あり	路段を改せるのであった。	気道感 作性 あり	友膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	製作性 あり	気道感作報告のみあるもの	皮膚感作 報告のみ あるもの
		Sodium 3,5-bis(3-(2,4-di-tert-pentylphenoxy) propylcarbamoyl)benzene-sulfonate							0									
		1,6-Bis(3,3-bis((1- methylpentylidenimino) propyl)ureido)							0									
		α -{3-(1-Oxoprop-2-eny)}-1- oxypropyl}dimethoxysilylox y- ω -{3(1-oxoprop-2-eny)}-1- oxypropyl}dimethoxysilyl							0									
		Tributyltetradecyl- phosphonium tetrafluoro- borate							0									
		Tetrasodium 5-(4,6-dichloro-5-cyanopyrimidin-2-ylamino) 4-hydtoxy-2,3'-azodinaphthalene-1,2',5,7-disulphonate						0										
		Tetrasodium 2-(6-chloro-4-(4- (2,5-dimethyl-4-(2,5- disulphonatophenylazo) phenylazo)-3-uraidoanilino)- 1,3,5-triazn-2-ylamino) benzene-1,4-disulphonate							0									
		Dilithium 6-acetamido-4- hydroxy-3-(4-((2 sulphonatoxy)) ethylsulphory))phenylazo) ethylsulphory))phenylazo) naphthalene-2-sulphonate							0									
		Disodium S,S'hexane-1,6- diyldi(thiosulphate) dihydrate							0									
		Potassium sodium 5-(4- chloro-6-(1/4-(4-chloro-6-(5- hydroxy-2,7-disulphonato-6- (2-sulphonatophenylazo)-4- naphthylamioph-1,3,5- triazin-2-ylamiophenyl-M- methylamioph-1,3,5-triazin- 2-ylamino)-4-hydroxy-3-(2- sulphonatophenylaxo) naphthalene-2,7-disulphonat							0									
		(Cl6 or Cl8-n-Alkyl)(Cl6 or Cl8-n-alkyl)ammonium 2-(Cl6 or Cl8-n-alkyl)(Cl6 or Cl8-n-alkyl)(Cl6 or Cl8-n-alkyl)(carbamoyl) benzenesulphonate							0									
		Sodium 4-(2,4,4-trimethyl pentylcarbonyloxy)benzenesulfonate							0									
															İ			

				日本産業衛生学会 (2006)	6生学会(.3006)	AC	ACGIH (2007)			EU (2004)			DFG	DFG (2004)	PRTR		日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	ルギー
CAS番号和	名	軟	华	森及 必要 変わ かり かん	気道感 作性 あり あり	及 存 め り	数数 めで あり あり	感作性 TL あり 根料	TLVの 機機の 職 化機能 の 条件 用 まままままままままままままままままままままままままままままままままま	気道感み作性をあった。	存在をあっている。	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道感 吸収 作性 あり あり	殿 存在 めの あり	惑 気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	機作性める	気道感作 報告のみ あるもの	皮膚 感作 報告のみ あるもの
		Tetrasodium 4-amino-3,6-bis (5-(6-chloro-4-(2- hydroxyethylamino)-1,3,5- trizain-2-ylamino)-2- sulfonatophenylazo)-5- hydroxynaphtelene-2,7- sulfonate (containing > 33% sodium chloride and sodium acetate)	-amino-3,6-bis 2- mino)-1,3,5- niazo)-2- rlazo)-2- alane-2,7- aining > 35% le and sodium								0								
		Thionyl chloride, reaction products with 1.3.4. thadizzol-2.5-dithiol, terrnonanethiol and C12-14-terralkylamine	l.3,4- iithiol, tert- id C12-14-tert-								0								
		6-Fluoro-2-methyl-3-(4- methylthiobenzyl)indene	hyl-3-(4- zyl)indene								0								
		Hexahydrocyclopenta[c] pyrrole-1-(IH)-ammonium N-ethoxycarbonyl-N-(p- tolylsulfonyl)azanide	openta[c] ammonium nyl- <i>N</i> -(<i>p</i> - zanide								0								
		Trisoduim bis[(3-nitro-5'-sulfonato(6-amino-2-[4-(2-hydroxy-1-naphtylazo) phenylsulfonylamino] pyrimdin-5-azo)benzene-2',4-diolate][chromate[II]	(3'-nitro-5'- ino-2-[4-(2- htylazo) amino])benzene-2',4- te(II)								0								
		Diamminediisocyanatozinc	cyanatozinc									0							
		2-Hydroxyethylammonium perbromide	lammonium								0								
		Diphenyl(4- phenylthiophenyl)sulfonium hexafluoroantimonate	yl)sulfonium monate								0								
		Tetrachloroplatinates with the exception of those speci- fied elsewhere in this Annex	tinates with of those speci- n this Annex									0							
		Hexachloroplatinates with the exception of those speci- fied elsewhere in this Annex	inates with of those speci- n this Annex									0							
		$\mathrm{Di-}L ext{-para-menthene}$	hene								0								
		(Ethyl-1,2-ethanediyl)[-2-[[[(2-hydroxyethyl)methyl amino]acetyl]-propyl]a- (nonylphenoxy)poly]oxy- (methyl-1,2-ethanediyl)	$nediyl$ [-2-[[[1])methyl ropyl] ω - poly]oxy- anediyl)								0								
		2-Chloro-4,5-difluorobenzoic acid	luorobenzoic								0								
																	ļ		

				日本産業衛生学会 (2006)	ACGII	ACGIH (2007)		EU (2004)			DFG (2004)	4)	PRTR 日	1本職業・ 5会(案)(2	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
CAS番号	4	ΠN	承	経皮 気道感 皮膚感 吸収 作性 作性 あり あり あり	経皮 感作性 吸収 あり あり	生 TLVの 根拠ー臨 界作用	気道 を め の	攻艦隊 気道 作性 びめ	気道およ 経皮 び皮膚感 吸収 作性あり あり	気道感 を存 め の	皮膚感 作性 あり	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 め ラ ラ ス1 あ	感作性 気めり 幸	気道感作 皮膚感作報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
		D G	1.1'-(1,3-Phenylenedioxy)bis (3-(2-(prop-2-enyl)phenoxy) propan-2-ol)					0							
		ক মে	4-Nonylphenol, reaction products with formaldehyde and dodecane-1-thiol					0							
		2	2-n-Hexadecylhydroquinone					0							
		M D	2,4-Dimethyl-6-(1-methyl-pentadecyl)phenol					0							
		4400	2-n-Butyl-benzo[d]isothiazol- 3 -one					0							
		27.17	2-Chloro-5-sec- hexadecylhydroquinone					0							
		HHP	Dimethyl (3-methyl-4-(5- nitro-3-ethoxycarbonyl-2- thienyl)azo) phenylnitrilodipropionate					0							
		نب ہے	Methyl 3-sulphamoyl-2-thenoate					0							
		щ U б	Hydrogen sodium <i>N</i> -carboxylatoethyl- <i>N</i> -octadec-9-enylmaleamate					0							
		بدندن سر	Poly(oxypropylenecarbonyl- co-oxy(ethylethylene)car- bonyl), containing 27% hydroxyvalerate					0							
		2014	2-Ethoxyethyl-2-[4-(2,6-dihydro-2,6-dioxo-7-phenyl-1,5-dioxaindacen-3-yl)					0							
		JU1016	6-Docosyloxy-1-hydroxy-4- (1-(4-hydroxy-3- methylphenanthren-1-yl)-3- oxo-2-oxaphenalen-1-yl) naphhalene-2-carboxylic acid					0							
			Sodium 2-benzoyloxy-1- hydroxyethane-sulfonate					0							
		2.4 m 00	2-(Trimethylammonium) ethoxycarboxybenzene-4- sulfonate					0							

					日本産業	日本産業衛生学会 (2006)	(2006)	ĕ	ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)			DF	DFG (2004)		PRTR	日本職業 学会(案)	日本職業・環境アレルギ 学会(案)(2004)	#
CAS番号	묲	农	棋	袙	経吸を改みり	気道感 作性 あり	皮 <u>耐</u> 作性 あり	発しる場合のできます。	感作性あり	TLVの 根拠一臨 界作用	気道感 かんかん かんしゅん	及びる	気道およ び皮配感 作性あり	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	165	女 本 本 か かり 作性	気道およ 光過 び及膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	感作性あり	気道感作 皮報告のみ 報 あるもの あ	皮膚感作 報告のみ あるもの
			Trisodium [2.(5-chloro-2,6-dilhoropyrimdin-4-dilhoropyrimdin-4-ylamino)-5-(b-sulfamoyl-c,d-sulfonatophthalocyamin-a-yl-f-f-M'N2l,N90,N3l,N92-sulfonylamino)benzaato(5-) [cuprate(II) where a = 1,2,3,4	-chloro-2,6- din-4- ulfamoyl-c,d- locyanin-a- N31,N32- benzoato(5-) ere a = 1,2,3,4								0									
			Magnesium bis((R) -2- $(2,4$ -dichlorophenoxy)propionate)	((R)-2-(2,4-y)								0									
			Potassium N -(4-fluorophenyl)glycinate	ı. 'ycinate								0									
			Mono[2-(dimethylamino) ethyl]-monohydrogen-2- (hexadec-2-enyl)butanedioate and/or	nylamino) frogen-2-)butanedioate								0									
			Poly-(methyl methacrylate)- co-(butylmethacrylate)-co-(4- acryloxybutyl-isopropenyl- alphaalphadimethylbenzyl carbamate)- co-(maleicanhydride)	nethacrylate)- crylate)-co-(4- isopropenyl- carbamate)- lride)								0									
			Esters of mecoprop and of mecoprop-P	oprop and of								0									
			3-(4-Aminophenyl)-2-cyano- 2-propenoic acid	ıyl)-2-cyano- i								0									
			Bis(dimethyl-(2-hydroxyethyl)ammonium) 1, 2-ethanediyl-bis(2- hexadecenylsuccinate)	mmonium) 1, :(2- zinate)								0									
			(+/-)-α-[(2-Acetyl-5-methylphenyl)-amino]-2,6-dichlorobenzene-aceto-nitrile	tyl-5- amino]-2,6- -aceto-nitrile								0									
			2-(2-Cyano-4,6-dinitrophenylazo)-5'-(N,N-dipropylamino) propionanilide	:o)-5'-(<i>N,N</i> -								0									
			2-(4-(Diethylaminopropyl- carbamoyl)phenylazo)-3-oxo- N-(2,3-dihydro-2- oxobenzimidazol-5-yl) butyramide	inopropyl- lylazo)-3-oxo- 2- l-5-yl)								0									
			Tetraammonium 5-(4-(7- amino-1-hydroxy-3- sulfonato-2-naphthylazo)-6- sulfonato-1-naphthylazo) isophthalate	n 5-(4-(7- xy-3- hthylazo)-6- hthylazo)								0									

			日本産業衛生学会	会 (2006)	ACC	ACGIH (2007)		퍼	EU (2004)			DFG	DFG (2004)	. •	PRTR	日本職業 补公(聚)	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)	ノボボー
CAS番号和	夲	萩	経皮 気道感吸収 作性 あり あり	皮膚感 作性 あり	総 を を を の の の の の の の の の の の の の	感作性 TL あり 根掛	TLVの	気道感 皮作性 作性 からり あり	皮膚感 気道 作性 び皮 あり 作性	気道およ 経び皮膚感 吸作性あり あ	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	1歳 皮膚膨 E 作性) あり	気道およ び皮膚感 作性あり	光過を変性をあった。	感作性 クラス1	感作性 あり	気道感作報告のみ あるもの	皮膚感作報告のみ あるもの
		4-Dimethylaminobenzene- diazonium 3-carboxy-4- hydroxybenzenesulfonate							0									
		Disodium 7-(4,6-dichloro-1,3, 5-triazin-2-ylamino)-4- hydroxy-3-(4-(2, (sulfonatooxy)ethylsulfonyl) phenylazo)							0									
		2-(4-(5,6(or 6,7)-Dichloro-1,3-benzothiazol-2-ylazo)-N-methyl-m-toluidino)ethyl acetate							0									
		Disodium 5-[5-[4-(5-chloro-2, 6-difluoropyrimidin-4-ylamino)benzamido]-2-sulionatophenylazo]-1-ethyl-6-hydroxy-4-methyl-2-oxo-3-pyridylmethylsulfonate							0									
		2-(4-Chloro-3-cyano-5-formyl-2-thienyl)azo-5-diethylaminoacetanilide							0									
		Trisodium(1-(3-carboxylato- 2-oxido-5- sulfonatophenylazo)-5- hydroxy-7- sulfonatonaphthalen-2- amido)nickel(II)							0									
		Potassium sodium 4-(4-chloro-6-3,6-disulfonato-7-(5,8-disulfonato-raphthalen-2-ylaxo)-8-hydroxy-naphthalen-1-ylamino)-1,3,5-hydroxy-6-(4-(2-chloro-6-chloro-		·					0									
		Disodium 2-[[4-(2. chloroethylsulfonyl)phenyl]- [(2-)ydtoxy-5-sulfo-3-[3-[2-3-[2-3-[4-3-[4-3-[4-3-[4-3-[4-3							0									
		Tetrasodium 4-hydroxy-5-[4- [3-(2-sulfacethanesulfony]) phenylamino]-6-morpholin- 4-y-1,3,5-trazin-2-ylamino]- 3-(1-sulfonatonaphthalen-2- ylazo)naphthalene-2,7- disulfonatona							0									
												•						

					日本産	日本産業衛生学会	(2006)	Ā	ACGIH (2007)	(20)		EU (2004)			ŢŪ	DFG (2004)		PRTR	日本職 学会(案	日本職業・環境アレルギ· 学会(案)(2004)	/ルギー
CAS略号	左	袙	敕	允	雑数をひめる	気 が を め り	友 を を め り	経及なりのある	酸作性 あり	TLVの 根拠-臨 界作用	気 ・ を を を の の	皮膚 を あめ あり	気道およ び皮膚感 作性あり	経皮 気道/ 吸収 作性 あり あり	粉	及 陽 感 (年本) なめの (4) (4)	気道およ 光過 び皮膚感 敏性 作性あり あり	感作性 クラス1	聚作 めり	気道懸作報告のみあるもの	皮膚感作報告のみ あるもの
			Pentasodium 4-amino-6-(5- (4-(2-ethyl-phenylamino)-6- (3-sulfactana-2-ylamino)-2- sulfonatophenylazo)-5- sulfacthanesulfonyl) phenylazo)naphthalene-2,7- disulfonate	4-amino-6-(5- nnylamino)-6- nesulfonyl)-1, lamino)-2- ylazo)-5- '2- sulfonyl) hthalene-2,7-								0									
			Polyethlyenep with the exce specified elser Annex	Polyethlyenepolyamines with the exception of those specified elsewhere in this Annex								0									
			4-(2-Chloro-4- trifluoromethyl)-phenoxy-2- fluoroaniline hydrochloride	4-(2-Chloro-4- trifluoromethyl)-phenoxy-2- fluoroaniline hydrochloride								0									
			R,R-2-Hydroxy-5-(1- hydroxy-2-(4-phenylbut-2- ylamino)ethyl)benzamide hydrogen 2,3-F (benzoyloxy)succinate	y-5-(1- phenylbut-2-)benzamide 2,3-bis uccinate								0									
			(Z)-1-Benzo[b]t ylethanone oxi ride	(Z)-1-Benzo[b]thien-2- ylethanone oxime hydrochlo- ride								0									
			5-Acetyl-3-amino-10,11-dihydro-5H-di-benz[b, f]azepine-hydrochloride	ino-10,11- -benz[b, ochloride								0									
			4-Chloropheny ketone	4-Chlorophenyl cyclopropyl ketone								0									
			2-Naphthylamino-6- sulfomethylamide	nino-6- nide								0									
			4-(1(or 4 or 5 or 6)-Methy 9,10-trinorborn-5-en-2-yl) pyridine, mixture of isom	4-(1(or 4 or 5 or 6)-Methyl-8, 9,10-trinorborn-5-en-2-yl) pyridine, mixture of isomers.								0									
			2-(4-(3-(4-Chlorophenyl)-2- pyrazolin-1-yl) phenylsulfonyl) ethyldimethylammonium formate	rophenyl)-2-) l) ammonium								0									
			2,9-Bis(3-(dietl propylsulfamo acridine-7,14-d	2,9-Bis(3-(diethylamino) propylsulfamoyl)quino(2,3-b) acridine-7,14-dione								0						:			

Application Application					日本庭	日本産業衛生学会	\$ (2006)	ACC	ACGIH (2007)		l ^{rri}	EU (2004)			ā	DFG (2004)	PRTR	日本職業 学会(聚	日本職業・環境アレルギー 学会(案)(2004)
	CAS番号	夲	英	袙	1	気道感 作性 あり	及 を を め め の			ı				1		船	感作性 クラス1	懸作性 あり	気道感作 皮膚感作報告のみ 報告のみ 報告のみ あるもの あるもの
			Tetrapotassiuu 5-disulfonatop ethoxycarbon) hydroxypyraæ 2,4-dienylldene ethoxycarbony pyrazolin-1-yl) disulfonate	m 2-(4-(5-(1-(2, henyl)-3- yl-5- ol-4-yl)penta- 3-3- l-15-oxo-2- lbenzene-1,4-								0							
			trans-N-Methy (aminomethin (2-methoxyphe acetamido)]pyr tate	yl-2-styry]-[4'- e-(1-acetyl-1- enyl) ridinium ace-								0							
Pi-			Nitrilotriethyl mmoniopropar	lenea- ne-2-ol								0							
-fa			$(+/-)$ -[(R^*,R^*) a fluoro-3,4-dihy oxiranyl-2H-1-	.nd(R^*, S^*)]-6- ydro-2- benzopyran								0						•	
\$\frac{1}{4}\frac{1}{4}			2,5-Bis-isocyar cyclo[2.2.1]hep	natomethyl-bi- tane									0						
rg-1-			N-Hexadecyl(c N-hexadecyl(o: benzamide	or octadecyl)- r octadecyl)								0							
yl-			Tris(2-(2-hydrethyl)ammonii acetoacetamide methoxybenzei	oxyethoxy) um 3- o-4- nesulfonate								0							
			Condensation (7-carboxyhep 4-cyclo-hexene dicarboxylic a polyamines (pi aminoethylpip triethylenetett	product of:3- t-1-yl)-6-hexyl- t-1_2- cid with rimarily erazine and amine)								0							
			N[2-(3-Acetyl nitrothiophen- diethylaminop acetamide	-5- -2-ylazo)-5- \henyl]								0							

引 用 文 献

- 1. 日本産業衛生学会許容濃度等に関する委員会(2006): 許容濃度等の勧告(2006年度). 産業衛生学雑誌48(4): 98-123
- 2 . American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2007): 2007TLVs® and BEIs®. ACGIH, Cincinnati, OH pp 1-89
- 3. European Union(2002): EU, Council Directive 67/548/EEC Annex I, The sensitization (the 7th edition), http://europa.eu.int/comm/environment/dansub/home_en.htm.
- 4. 日本化学物質安全・情報センター(JETOC)(2004): EU危険な物質のリスト. 第7版. 日本化学物質安全・情報センター(JETOC),東京pp45-354
- 5. Deutsche Forschungsgemeinshaft (2004): List of MAK and BAT Value 2004, Commission for the investigation of health hazards of chemical compounds in the work area. Report 40. Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KgaA. Weinheim, Bonn, pp159-172
- 6. 化学工業日報社(2001): 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ. 改訂版. 化学工業日報社,東京 pp1-1024
- 7. Murakami T, Oyama T, Isse T, Ogawa M, Sugie T & Kawamoto T (2007): International comparison of criteria for evaluating sensitization of PRTR-designated chemical substances. Environ Health Prev Med 12: 56-65
- 8. Ogawa M, Oyama T, Isse T, Yamaguchi T, Murakami T, Endo Y & Kawamoto T (2006): Hemoglobin adducts as a marker of exposure to chemical substances, especially PRTR class I designated chemical substances. J Occup Halth 48: 314-328
- 9. 日本職業・環境アレルギー学会職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン作成特設委員会 (2004): 中間報告「職業性アレルギー疾患の予防のガイドライン(案)」「GHS準拠の感作性化 学物質リスト(案)」作成. 日本職業・環境アレルギー学会雑誌 12: 93-116
- 10. 中村 晋(2004):職業アレルギーの本質. アレルギー・免疫 11:581-589
- 11. 佐藤 一博,日下 幸則(2004): 職業性アレルギーの疫学調査. アレルギー・免疫 11: 655-660

388

International Comparison of Sensitizing Chemical Substances

Tomoe Murakami^{1,2}, Tsunehiro Oyma¹, Toyohi Isse¹, Rie Narai^{1,3}, Maki Kanaoka^{1,4}, Thi-Thu-Phuong Pham¹, Toshihiro Kawamoto¹

Abstract: Some occupational and environmental chemicals cause allergic diseases. To prevent chemical allergies, it is essential to identify the chemical substances that cause sensitization and to eliminate such sensitizers from daily life. As an occupational countermeasure, information for evaluating sensitization of chemical substances is needed. The aims of this article are to compare the criteria for sensitizers among national organizations in various countries and international organizations, and to make out a list of these chemical substances. The definition of sensitizing chemicals and the designation of respective sensitizers according to the PRTR law, Japan Society for Occupational Health (JSHO), American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH), European Union (EU), Deutsche Forschungsgemeinshaft (DFG) and Japanese Society of Occupational and Environmental Allergy were studied. There are 1,389 chemical substances which are designated as sensitizers by any of the laws and five organizations. We specify each chemical substance in the list.

Key words: sensitizer, allergy, occupational health, PRTR, international comparison JUOEH 29 (3): 303-388 (2007)

¹ Department of Environmental Health, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health Japan. Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan

² Kashima Steel Works, Sumitomo Metals. Kashima, Ibaragi 314-0014, Japan

³ Health Promotion Center, Mazda Motor Corporation. Fucyu, Hiroshima 730-8670, Japan

⁴ Nursing Course, Department of Health Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka 812-8582, Japan